

令和7年度太宰府まちづくり市民意識調査
報 告 書

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	7
第1節 回答者の属性	7
1. 性別（問1）	7
2. 年齢（問2）	8
3. 世帯構成（問3）	9
4. 職業（問4）	10
5. 小学校区（問5）	11
6. 居住年数（問6）	12
7. 転入、居住を決めた理由（問7）	13
第2節 住みやすさについて	15
1. 本市の住みやすさ（問8）	15
2. 住みやすい理由（問9）	16
3. 住みにくい理由（問10）	18
第3節 本市の行政運営について	20
1. 市政への関心度（問11）	20
2. 市政への信頼度（問12）	21
3. 効果的な行政運営に対する評価（問13）	22
4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度（問14）	23
5. 続まちづくりビジョンの認知度（問15）	24
6. 本市が行っている施策について	25
(1) 施策の重要度（33施策）（問16）	25
(2) 施策の満足度（33施策）（問16）	29
(3) 重要度と満足度の相関関係	33
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	34
7. 太宰府市自治基本条例の認知度（問17）	36
第4節 日頃の暮らし、行動について	37

1. 子育てのしやすさ（問 18）	37
2. 生きがいの実感（問 19）	38
3. 高齢者福祉サービスの充実度（問 20）	39
4. 障がい福祉サービスの充実度（問 21）	40
5. 公共施設の弱者への配慮（問 22）	41
6. 民間施設の弱者への配慮（問 23）	42
7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況（問 24）	43
8. 地域福祉の推進状況（問 25）	44
9. 健康状態（問 26）	45
10. 健康増進の取り組み状況（問 27）	46
11. 健康診査の受診状況（問 28）	47
12. 災害に対する日頃の備え（問 29）	48
13. 防犯面の安心度（問 30）	50
14. 人権侵害の経験の有無（問 31）	51
15. 人権侵害の経験の内容（問 32）	52
16. 市内での人権の尊重（問 33）	54
17. 固定的な役割分担に対する考え方（問 34）	55
18. DVを受けた経験がある場合の相談経験（問 35）	56
19. 生涯学習活動の取り組み状況（問 36）	57
20. 運動・スポーツの取り組み頻度（問 37）	58
21. 文化芸術活動の取り組み状況（問 38）	59
22. 地域の環境マナーの順守状況（問 39）	60
23. 地域の美化運動への参加状況（問 40）	61
24. 市内の自然の豊かさ（問 41）	62
25. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所の満足度（問 42）	63
26. 生ごみ堆肥化の取り組み状況（問 43）	64
27. 省エネルギー・省資源の活動状況（問 44）	65
28. 環境に関する学習会等の参加状況（問 45）	66
29. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価（問 46）	67
30. 居住地区のまちなみに対する評価（問 47）	68
31. 住環境の快適さに対する評価（問 48）	69
32. 商業施設等の利便性に対する評価（問 49）	70
33. インターネットサービスの利便性に対する評価（問 50）	71
34. 市内のバスの利便性に対する評価（問 51）	72
35. コミュニティバスの利用頻度（問 52）	73
36. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価（問 53）	74
37. 市内の鉄道の利便性に対する評価（問 54）	75
38. 市内の道路の円滑性に対する評価（問 55）	76
39. 外出時の移動手段（問 56）	77

40.	日頃の買い物場所（問 57）	78
41.	歴史・文化遺産に対する評価（問 58）	79
42.	本市の日本遺産（候補地域）や市民遺産に対する認知度（問 59）	80
43.	観光客の来訪に対する評価（問 60）	81
44.	本市の観光に必要なこと（問 61）	82
45.	姉妹都市、友好都市締結の認知度（問 62）	84
46.	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況（問 63）	86
47.	ボランティア活動への参加状況（問 64）	87
48.	市民と行政との情報共有（問 65）	88
49.	本市が発信している情報を得ている媒体（問 66）	89
50.	行政情報の接触状況（問 67）	90
51.	市議会が発信している情報を得ている媒体（問 68）	92
52.	市議会情報の接触状況（問 69）	93

附属資料	＜使用した調査票＞	96
-------------	------------------	-----------

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する 18 歳以上の市民

(3) 調査対象者数

2,000 人

(4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

(5) 調査方法

郵送による発送

郵送及び Web による回答

(お礼兼督促状 1 回郵送)

(6) 調査期間

配 布：令和 8 年 2 月 6 日 (金)

投函締切：令和 8 年 2 月 24 日 (火)

(ただし、3 月 10 日 (火) 到着分まで有効とした)

(7) 回収状況

有効回収数：1,068 件 (回収率 53.4%)

3. 調査項目

回答者の属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	世帯構成	
	問4	職業	
	問5	小学校区	
	問6	居住年数	
	問7	本市に転入、居住を決めた理由	
住みやすさについて	問8	本市の住みやすさ	
	問9	住みやすい理由	
	問10	住みにくい理由	
本市の行政運営について	問11	市政への関心度	
	問12	市政への信頼度	
	問13	効果的な行政運営に対する評価	
	問14	市職員の対応・姿勢に対する満足度	
	問15	統まちづくりビジョンの認知度	
	問16A	施策の重要度（33施策）	
	問16B	施策の満足度（33施策）	
	問17	太宰府市自治基本条例の認知度	
	日頃の暮らし、行動について	問18	子育てのしやすさ
問19		生きがいの実感	
問20		高齢者福祉サービスの充実度	
問21		障がい福祉サービスの充実度	
問22		公共施設の弱者への配慮	
問23		民間施設の弱者への配慮	
問24		交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況	
問25		地域福祉の推進状況	
問26		健康状態	
問27		健康増進の取り組み状況	
問28		健康診査の受診状況	
問29		災害に対する日頃の備え	
問30		防犯面の安心度	
問31		人権侵害の経験の有無	
問32		人権侵害の内容	
問33		市内での人権の尊重	
問34		固定的な役割分担に対する考え方	
問35		DVを受けた経験がある場合の相談経験	
問36		生涯学習活動の取り組み状況	
問37		運動・スポーツの取り組み頻度	
問38		文化芸術活動の取り組み状況	
問39		地域の環境マナーの順守状況	
問40		地域の美化活動への参加状況	
問41		市内の自然の豊かさ	
問42		野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所の満足度	
問43		ごみ堆肥化の取り組み状況	
問44		省エネルギー・省資源の活動状況	
問45		環境に関する学習会等の参加状況	
問46		市内の歴史的景観の美しさに対する評価	
問47		居住地区のまちなみに対する評価	
問48		住環境の快適さに対する評価	
問49		商業施設等の利便性に対する評価	
問50		インターネットサービスの利便性に対する評価	
問51		市内のバスの利便性に対する評価	
問52		コミュニティバスの利用頻度	
問53		コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価	
問54		市内の鉄道の利便性に対する評価	
問55		市内の道路の円滑性に対する評価	
問56		外出時の移動手段	
問57		日頃の買い物場所	
問58		歴史・文化遺産に対する評価	
問59		本市の日本遺産（候補地域）や市民遺産に対する認知度	
問60		観光客の来訪に対する評価	
問61		本市の観光に必要なこと	
問62		姉妹都市・友好都市締結の認知度	
問63		自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況	
問64		ボランティア活動への参加状況	
問65		市民と行政との情報共有	
問66		本市が発信している情報を得ている媒体	
問67A		「広報だざいふ」の閲読状況	
問67B		「太宰府市ホームページ」の閲覧状況	
問68		市議会が発信している情報を得ている媒体	
問69A		「太宰府市議会だより」の閲読状況	
問69B		「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況	
自由意見			

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N=標本全数
n=該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではR3年度調査、R4年度調査、R5年度調査、R6年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20歳代」は、18歳・19歳を含む。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別(問1)

- 回答者の性別は「男性」が45.6%、「女性」が52.4%となっている。

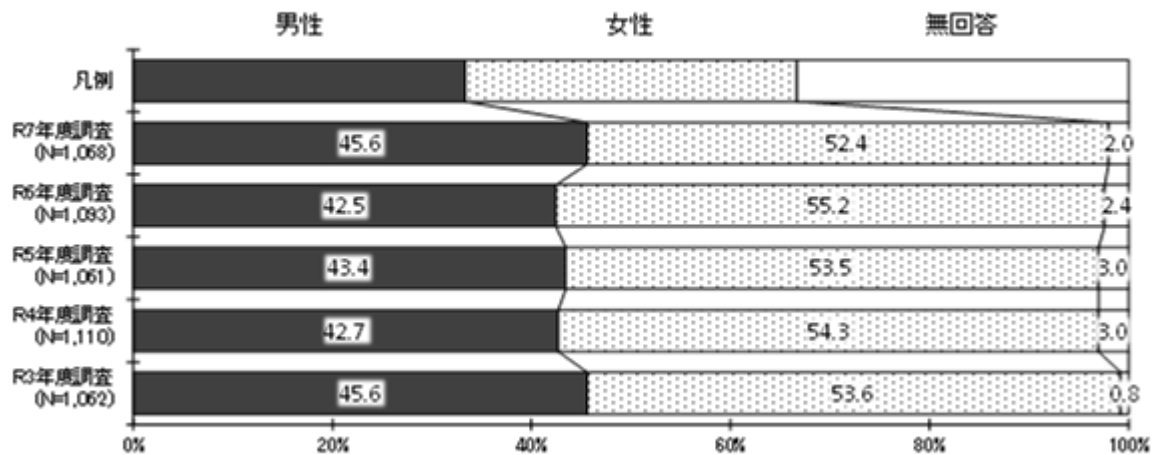
回答者の性別は、「男性」が45.6%、「女性」が52.4%で、女性の方が6.8ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向は変わらないが、前年より女性の割合が低くなっている。

年代別にみると、70歳代以上を除いた年齢層で「女性」の方が「男性」より高くなっており、20歳代の「女性」は6割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区と国分小学校区を除く小学校区で「女性」の方が「男性」より高くなっている。

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(○は1つ)



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		1,068	45.6	52.4	2.0
年代別	20歳代	76	38.2	61.8	-
	30歳代	128	43.0	56.3	0.8
	40歳代	191	45.0	53.4	1.6
	50歳代	208	46.2	53.8	-
	60歳代	200	45.5	52.5	2.0
	70歳代以上	261	49.4	46.4	4.2
	無回答	4	25.0	25.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	44.3	53.2	2.5
	太宰府東小学校区	100	44.0	53.0	3.0
	太宰府南小学校区	95	34.7	64.2	1.1
	水城小学校区	178	43.3	55.1	1.7
	水城西小学校区	124	46.8	50.8	2.4
	太宰府西小学校区	197	49.2	49.2	1.5
	国分小学校区	145	49.7	49.7	0.7
	わからない	67	50.7	47.8	1.5
	無回答	4	50.0	-	50.0

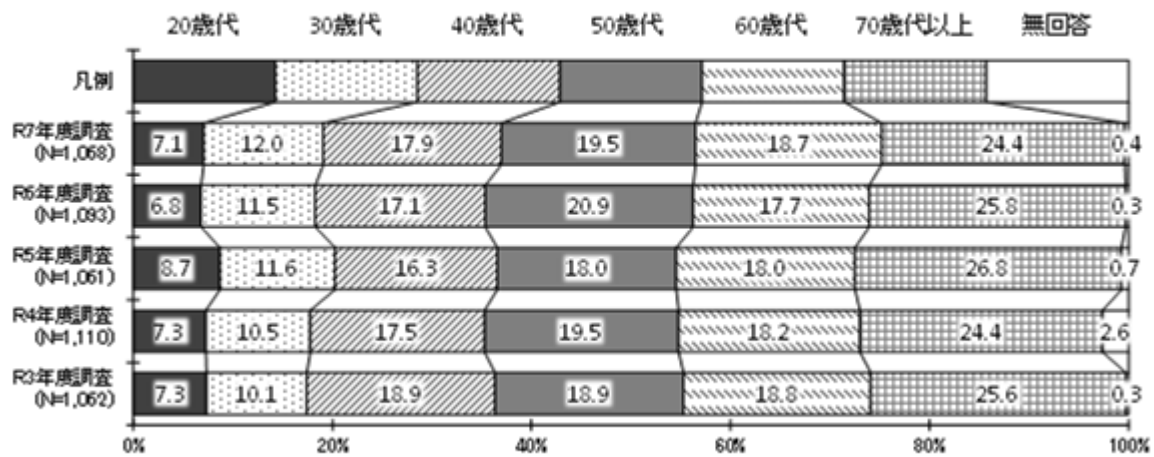
2. 年齢(問2)

● 回答者の年齢は70歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70歳代以上」(24.4%)が最も高く、次いで「50歳代」(19.5%)、「60歳代」(18.7%)の順となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と水城西小学校区を除き、「60歳代」以上の割合が最も高くなっている。一方、太宰府南小学校区では「40歳代」、水城西小学校区では「50歳代」が最も高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中から選びください。(〇は1つ)



(%)

		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		1,068	7.1	12.0	17.9	19.5	18.7	24.4	0.4
小学校区別	太宰府小学校区	158	7.0	8.2	18.4	19.6	24.1	22.8	-
	太宰府東小学校区	100	5.0	11.0	10.0	20.0	19.0	35.0	-
	太宰府南小学校区	95	2.1	13.7	27.4	16.8	13.7	26.3	-
	水城小学校区	178	10.1	14.0	17.4	19.1	23.0	16.3	-
	水城西小学校区	124	9.7	12.1	21.0	24.2	17.7	15.3	-
	太宰府西小学校区	197	5.6	8.1	17.8	17.3	13.7	37.6	-
	国分小学校区	145	7.6	13.8	19.3	18.6	20.0	20.0	0.7
	わからない	67	9.0	22.4	9.0	23.9	16.4	19.4	-
	無回答	4	-	-	-	-	-	25.0	75.0

3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯(親と子)」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、50歳代以下では「2世代世帯(親と子)」の割合が高い。

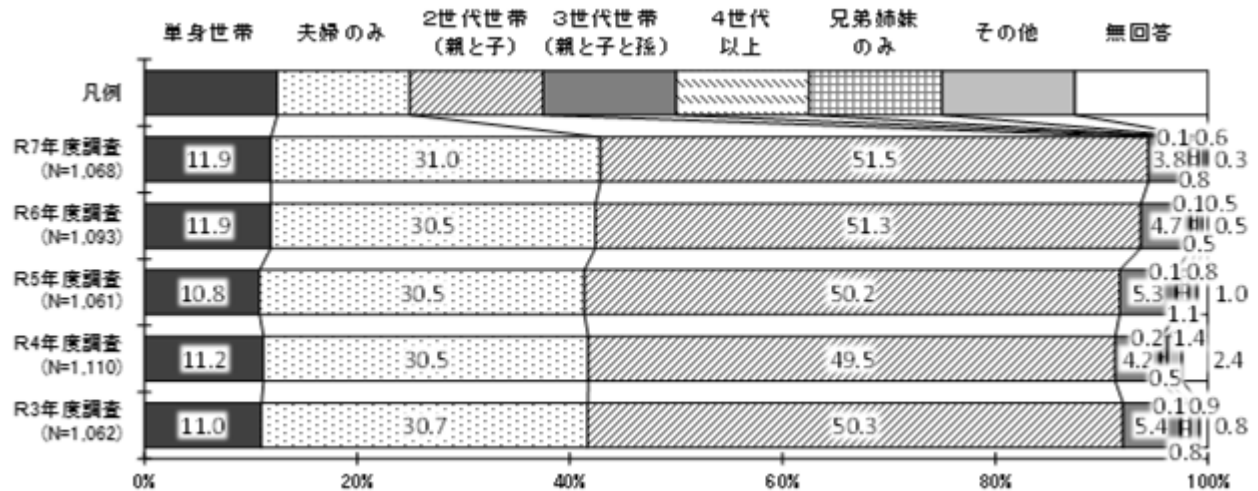
回答者の世帯構成は、「2世代世帯(親と子)」(51.5%)が最も高く、次いで「夫婦のみ」(31.0%)、「単身世帯」(11.9%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

年代別にみると、60歳代以上では「夫婦のみ」が最も高く、50歳代以下では「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。(○は1つ)



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	2世代世帯(親と子)	3世代世帯(親と子と孫)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		1,068	12.7	31.0	51.5	3.8	0.1	0.8	0.6	0.3
性別	男性	487	11.3	34.9	48.3	4.3	-	0.6	0.4	0.2
	女性	560	12.1	27.5	55.0	3.6	0.2	1.1	0.5	-
	無回答	21	19.0	33.3	33.3	-	-	-	4.8	9.5
年代別	20歳代	76	7.9	2.6	84.2	3.9	-	1.3	-	-
	30歳代	128	10.9	8.6	76.6	3.9	-	-	-	-
	40歳代	191	7.9	5.8	78.5	5.8	-	1.6	0.5	-
	50歳代	208	8.7	29.8	53.8	5.3	0.5	1.4	0.5	-
	60歳代	200	17.0	50.0	30.5	1.0	-	-	1.5	-
	70歳代以上	261	15.3	55.2	24.9	3.4	-	0.8	0.4	-
	無回答	4	-	25.0	-	-	-	-	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	14.6	25.9	52.5	5.7	-	1.3	-	-
	太宰府東小学校区	100	4.0	40.0	53.0	2.0	-	1.0	-	-
	太宰府南小学校区	95	7.4	29.5	58.9	2.1	-	1.1	1.1	-
	水城小学校区	178	14.0	26.4	52.8	5.1	0.6	0.6	0.6	-
	水城西小学校区	124	8.1	28.2	62.9	-	-	-	0.8	-
	太宰府西小学校区	197	8.1	37.1	46.7	6.6	-	1.0	0.5	-
	国分小学校区	145	8.3	30.3	55.9	4.1	-	0.7	0.7	-
	わからない	67	44.8	32.8	19.4	-	-	1.5	1.5	-
	無回答	4	-	25.0	-	-	-	-	-	75.0

4. 職業(問4)

● 職業は「会社員」が33.4%と最も高く、次いで「無職」(21.9%)、「パート・アルバイトなど」(18.1%)が主である。

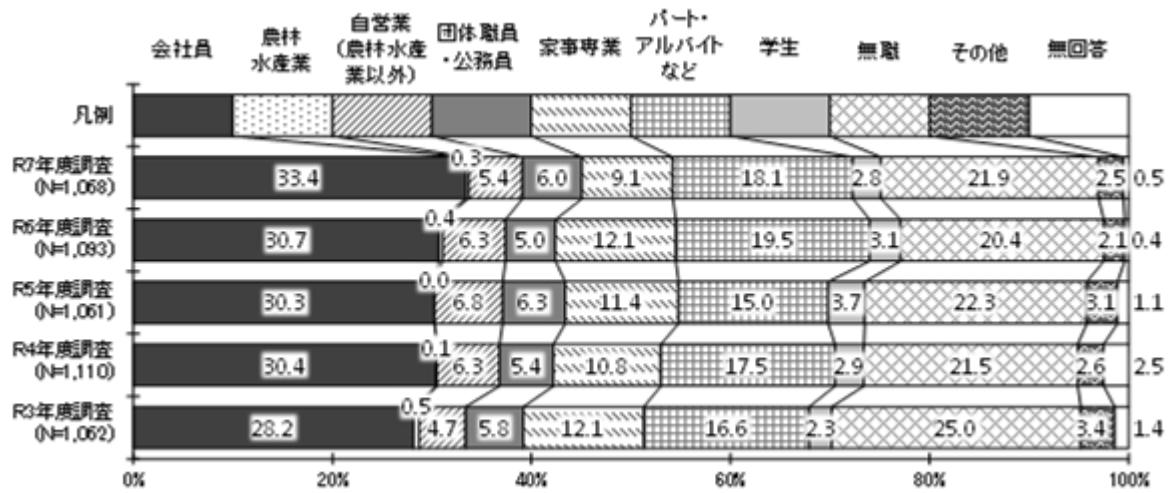
回答者の職業は、「会社員」(33.4%)が最も高く、次いで「無職」(21.9%)、「パート・アルバイトなど」(18.1%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、5か年の調査で「会社員」と「無職」の割合が高い傾向は変わらない。

性別にみると、男性は「会社員」(44.6%)が最も高くなっている。一方、女性は「パート・アルバイトなど」(26.8%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「会社員」が最も高いのは、水城西小学校区(39.5%)となっている。一方、「無職」が最も高いのは、太宰府西小学校区(30.5%)となっている。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(〇は1つ)



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		1,068	33.4	0.3	5.4	6.0	9.1	18.1	2.8	21.9	2.5	0.5
性別	男性	487	44.6	0.4	7.6	8.0	-	8.4	2.1	26.7	2.1	0.2
	女性	560	24.5	0.2	3.6	4.3	16.1	26.8	3.6	17.7	3.0	0.4
	無回答	21	14.3	-	4.8	4.8	33.3	9.5	-	23.8	-	9.5
性別・年代別	男性:20歳代	29	41.4	-	-	-	-	13.8	34.5	3.4	6.9	-
	男性:30歳代	55	61.8	-	5.5	18.2	-	3.6	-	10.9	-	-
	男性:40歳代	86	69.8	-	9.3	10.5	-	8.1	-	-	2.3	-
	男性:50歳代	96	70.8	-	12.5	9.4	-	1.0	-	5.2	1.0	-
	男性:60歳代	91	33.0	-	6.6	11.0	-	14.3	-	30.8	4.4	-
	男性:70歳代以上	129	10.1	1.6	6.2	0.8	-	10.9	-	69.8	0.8	-
	女性:20歳代	47	40.4	-	-	-	-	8.5	42.6	2.1	6.4	-
	女性:30歳代	72	54.2	-	1.4	4.2	6.9	27.8	-	4.2	1.4	-
	女性:40歳代	102	33.3	-	4.9	10.8	7.8	38.2	-	2.9	2.0	-
	女性:50歳代	112	26.8	-	7.1	6.3	7.1	35.7	-	14.3	2.7	-
	女性:60歳代	105	11.4	1.0	2.9	2.9	26.7	32.4	-	19.0	3.8	-
女性:70歳代以上	121	2.5	-	2.5	-	33.9	10.7	-	45.5	3.3	1.7	
無回答	23	13.0	-	4.3	4.3	30.4	8.7	-	26.1	-	13.0	
小学校区別	太宰府小学校区	158	32.3	-	8.2	5.1	10.8	15.8	2.5	20.3	5.1	-
	太宰府東小学校区	100	25.0	-	6.0	6.0	13.0	20.0	1.0	27.0	2.0	-
	太宰府南小学校区	95	34.7	-	7.4	7.4	9.5	18.9	1.1	17.9	3.2	-
	水城西小学校区	178	34.3	0.6	3.9	5.6	6.2	23.6	3.4	19.1	3.4	-
	水城西小学校区	124	39.5	0.8	6.5	4.8	8.1	18.5	4.0	16.1	1.6	-
	太宰府西小学校区	197	28.4	0.5	6.1	6.1	9.1	13.7	3.0	30.5	2.0	0.5
	国分小学校区	145	37.2	-	2.1	9.0	9.7	16.6	4.1	19.3	1.4	0.7
	わからない	67	41.8	-	3.0	3.0	7.5	20.9	1.5	22.4	-	-
無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	75.0	

5. 小学校区(問5)

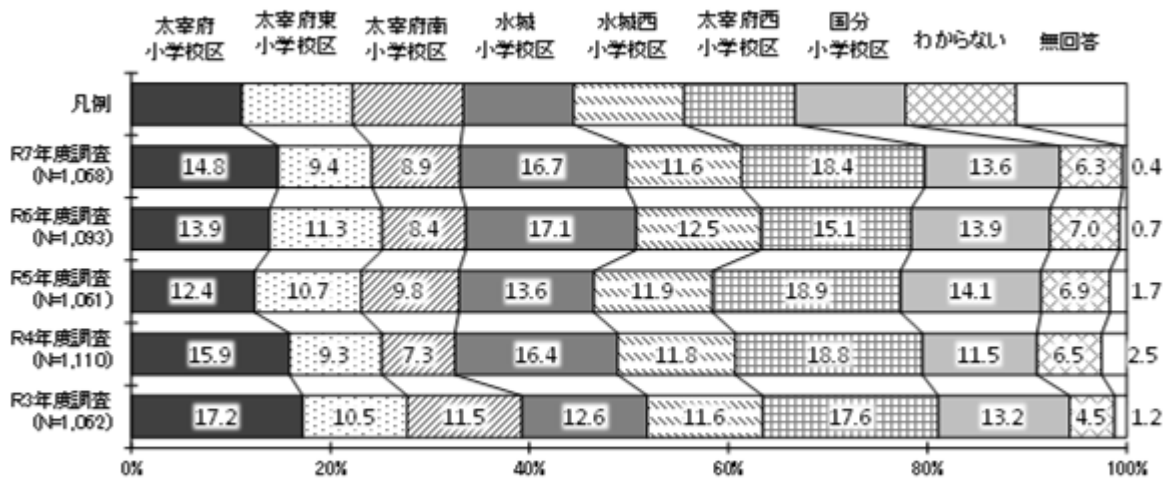
● 住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(18.4%)と「水城小学校区」(16.7%)が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(18.4%)が最も高く、次いで「水城小学校区」(16.7%)、「太宰府小学校区」(14.8%)の順となっている。

性別にみると、男性は「太宰府西小学校区」(19.9%)が最も高くなっている。一方、女性は「水城小学校区」(17.5%)が最も高くなっている。

年代別にみると、40歳代、70歳代以上では「太宰府西小学校区」が、20歳代、30歳代、60歳代では「水城小学校区」が最も高く、50歳代は「太宰府西小学校区」、「水城小学校区」が同率となっている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。(〇は1つ)



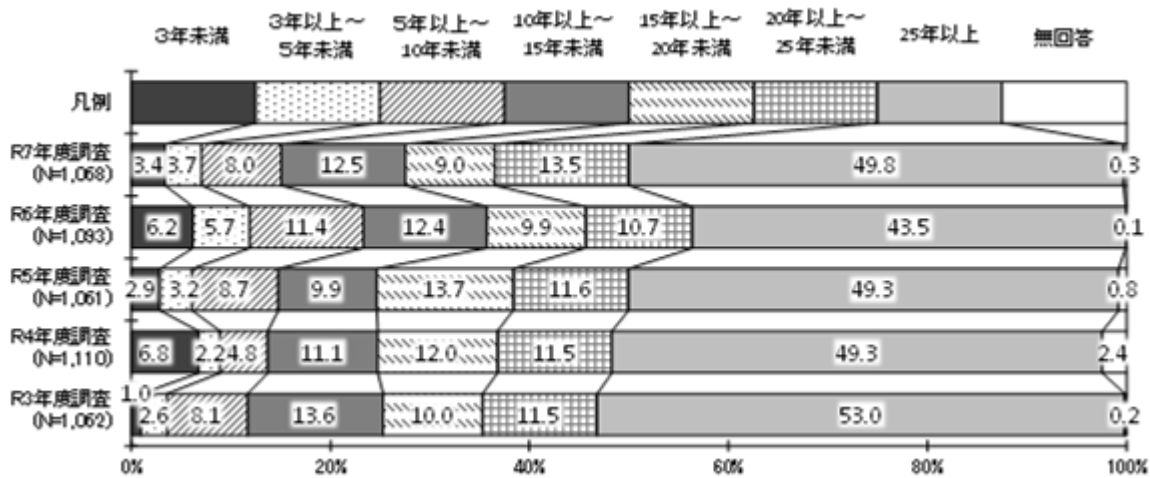
		標本数	小太宰府区	小太宰府東区	小太宰府南区	小水城校区	小水城校区西	小太宰府西区	小国分校区	わからない	無回答
全体		1,068	158	100	95	178	124	197	145	67	4
性別	男性	487	14.4	9.0	6.8	15.8	11.9	19.9	14.8	7.0	0.4
	女性	560	15.0	9.5	10.9	17.5	11.3	17.3	12.9	5.7	-
	無回答	21	19.0	14.3	4.8	14.3	14.3	14.3	4.8	4.8	9.5
年代別	20歳代	76	14.5	6.6	2.6	23.7	15.8	14.5	14.5	7.9	-
	30歳代	128	10.2	8.6	10.2	19.5	11.7	12.5	15.6	11.7	-
	40歳代	191	15.2	5.2	13.6	16.2	13.6	18.3	14.7	3.1	-
	50歳代	208	14.9	9.6	7.7	16.3	14.4	16.3	13.0	7.7	-
	60歳代	200	19.0	9.5	6.5	20.5	11.0	13.5	14.5	5.5	-
	70歳代以上	261	13.8	13.4	9.6	11.1	7.3	28.4	11.1	5.0	0.4
無回答		4	-	-	-	-	-	-	25.0	-	75.0

6. 居住年数(問6)

● 居住年数が「25年以上」が約5割を占めている。

回答者の本市での居住年数は「25年以上」(49.8%)が最も高く約5割を占めている。
 過去の調査結果と比べると、『20年以上』(「25年以上」と「20年以上～25年未満」の合計)が63.3%で令和6年度調査の54.2%より9.1ポイント増加している。一方、『10年未満』(「3年未満」と「3年以上～5年未満」と「5年以上～10年未満」の合計)が15.1%となり、令和6年度調査の23.3%より8.2ポイント減少している。
 性別にみると、男女とも「25年以上」が最も高くなっている。
 年代別にみると、20歳代では「20年以上～25年未満」、40歳代では「10年以上～15年未満」が最も高く、30歳代と50歳代以上では「25年以上」が最も高くなっている。
 小学校区別にみると、すべての小学校区で「25年以上」が最も高くなっている。

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		1,068	3.4	3.7	8.0	12.5	9.0	13.5	49.8	0.3
性別	男性	487	4.1	4.7	8.4	9.9	8.2	14.6	49.9	0.2
	女性	560	2.9	2.9	7.5	15.2	9.8	13.0	48.8	-
	無回答	21	-	-	9.5	-	4.8	-	76.2	9.5
年代別	20歳代	76	13.2	3.9	5.3	17.1	18.4	26.3	15.8	-
	30歳代	128	13.3	13.3	24.2	17.2	1.6	4.7	25.8	-
	40歳代	191	1.6	5.2	13.1	28.8	18.3	9.9	23.0	-
	50歳代	208	0.5	1.9	3.8	13.0	13.9	23.1	43.8	-
	60歳代	200	1.5	1.5	3.5	3.5	4.0	14.0	72.0	-
	70歳代以上	261	0.8	0.8	3.8	3.1	3.1	8.8	79.7	-
	無回答	4	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.2	5.1	8.2	7.6	11.4	15.2	49.4	-
	太宰府東小学校区	100	3.0	3.0	5.0	6.0	6.0	9.0	68.0	-
	太宰府南小学校区	95	2.1	3.2	2.1	18.9	10.5	8.4	54.7	-
	水城小学校区	178	3.9	3.4	10.1	16.9	5.6	15.2	44.9	-
	水城西小学校区	124	2.4	0.8	10.5	16.1	9.7	21.0	39.5	-
	太宰府西小学校区	197	1.5	3.0	4.1	6.6	10.7	13.2	60.9	-
	国分小学校区	145	3.4	3.4	12.4	13.1	9.7	11.0	46.9	-
	わからない	67	11.9	10.4	11.9	22.4	7.5	11.9	23.9	-
無回答	4	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0	

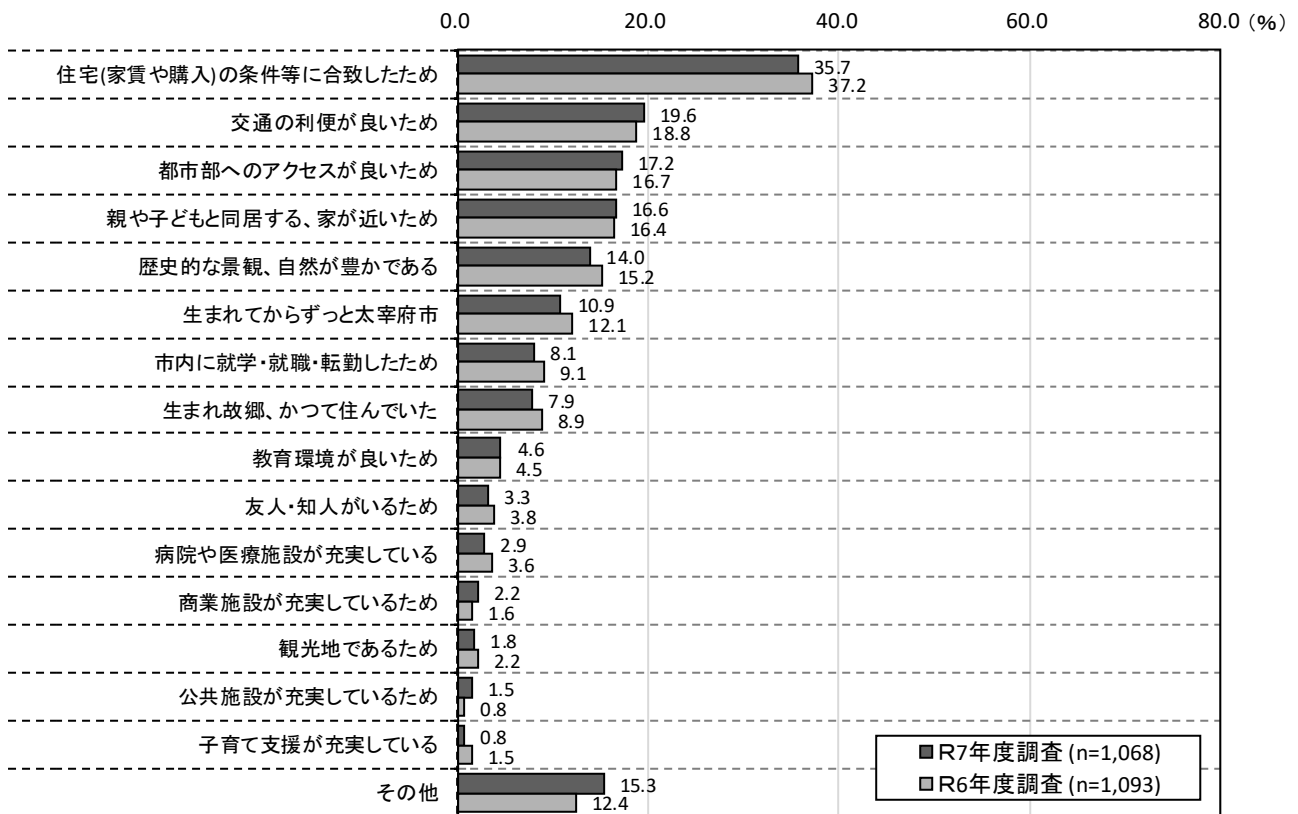
7. 転入、居住を決めた理由(問7)

- 転入、居住を決めた理由は「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」（35.7%）、「交通の利便が良いため」（19.6%）、「都市部へのアクセスが良いため」（17.2%）などが高くなっている。

回答者が本市に転入、居住を決めた理由は「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」（35.7%）が最も高く、次いで「交通の利便が良いため」（19.6%）、「都市部へのアクセスが良いため」（17.2%）の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」の割合は令和6年度調査より1.5ポイント減少している。一方、令和6年度調査より「交通の利便が良いため」は0.8ポイント増加、「都市部へのアクセスが良いため」は0.5ポイント増加している。

問7. あなたが太宰府市に転入、居住を決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男女ともに「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」（男性 38.0%、女性 33.4%）が最も高いが、次点は男性が「交通の利便が良いため」（23.2%）、女性が「その他」（20.5%）が高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「生まれてからずっと太宰府市」が46.1%で最も高く、30歳代以上では「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区を除き、「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」の割合が最も高くなっている。一方、水城小学校区は「交通の利便が良いため」と「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」が同率で高くなっている。

居住年数別にみると、いずれの年数でも「住宅（家賃や購入）の条件等に合致したため」が最も高くなっている。

		標本数	住宅条件等に合致したため	交通の利便が良いため	良いためのアクセスが	都市部へのアクセスが	親や子どもと同居する家が近い	豊かな景観	歴史的な景観	自然が	生誕地からずっと太宰府市	市内に就学・就職・転職したため	生まれ故郷	教育環境が良い	友人・知人がいる	病院や医療施設が充実	商業施設が充実	観光地である	公共施設が充実	子育て支援が充実	その他
全体		1,068	38.1	20.9	18.4	17.7	15.0	11.6	8.6	8.4	4.9	3.5	3.1	2.4	1.9	1.6	0.9	1.6	0.8	1.6	1.6
性別		-	35.7	19.6	17.2	16.6	14.0	10.9	8.1	7.9	4.6	3.3	2.9	2.2	1.8	1.5	0.8	1.5	0.8	1.5	1.5
男	性	487	38.0	23.2	19.7	16.8	16.8	12.3	7.2	7.4	5.3	3.1	2.9	2.1	2.5	2.1	1.0	2.1	1.0	1.0	9.4
女	性	560	33.4	16.4	15.2	16.6	11.6	9.8	8.8	8.4	3.6	3.4	3.0	2.5	1.3	1.1	0.5	1.1	0.5	0.5	20.5
無回答		21	42.9	19.0	14.3	9.5	14.3	4.8	9.5	4.8	14.3	4.8	-	-	-	-	-	-	4.8	9.5	9.5
年代別		76	9.2	6.6	5.3	14.5	-	46.1	10.5	5.3	2.6	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	13.2
20歳代		128	32.0	19.5	12.5	11.7	11.7	20.3	14.1	6.3	4.7	1.6	2.3	2.3	0.8	2.3	1.6	2.3	1.6	1.6	13.3
30歳代		191	36.1	19.4	17.8	24.1	9.4	10.5	7.9	11.0	5.2	3.1	2.1	1.6	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	12.6
40歳代		208	34.6	20.2	17.8	23.1	15.4	7.2	5.3	15.9	3.4	2.4	4.3	1.9	1.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	14.9
50歳代		200	35.0	21.0	16.5	18.0	17.0	7.0	7.0	4.0	5.0	5.5	3.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	19.0
60歳代		261	46.4	22.2	23.0	8.0	19.5	2.3	7.7	3.8	5.4	3.8	3.4	3.8	2.3	1.9	0.4	1.9	0.4	0.4	16.5
70歳代以上		4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答		4	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別		158	27.8	12.0	13.3	20.3	14.6	14.6	11.4	6.3	2.5	3.2	1.9	0.6	1.9	1.9	1.3	1.9	1.3	1.3	14.6
太宰府小学校区		100	37.0	19.0	21.0	19.0	21.0	10.0	10.0	12.0	10.0	2.0	4.0	2.0	4.0	1.0	-	4.0	1.0	-	13.0
太宰府東小学校区		95	35.8	13.7	10.5	16.8	8.4	10.5	7.4	7.4	6.3	3.2	-	1.1	1.1	1.1	3.2	1.1	3.2	1.1	14.7
太宰府南小学校区		178	25.3	25.3	22.5	18.0	19.7	14.0	9.0	11.8	2.2	5.1	1.7	1.1	-	1.1	-	1.1	-	-	18.0
水城小学校区		124	38.7	29.0	15.3	16.1	11.3	10.5	6.5	5.6	3.2	4.8	4.8	4.0	3.2	4.0	0.8	3.2	4.0	0.8	16.1
水城西小学校区		197	44.2	17.8	14.7	15.2	10.7	9.1	5.6	7.1	8.6	1.5	5.1	4.6	2.5	1.5	1.0	2.5	1.5	1.0	13.2
太宰府西小学校区		145	40.0	18.6	20.0	15.2	13.8	11.7	4.8	6.9	2.8	3.4	1.4	2.1	1.4	-	0.7	1.4	-	0.7	15.2
国分小学校区		67	40.3	22.4	22.4	9.0	10.4	-	13.4	4.5	-	3.0	4.5	1.5	-	1.5	-	1.5	-	-	19.4
わからない		4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答		4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住年数別		36	50.0	22.2	13.9	16.7	8.3	-	11.1	2.8	2.8	2.8	-	2.8	-	5.6	-	5.6	-	-	2.8
3年未満		39	41.0	15.4	15.4	23.1	20.5	-	10.3	5.1	5.1	5.1	-	-	-	2.6	-	2.6	-	-	17.9
3年以上～5年未		85	42.4	23.5	14.1	11.8	12.9	-	16.5	7.1	2.4	2.4	1.2	3.5	1.2	2.4	1.2	2.4	1.2	1.2	18.8
5年以上～10年未		133	41.4	27.8	21.1	18.8	13.5	-	6.0	9.8	6.8	2.3	3.0	2.3	3.0	2.3	3.0	2.3	0.8	0.8	15.0
10年以上～15年未		96	32.3	18.8	15.6	22.9	10.4	5.2	8.3	7.3	2.1	4.2	6.3	3.1	3.1	1.0	5.2	3.1	1.0	5.2	17.7
15年以上～20年未		144	36.1	16.7	17.4	17.4	16.7	13.2	9.0	11.1	4.9	3.5	4.9	1.4	2.1	1.4	0.7	1.4	0.7	0.7	13.9
20年以上～25年未		532	32.5	18.0	17.5	15.0	14.3	17.3	6.6	7.3	4.9	3.4	2.4	2.3	1.5	0.9	0.2	1.5	0.9	0.2	15.4
25年以上		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第2節 住みやすさについて

1. 本市の住みやすさ(問8)

● 本市の住みやすさについて『満足派』は81.0%、『不満派』は13.6%となっている。

本市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は81.0%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は13.6%で、『満足派』が約8割と高くなっている。

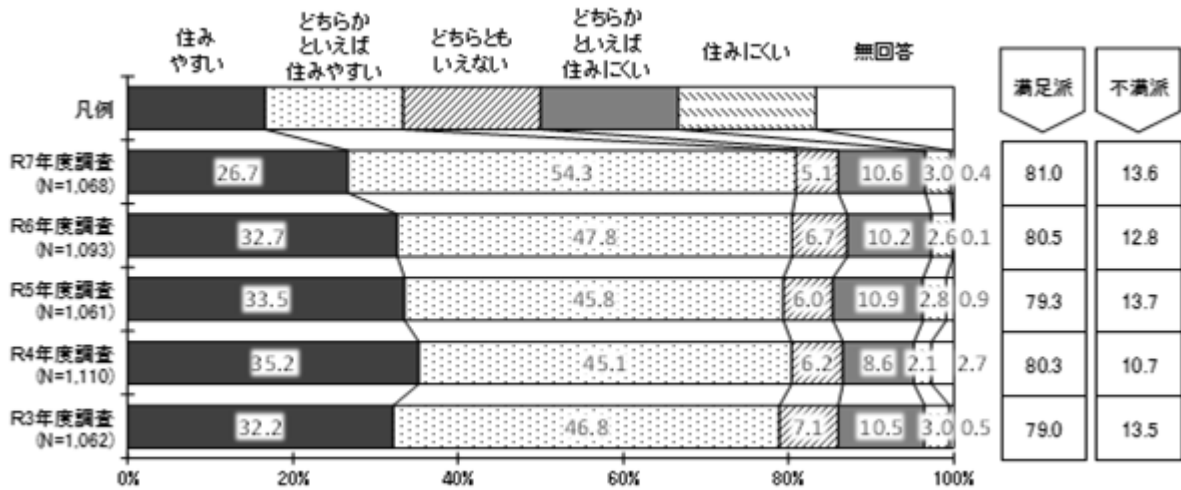
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『満足派』が0.5ポイント増加、『不満派』が0.8ポイント増加と、どちらも増加している。また、5か年の調査で『満足派』は最も高くなっている。

性別にみると、『満足派』は男性（82.8%）の方が女性（80.0%）より2.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳代以下では『満足派』が8割を超えているが、60歳代で79.0%、70歳代以上で75.9%と年代が上がるに『満足派』の割合が少し低下している。

小学校区別にみると、いずれも『満足派』が7割を超えて、『満足派』の割合が最も高いのは水城西小学校区（84.8%）となっている。一方、『不満派』が最も高いのは太宰府南小学校区の26.3%となっている。

問8. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	住みやすい	やいどすえちいばら住かみと	いどえちないとも	にいどくえちいばら住かみと	住みにくい	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		1,068	28.5	54.3	5.1	10.6	3.0	0.4	81.0	13.6
性別	男性	487	25.9	56.9	5.1	9.2	2.9	-	82.8	12.1
	女性	560	27.3	52.7	5.2	11.3	3.2	0.4	80.0	14.5
	無回答	21	28.6	38.1	-	23.8	-	9.5	66.7	23.8
年代別	20歳代	76	47.4	40.8	3.9	6.6	1.3	-	88.2	7.9
	30歳代	128	25.8	57.0	2.3	10.2	3.9	0.8	82.8	14.1
	40歳代	191	29.3	53.4	2.6	12.0	2.6	-	82.7	14.6
	50歳代	208	22.1	63.0	5.3	6.7	2.4	0.5	85.1	9.1
	60歳代	200	23.5	55.5	6.0	12.0	3.0	-	79.0	15.0
	70歳代以上	261	25.3	50.6	7.7	12.6	3.8	-	75.9	16.4
	無回答	4	25.0	-	-	25.0	-	50.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	19.6	58.2	3.2	12.0	7.0	-	77.8	19.0
	太宰府東小学校区	100	21.0	56.0	6.0	16.0	1.0	-	77.0	17.0
	太宰府南小学校区	95	16.8	54.7	2.1	18.9	7.4	-	71.5	26.3
	水城西小学校区	178	36.5	48.3	3.9	9.6	1.1	0.6	84.8	10.7
	水城西小学校区	124	29.0	58.1	5.6	5.6	1.6	-	87.1	7.2
	太宰府西小学校区	197	29.9	54.8	6.6	7.1	1.0	0.5	84.7	8.1
	国分小学校区	145	23.4	57.9	6.9	9.0	2.8	-	81.3	11.8
	わからない	67	34.3	44.8	6.0	10.4	4.5	-	79.1	14.9
	無回答	4	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0

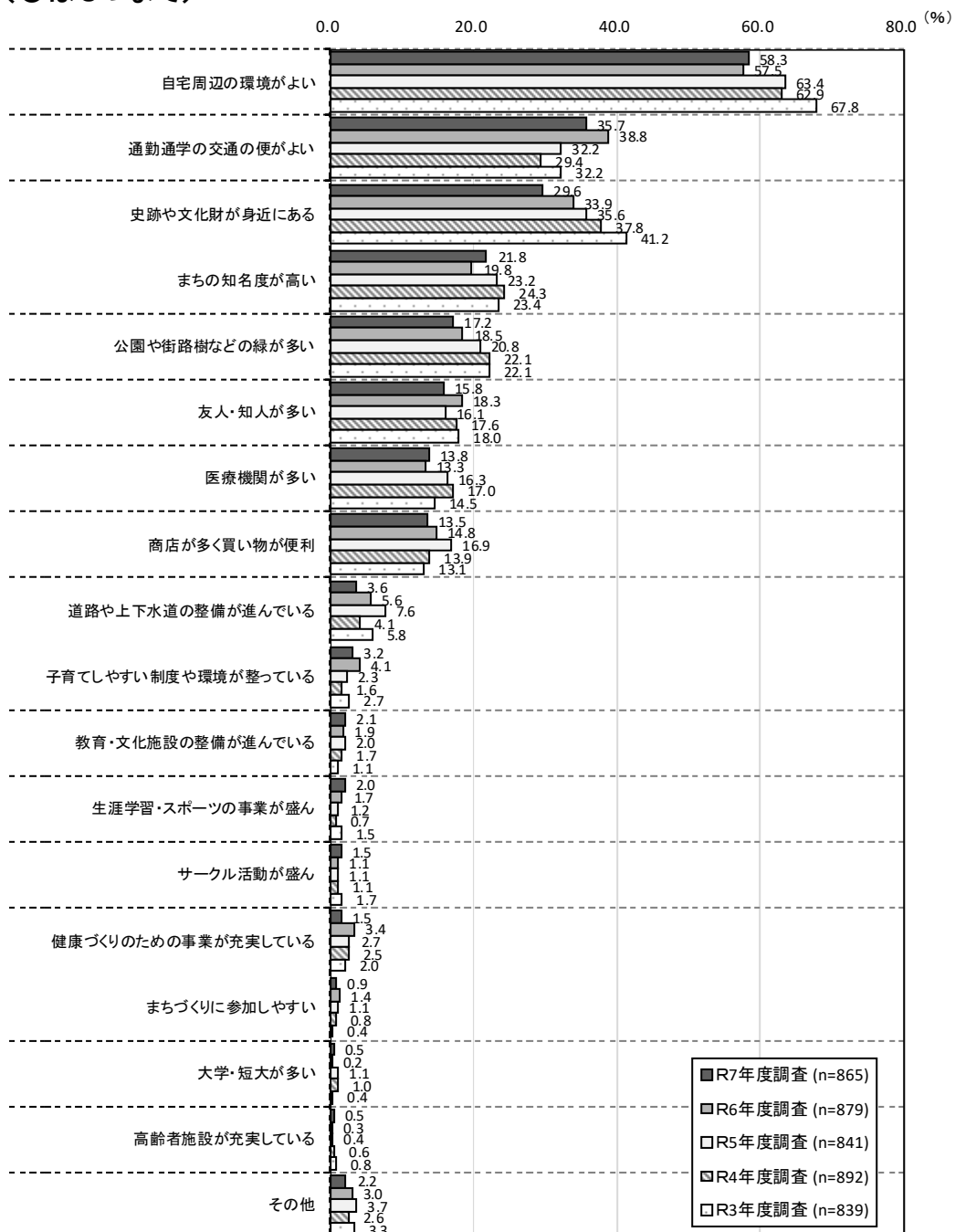
2. 住みやすい理由(問9)

- 住みやすい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(58.3%)が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」(35.7%)、「史跡や文化財が身近にある」(29.6%)などが高くなっている。

本市が住みやすい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(58.3%)が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」(35.7%)、「史跡や文化財が身近にある」(29.6%)となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から上位3項目の「自宅周辺の環境がよい」が0.8ポイント増加しているが、「通勤通学の交通の便がよい」が3.1ポイントと、「史跡や文化財が身近にある」が4.3ポイント減少している。

問9. 【住みやすいと答えた方】におたずねします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「自宅周辺の環境がよい」（男性 61.8%、女性 55.1%）が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」（男性 37.0%、女性 34.8%）、「史跡や文化財が身近にある」（男性 32.5%、女性 27.0%）の順となっている。

年代別にみると、20歳代は「通勤通学の交通の便がよい」が最も高く、次いで「自宅周辺の環境がよい」が高くなっている。一方、30歳代～60歳代では「自宅周辺の環境がよい」が最も高く、次いで「通勤通学の交通の便がよい」が高くなっており、70歳代以上では「自宅周辺の環境がよい」に次いで、「史跡や文化財が身近にある」が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。

		標本数	自宅周辺の環境がよい	よ通勤通学の交通の便が	ある史跡や文化財が身近に	まちなかの知名度が高い	公園や街路樹などの緑が多い	友人・知人が多い	医療機関が多い	利商店が多く買い物物が便	道路や上下水道の整備が進んでいる	環境が整っている	子育てしやすい制度や環境が整っている	教育・文化施設の整備が進んでいる	生涯学習・スポーツのサークル活動が盛ん	健康づくりのための事業が充実している	すまじづくりに参加しやすい	大学・短大が多い	高齢者施設が充実している	その他
全体		865	504	309	256	189	149	137	119	117	31	28	18	17	13	13	8	4	4	19
		-	58.3	35.7	29.6	21.8	17.2	15.8	13.8	13.5	3.6	3.2	2.1	2.0	1.5	1.5	0.9	0.5	0.5	2.2
性別	男性	403	61.8	37.0	32.5	22.1	18.6	12.4	11.7	13.4	3.5	2.2	2.7	2.7	1.0	1.5	1.5	0.5	0.2	2.2
	女性	448	55.1	34.8	27.0	21.7	16.1	18.3	15.8	13.6	3.6	4.2	1.6	1.3	2.0	1.6	0.4	0.4	0.7	2.2
	無回答	14	57.1	28.6	28.6	21.4	14.3	35.7	7.1	14.3	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	67	44.8	49.3	20.9	23.9	10.4	34.3	6.0	9.0	3.0	-	6.0	-	-	1.5	1.5	3.0	-	3.0
	30歳代	106	55.7	34.9	21.7	24.5	17.0	16.0	10.4	15.1	1.9	13.2	0.9	-	-	-	0.9	-	-	0.9
	40歳代	158	54.4	41.1	27.8	27.8	13.9	17.7	6.3	14.6	1.3	6.3	0.6	1.9	0.6	-	-	0.6	-	3.8
	50歳代	177	58.2	36.7	33.3	22.0	17.5	13.0	9.0	9.0	1.7	1.1	1.7	2.3	1.1	1.7	0.6	-	-	3.4
	60歳代	158	63.3	41.1	31.6	19.0	18.4	12.0	19.0	13.9	5.1	0.6	2.5	1.3	1.3	0.6	1.9	-	0.6	1.3
	70歳代以上	198	63.1	22.2	32.8	17.2	21.2	13.6	24.2	17.2	7.1	0.5	2.5	4.0	4.0	4.0	1.0	0.5	1.5	1.0
	無回答	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	123	58.5	27.6	39.8	13.0	19.5	18.7	6.5	4.1	2.4	0.8	0.8	3.3	1.6	4.9	1.6	0.8	0.8	2.4
	太宰府東小学校区	77	55.8	28.6	27.3	23.4	11.7	26.0	15.6	6.5	5.2	5.2	1.3	-	2.6	2.6	1.3	1.3	1.3	5.2
	太宰府南小学校区	68	42.6	33.8	20.6	33.8	19.1	20.6	10.3	7.4	4.4	7.4	2.9	1.5	1.5	2.9	1.5	-	-	1.5
	水城小学校区	151	60.9	49.0	33.1	17.9	19.9	11.9	11.3	11.9	1.3	2.6	4.0	1.3	1.3	-	-	0.7	-	1.3
	水城西小学校区	108	62.0	50.0	28.7	22.2	14.8	16.7	17.6	15.7	4.6	1.9	2.8	3.7	0.9	0.9	-	-	-	0.9
	太宰府西小学校区	167	64.1	28.1	25.1	22.8	16.8	9.6	24.0	30.5	4.8	2.4	2.4	1.8	2.4	-	1.2	-	0.6	1.8
	国分小学校区	118	52.5	29.7	32.2	26.3	16.9	22.0	6.8	6.8	4.2	6.8	-	1.7	0.8	1.7	1.7	-	0.8	3.4
	わからない	53	60.4	37.7	20.8	22.6	17.0	3.8	15.1	15.1	1.9	-	1.9	-	-	-	-	1.9	-	1.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

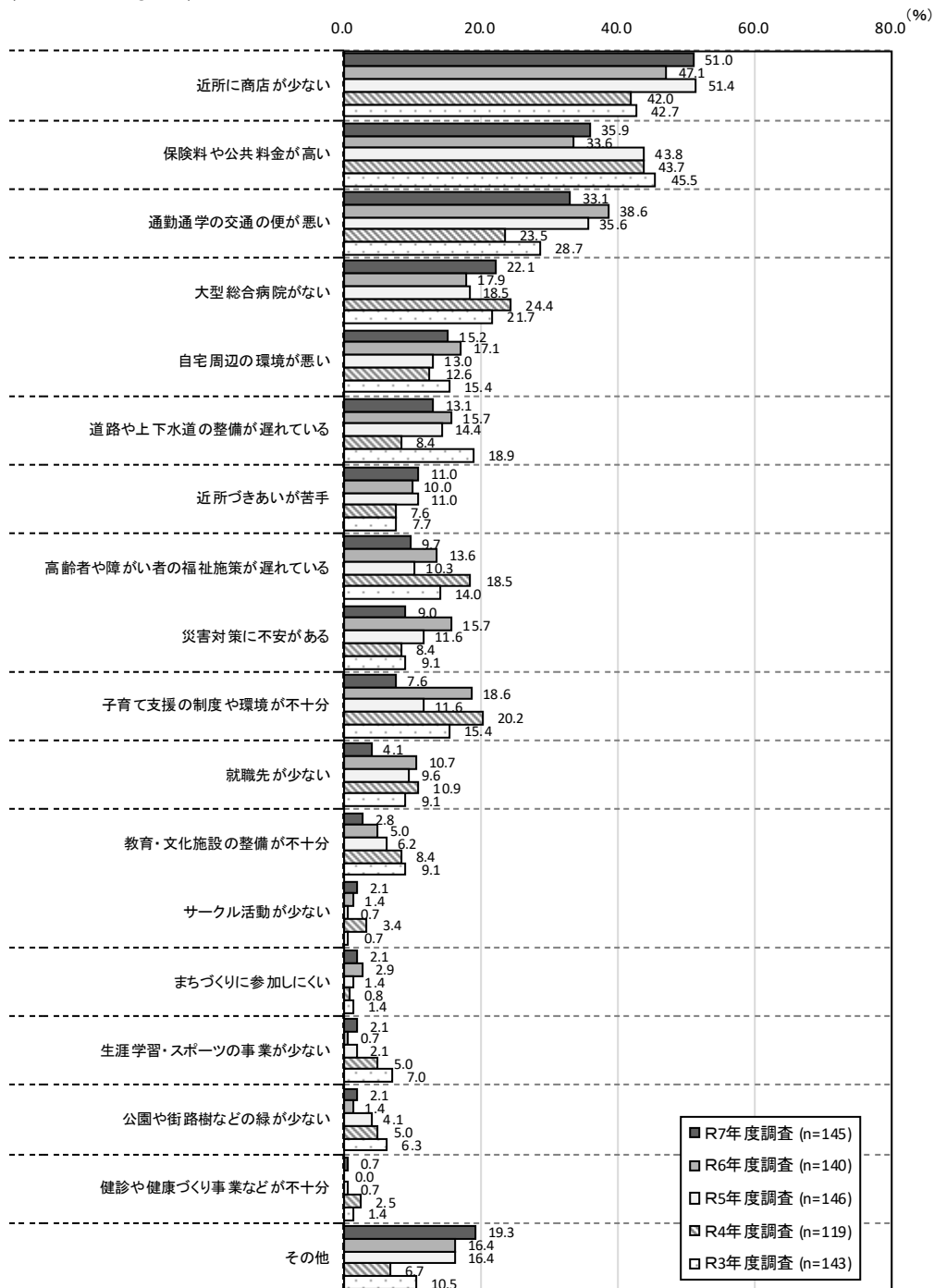
3. 住みにくい理由(問 10)

● 住みにくい理由は、「近所に商店が少ない」(51.0%) が最も高い。

本市が住みにくい理由について、「近所に商店が少ない」(51.0%) が最も高く、次いで「保険料や公共料金が高い」(35.9%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(33.1%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から上位3項目の「近所に商店が少ない」が3.9ポイント、「保険料や公共料金が高い」が2.3ポイント増加している。一方、「通勤通学の交通の便が悪い」が5.5ポイント減少している。また、令和6年度調査から最も増加がみられるのは「大型総合病院がない」(4.2ポイント増)となっている。一方、最も減少がみられるのは「子育て支援の制度や環境が不十分」(11.0ポイント減)となっている。

問 10. 【住みにくいと答えた方】におたずねします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「近所に商店が少ない」（男性 47.5%、女性 50.6%）が最も高くなっている。次いで「保険料や公共料金が高い」（男性 35.6%、女性 37.0%）、「通勤通学の交通の便が悪い」（男性 33.9%、女性 33.3%）の順になっている。

年代別にみると、20 歳代では「その他」が最も高く、30 歳代は「近所に商店が少ない」と「保険料や公共料金が高い」が同率で最も高くなり、40 歳代と 60 歳代以上で「近所に商店が少ない」、50 歳代で「通勤通学の交通の便が悪い」が高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区以外で「近所に商店が少ない」が高く、特に太宰府南小学校区では 8 割を超えている。一方、水城西小学校区では「大型総合病院がない」、太宰府西小学校区では「保険料や公共料金が高い」が最も高くなっている。ほかに、国分小学校区では「通勤通学の交通の便が悪い」も同率で高くなっている。

		標本数	近所に商店が少ない	い保険料や公共料金が高い	悪い通勤通学の交通の便が	大型総合病院がない	自宅周辺の環境が悪い	が道路や上下水道の整備が遅れている	近所づきあいが苦手	社高齢者や障がい者の福祉策が遅れている	災害対策に不安がある	境が子育て支援の制度や環境が不十分	就職先が少ない	教育・文化施設の整備が不十分	サークル活動が少ない	くまづくりに参加しない	生涯学習・スポーツの事業が少ない	公園や街路樹などの緑が少ない	健診や健康づくり事業などが不十分	その他
全体		145	74	52	48	32	22	19	16	14	13	11	6	4	3	3	3	3	1	28
性別	男性	59	47.5	35.6	33.9	23.7	15.3	20.3	10.2	5.1	5.1	5.1	3.4	1.7	-	1.7	1.7	-	-	20.3
	女性	81	50.6	37.0	33.3	21.0	13.6	7.4	12.3	9.9	12.3	9.9	4.9	3.7	3.7	2.5	2.5	1.2	-	18.5
	無回答	5	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	20.0
年代別	20歳代	6	16.7	16.7	16.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	-	66.7
	30歳代	18	33.3	33.3	27.8	22.2	16.7	16.7	16.7	-	5.6	16.7	5.6	5.6	-	5.6	-	-	-	27.8
	40歳代	28	53.6	39.3	39.3	10.7	17.9	14.3	7.1	3.6	7.1	17.9	10.7	3.6	3.6	-	3.6	-	-	25.0
	50歳代	19	36.8	36.8	42.1	15.8	10.5	10.5	5.3	5.3	15.8	10.5	-	5.3	-	-	-	5.3	5.3	15.8
	60歳代	30	66.7	43.3	30.0	23.3	20.0	6.7	13.3	13.3	13.3	3.3	3.3	3.3	3.3	-	-	-	-	10.0
	70歳代以上	43	55.8	30.2	30.2	32.6	14.0	16.3	14.0	18.6	7.0	-	-	-	-	2.3	4.7	2.3	2.3	-
	無回答	1	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	30	50.0	23.3	30.0	16.7	16.7	13.3	10.0	3.3	13.3	16.7	3.3	3.3	-	-	3.3	3.3	3.3	33.3
	太宰府東小学校区	17	52.9	23.5	41.2	23.5	-	23.5	11.8	17.6	-	-	-	-	-	-	-	11.8	-	29.4
	太宰府南小学校区	25	84.0	36.0	40.0	20.0	20.0	4.0	8.0	16.0	4.0	-	4.0	4.0	4.0	-	-	-	-	4.0
	水城西小学校区	19	57.9	52.6	21.1	31.6	21.1	10.5	-	10.5	15.8	15.8	10.5	-	-	-	5.3	-	-	10.5
	水城西小学校区	9	44.4	11.1	11.1	55.6	11.1	33.3	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1	-	11.1	-	-	22.2
	太宰府西小学校区	16	6.3	50.0	25.0	25.0	12.5	6.3	18.8	6.3	6.3	18.8	6.3	-	-	12.5	-	-	-	25.0
	国分小学校区	17	52.9	41.2	52.9	11.8	17.6	5.9	23.5	17.6	17.6	-	-	5.9	5.9	-	-	-	-	17.6
	わからない	10	20.0	50.0	20.0	10.0	20.0	30.0	20.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0
	無回答	2	100.0	50.0	100.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3節 本市の行政運営について

1. 市政への関心度(問 11)

● 市政への関心度は、『ある派』は70.9%、『ない派』は28.9%となっている。

市政への関心度について、『ある派』（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）は70.9%となっている。一方、『ない派』（「ない」と「どちらかといえばない」の合計）は28.9%で、『ある派』の方が『ない派』よりも42.0ポイント高くなっている。

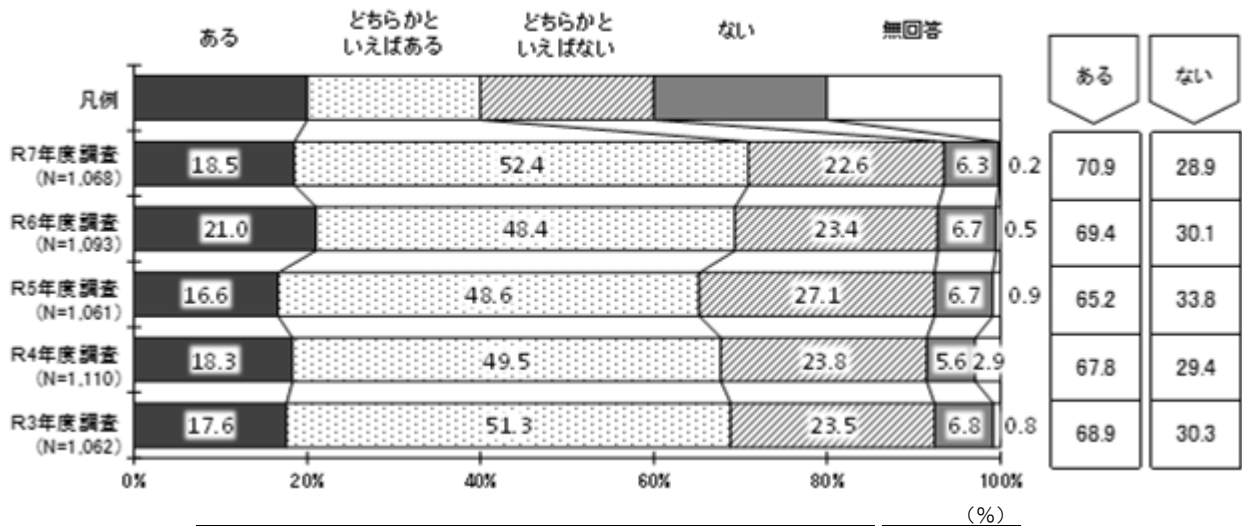
過去の調査結果と比べると、『ある派』が令和6年度調査から1.5ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『ある派』は男性（72.7%）の方が女性（70.1%）より2.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、『ある派』は70歳代以上（75.8%）が最も高くなっており、一方、『ない派』は20歳代（46.1%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『ある派』の方が『ない派』より高くなっており、国分小学校区（77.2%）が最も高くなっている。

問 11. あなたは市政に関心はありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある	えど どちら あらか とい	えど どちら ならい かとい	ない	無 回 答	ある 派	ない 派
全体		1,068	198	560	241	67	2	758	308
		100.0	18.5	52.4	22.6	6.3	0.2	70.9	28.9
性別	男性	487	22.0	50.7	19.7	7.6	-	72.7	27.3
	女性	560	15.5	54.6	24.5	5.2	0.2	70.1	29.7
	無回答	21	19.0	33.3	38.1	4.8	4.8	52.3	42.9
年代別	20歳代	76	14.5	39.5	30.3	15.8	-	54.0	46.1
	30歳代	128	21.1	44.5	23.4	10.9	-	65.6	34.3
	40歳代	191	17.8	51.3	22.5	8.4	-	69.1	30.9
	50歳代	208	20.7	52.9	21.6	4.8	-	73.6	26.4
	60歳代	200	17.5	55.5	23.0	3.5	0.5	73.0	26.5
	70歳代以上	261	17.6	58.2	20.7	3.1	0.4	75.8	23.8
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	19.0	53.2	21.5	6.3	-	72.2	27.8
	太宰府東小学校区	100	23.0	51.0	20.0	5.0	1.0	74.0	25.0
	太宰府南小学校区	95	23.2	48.4	23.2	5.3	-	71.6	28.5
	水城小学校区	178	15.2	56.7	18.0	9.6	0.6	71.9	27.6
	水城西小学校区	124	19.4	53.2	21.0	6.5	-	72.6	27.5
	太宰府西小学校区	197	18.8	48.7	28.9	3.6	-	67.5	32.5
	国分小学校区	145	19.3	57.9	19.3	3.4	-	77.2	22.7
	わからない	67	7.5	44.8	32.8	14.9	-	52.3	47.7
無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-	

2. 市政への信頼度(問 12)

● 市政への信頼については、『肯定派』は79.2%、『否定派』は20.3%となっている。

市政への信頼度について、『肯定派』（「信頼している」と「どちらかといえば信頼している」の合計）は79.2%となっている。一方、『否定派』（「信頼していない」と「どちらかといえば信頼していない」の合計）は20.3%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも58.9ポイント高くなっている。

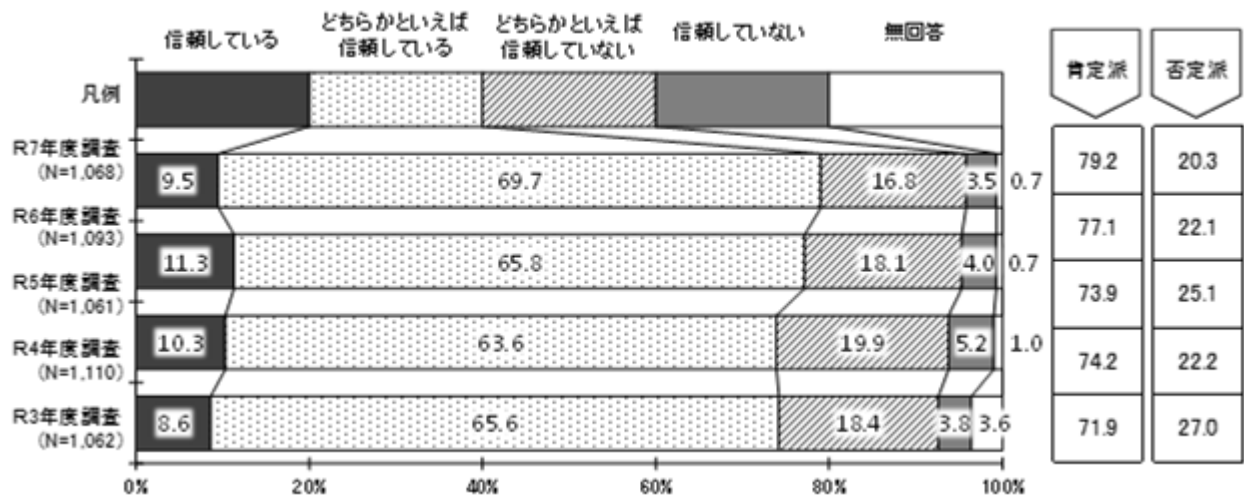
過去の調査結果と比べると、『肯定派』が令和6年度調査から2.1ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（80.9%）の方が男性（77.4%）より3.5ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は70歳代以上（83.9%）が最も高くなっており、一方、『否定派』は40歳代（27.2%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、水城小学校区（82.1%）が最も高くなっている。

問 12. あなたは市政を信頼していますか。(〇は1つ)



		標本数	信頼している	い えど ち ら か と い え ば 信 頼 し て い る	い えど ち ら か と い え ば 信 頼 し て い な い	信 頼 し て い な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,068	101	744	179	37	7	845	216
		100.0	9.5	69.7	16.8	3.5	0.7	79.2	20.3
性別	男 性	487	11.1	66.3	18.1	4.1	0.4	77.4	22.2
	女 性	560	7.7	73.2	15.9	2.7	0.5	80.9	18.6
	無回答	21	19.0	52.4	9.5	9.5	9.5	71.4	19.0
年代別	20歳代	76	15.8	60.5	21.1	1.3	1.3	76.3	22.4
	30歳代	128	6.3	71.1	15.6	6.3	0.8	77.4	21.9
	40歳代	191	11.5	61.3	20.9	6.3	-	72.8	27.2
	50歳代	208	6.3	75.5	15.4	2.9	-	81.8	18.3
	60歳代	200	8.5	69.5	19.5	2.0	0.5	78.0	21.5
	70歳代以上	261	11.1	72.8	12.3	2.3	1.5	83.9	14.6
	無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	10.8	62.7	21.5	4.4	0.6	73.5	25.9
	太宰府東小学校区	100	10.0	72.0	17.0	1.0	-	82.0	18.0
	太宰府南小学校区	95	5.3	68.4	18.9	6.3	1.1	73.7	25.2
	水城小学校区	178	7.9	74.2	11.8	5.1	1.1	82.1	16.9
	水城西小学校区	124	12.1	68.5	16.9	2.4	-	80.6	19.3
	太宰府西小学校区	197	12.2	69.0	16.8	1.0	1.0	81.2	17.8
	国分小学校区	145	8.3	72.4	15.9	2.8	0.7	80.7	18.7
	わからない	67	6.0	70.1	16.4	7.5	-	76.1	23.9
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0

3. 効果的な行政運営に対する評価(問 13)

● 効果的な行政運営については、『肯定派』は71.5%、『否定派』は27.4%となっている。

本市の効果的な行政運営について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は71.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は27.4%で、『肯定派』の方が『否定派』より44.1ポイント高くなっている。

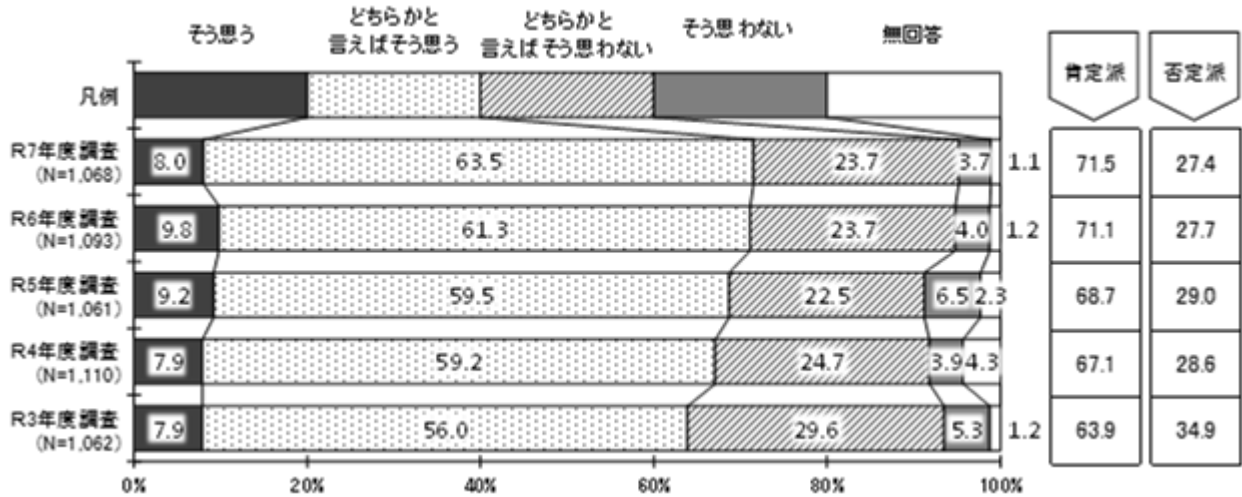
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和6年度調査から0.4ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（72.1%）の方が男性（71.5%）より0.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは30歳代（75.0%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区（76.4%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（32.9%）となっている。

問 13. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えどち ばち そう か 思 う 言	な えど ち ら か 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,068 100.0	85 8.0	678 63.5	253 23.7	40 3.7	12 1.1	763 71.5	293 27.4
性 別	男 性	487	7.8	63.7	23.8	4.3	0.4	71.5	28.1
	女 性	560	8.0	64.1	23.2	3.2	1.4	72.1	26.4
	無回答	21	9.5	42.9	33.3	4.8	9.5	52.4	38.1
年 代 別	20歳代	76	14.5	59.2	25.0	1.3	-	73.7	26.3
	30歳代	128	4.7	70.3	21.1	3.1	0.8	75.0	24.2
	40歳代	191	12.0	61.3	22.0	4.7	-	73.3	26.7
	50歳代	208	3.4	68.3	23.6	3.8	1.0	71.7	27.4
	60歳代	200	6.5	60.0	27.5	5.5	0.5	66.5	33.0
	70歳代以上	261	9.6	61.3	23.4	2.7	3.1	70.9	26.1
	無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	5.7	59.5	27.2	5.7	1.9	65.2	32.9
	太宰府東小学校区	100	8.0	63.0	24.0	2.0	3.0	71.0	26.0
	太宰府南小学校区	95	8.4	64.2	21.1	6.3	-	72.6	27.4
	水城小学校区	178	10.1	66.3	18.5	3.9	1.1	76.4	23.6
	水城西小学校区	124	11.3	64.5	21.0	3.2	-	75.8	24.2
	太宰府西小学校区	197	9.6	66.0	23.4	0.5	0.5	75.6	24.4
	国分小学校区	145	5.5	60.7	28.3	3.4	2.1	66.2	33.8
	わからない	67	1.5	61.2	28.4	9.0	-	62.7	37.3
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0

4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度(問 14)

● 市職員の対応や行動などの仕事への取り組みについては、『満足派』は 85.1%、『不満派』は 14.5%となっている。

市職員の対応や姿勢に対する満足度について、『満足派』（「満足している」と「ある程度満足している」の合計）は 85.1%となっている。一方、『不満派』（「満足していない」と「あまり満足していない」の合計）は 14.5%で、『満足派』の方が『不満派』より 70.6 ポイント高くなっている。

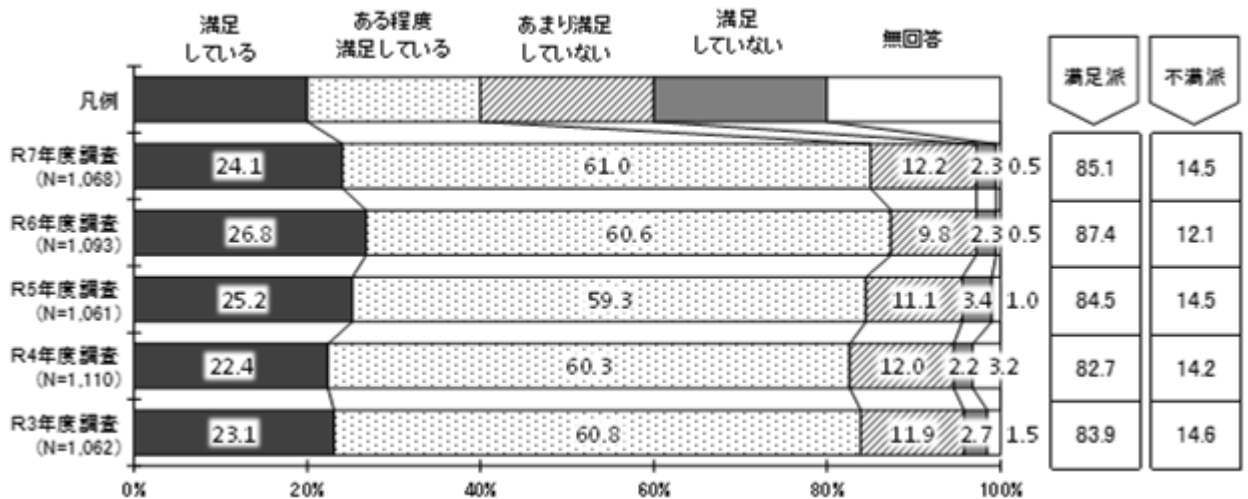
過去の調査結果と比べると、『満足派』は令和 6 年度調査から 2.3 ポイント減少している。

性別にみると、『満足派』は男性（86.1%）の方が女性（84.2%）より 1.9 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『満足派』が最も高いのは 20 歳代（89.5%）となっている。

小学校区別にみると、いずれの小学校区も『満足派』が 8 割を超えており、最も高いのは水城西小学校区（88.7%）となっている。一方、『不満派』が最も高いのは太宰府南小学校区（17.9%）となっている。

問 14. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。(〇は1つ)



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		1,068	257	651	130	25	5	908	155
		100.0	24.1	61.0	12.2	2.3	0.5	85.1	14.5
性別	男性	487	29.4	56.7	11.1	2.3	0.6	86.1	13.4
	女性	560	19.6	64.6	13.4	2.1	0.2	84.2	15.5
	無回答	21	19.0	61.9	4.8	9.5	4.8	80.9	14.3
年代別	20歳代	76	30.3	59.2	9.2	1.3	-	89.5	10.5
	30歳代	128	23.4	63.3	11.7	1.6	-	86.7	13.3
	40歳代	191	25.7	55.5	16.8	2.1	-	81.2	18.9
	50歳代	208	20.2	64.4	10.6	4.3	0.5	84.6	14.9
	60歳代	200	22.5	59.5	14.0	2.5	1.5	82.0	16.5
	70歳代以上	261	25.3	62.8	10.0	1.5	0.4	88.1	11.5
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	20.3	65.2	11.4	3.2	-	85.5	14.6
	太宰府東小学校区	100	27.0	58.0	15.0	-	-	85.0	15.0
	太宰府南小学校区	95	21.1	60.0	15.8	2.1	1.1	81.1	17.9
	水城小学校区	178	23.6	61.2	10.7	3.4	1.1	84.8	14.1
	水城西小学校区	124	24.2	64.5	8.9	2.4	-	88.7	11.3
	太宰府西小学校区	197	26.4	61.9	10.7	1.0	-	88.3	11.7
	国分小学校区	145	24.1	58.6	13.1	2.8	1.4	82.7	15.9
	わからない	67	25.4	53.7	16.4	4.5	-	79.1	20.9
無回答	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0	

5. 続まちづくりビジョンの認知度(問 15)

● 続まちづくりビジョンの認知度は、「知らない」は 66.1%、「聞いた(見た)ことがある」は 22.4%となっている。

続まちづくりビジョンの認知度について、「知らない」(66.1%)が最も高く、次いで「聞いた(見た)ことがある」(22.4%)、「読んだことがある」(9.8%)の順となっている。

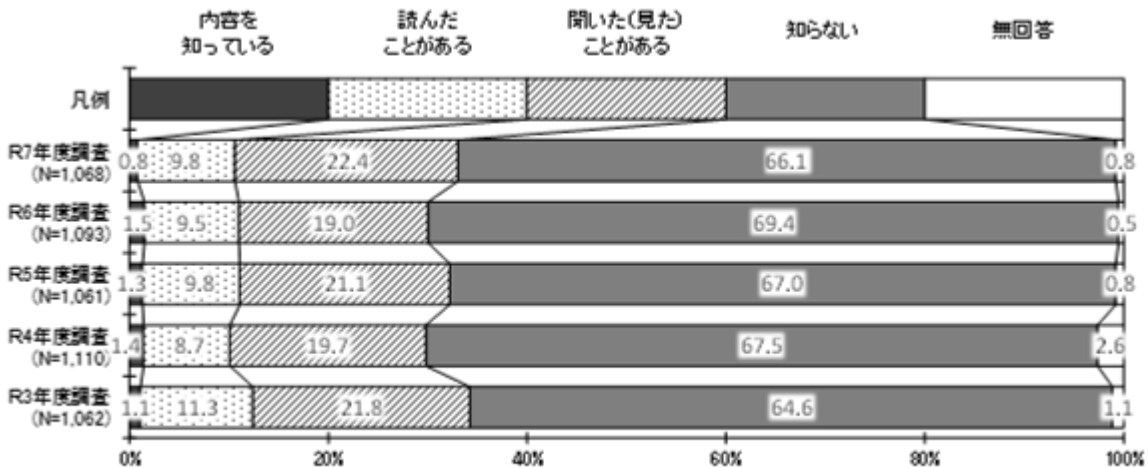
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から「知らない」が3.3ポイント減少して、「聞いた(見た)ことがある」が3.4ポイント増加している。

性別にみると、「知らない」は男性が66.7%、女性が65.5%で男性が1.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、「内容を知っている」の割合があるのが40歳代以上で20歳代、30歳代では回答が無かった。また、60歳代の2.0%が最も高くなっている。一方、「知らない」が最も高いのは40歳代(72.3%)となっている。

小学校区別にみると、「内容を知っている」が最も高いのは太宰府南小学校区(2.1%)となっている。一方、「知らない」が最も高いのは水城西小学校区(71.0%)となっている。

問 15. あなたは第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(続まちづくりビジョン)を知っていますか。(〇は1つ)



※R6年度調査までは「第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(まちづくりビジョン)」の認知度

		標本数	内容を知っている	読んだことがある	聞いた(見た)ことがある	知らない	無回答
全体		1,068	0.8	9.8	22.4	66.1	0.8
性別	男性	487	1.2	10.7	19.9	66.7	1.4
	女性	560	0.5	8.9	24.8	65.5	0.2
	無回答	21	-	14.3	14.3	66.7	4.8
年代別	20歳代	76	-	6.6	26.3	67.1	-
	30歳代	128	-	12.5	20.3	67.2	-
	40歳代	191	1.0	8.9	17.8	72.3	-
	50歳代	208	0.5	8.2	22.6	68.8	-
	60歳代	200	2.0	14.5	22.0	61.0	0.5
	70歳代以上	261	0.8	7.7	26.1	62.5	3.1
	無回答	4	-	25.0	-	75.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	1.3	11.4	17.1	69.0	1.3
	太宰府東小学校区	100	2.0	10.0	24.0	62.0	2.0
	太宰府南小学校区	95	2.1	11.6	28.4	57.9	-
	水城西小学校区	178	-	11.2	23.0	64.6	1.1
	水城西小学校区	124	-	8.9	20.2	71.0	-
	太宰府西小学校区	197	0.5	8.1	26.4	64.5	0.5
	国分小学校区	145	1.4	9.7	23.4	64.1	1.4
	わからない	67	-	6.0	13.4	80.6	-
	無回答	4	-	25.0	-	75.0	-

6. 本市が行っている施策について

(1) 施策の重要度(33 施策)(問 16)

●「施策 27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」「施策 26 交通環境の再構築」「施策 13 市民の健康づくり」などで「重要」の割合が高い。

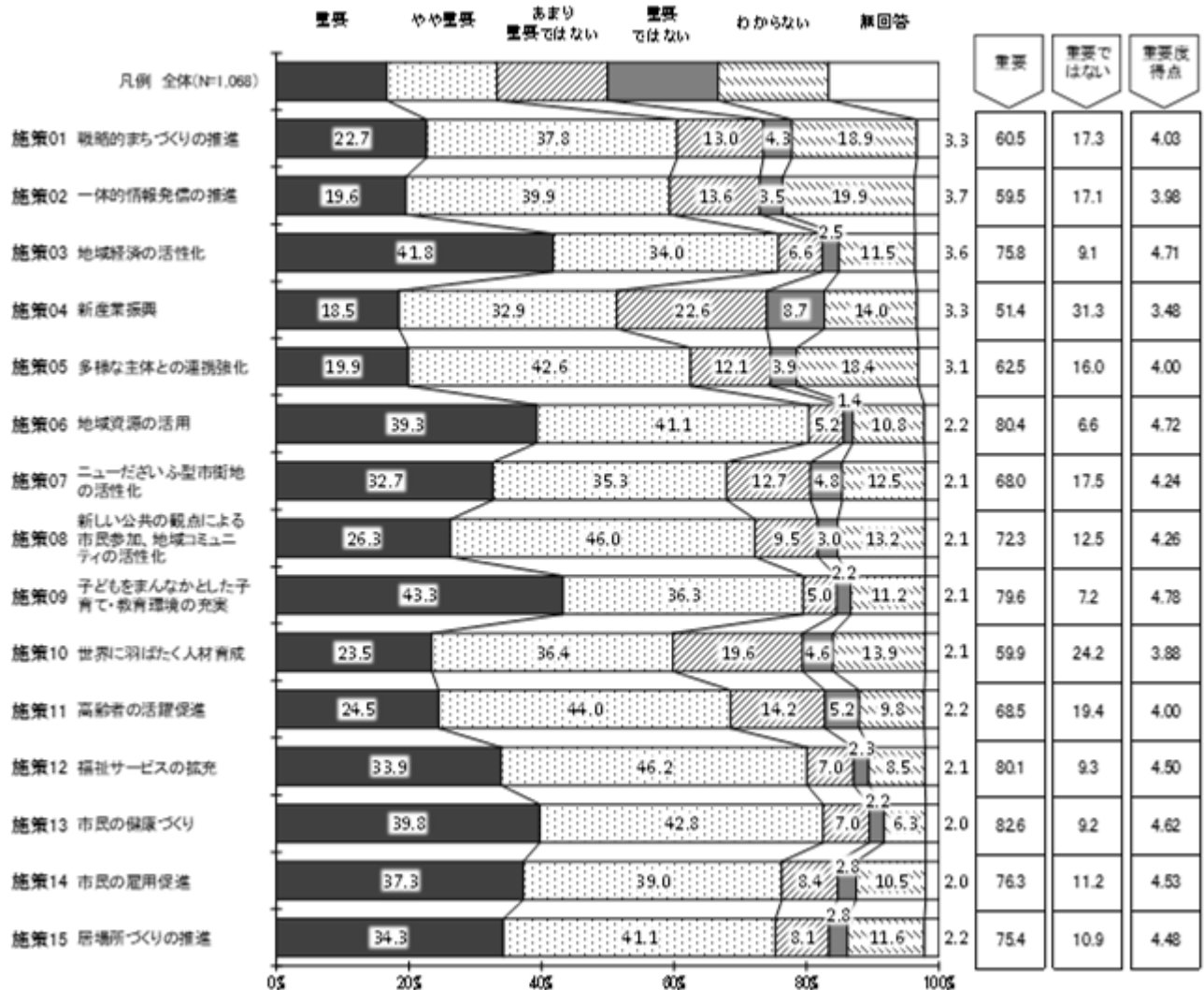
続まちづくりビジョンに掲げた 33 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは、「27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」（87.1%）、「26 交通環境の再構築」（84.8%）、「13 市民の健康づくり」（82.6%）、「28 災害、気候変動への適応」（80.7%）、「06 地域資源の活用」（80.4%）、「12 福祉サービスの拡充」（80.1%）、「09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実」（79.6%）、「21 オーバーツーリズム対策」（77.1%）などがある。

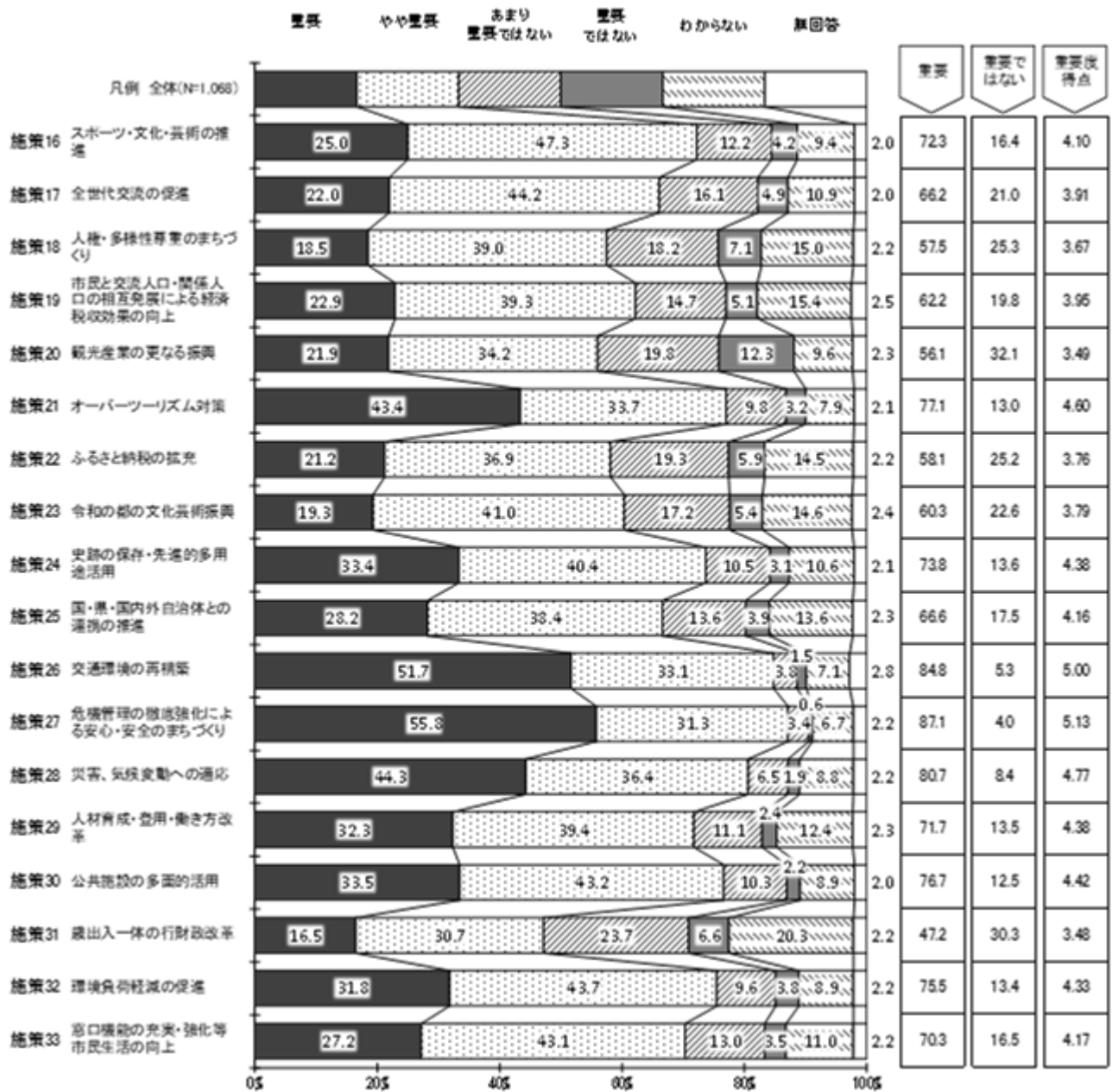
一方、『重要』と考えている割合が低いのは、「31 歳出入一体の行財政改革」（47.2%）や「04 新産業振興」（51.4%）などがあげられる。

問 16. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる次の1～33の施策についておたずねします。

(A) あなたはこの施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。





■重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	→ 6点
2. やや重要	→ 4点
3. あまり重要ではない	→ 2点
4. 重要ではない	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

重要度得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$
-------	---	--

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	87.1	4.0	6.7	5.13	1
施策26 交通環境の再構築	84.8	5.3	7.1	5.00	2
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	79.6	7.2	11.2	4.78	3
施策28 災害、気候変動への適応	80.7	8.4	8.8	4.77	4
施策06 地域資源の活用	80.4	6.6	10.8	4.72	5
施策03 地域経済の活性化	75.8	9.1	11.5	4.71	6
施策13 市民の健康づくり	82.6	9.2	6.3	4.62	7
施策21 オーバーツーリズム対策	77.1	13.0	7.9	4.60	8
施策14 市民の雇用促進	76.3	11.2	10.5	4.53	9
施策12 福祉サービスの拡充	80.1	9.3	8.5	4.50	10
施策15 居場所づくりの推進	75.4	10.9	11.6	4.48	11
施策30 公共施設の多面的活用	76.7	12.5	8.9	4.42	12
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	73.8	13.6	10.6	4.38	13
施策29 人材育成・登用・働き方改革	71.7	13.5	12.4	4.38	14
施策32 環境負荷軽減の促進	75.5	13.4	8.9	4.33	15
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	72.3	12.5	13.2	4.26	16
施策07 ニューださいふ型市街地の活性化	68.0	17.5	12.5	4.24	17
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	70.3	16.5	11.0	4.17	18
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	66.6	17.5	13.6	4.16	19
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	72.3	16.4	9.4	4.10	20
施策01 戦略的まちづくりの推進	60.5	17.3	18.9	4.03	21
施策05 多様な主体との連携強化	62.5	16.0	18.4	4.00	22
施策11 高齢者の活躍促進	68.5	19.4	9.8	4.00	23
施策02 一体的情報発信の推進	59.5	17.1	19.9	3.98	24
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	62.2	19.8	15.4	3.95	25
施策17 全世代交流の促進	66.2	21.0	10.9	3.91	26
施策10 世界に羽ばたく人材育成	59.9	24.2	13.9	3.88	27
施策23 令和の都の文化芸術振興	60.3	22.6	14.6	3.79	28
施策22 ふるさと納税の拡充	58.1	25.2	14.5	3.76	29
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	57.5	25.3	15.0	3.67	30
施策20 観光産業の更なる振興	56.1	32.1	9.6	3.49	31
施策04 新産業振興	51.4	31.3	14.0	3.48	32
施策31 歳入一体の行財政改革	47.2	30.3	20.3	3.48	33

重要度
【平均値】
4.23

『重要』 = 「重要」 + 「やや重要」
『重要ではない』 = 「あまり重要ではない」 + 「重要ではない」

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

① 性別

重要度の平均値は4.23となり、その内訳をみると男性が4.15に対し女性は4.32で、女性の方が高くなっている。

女性に対し、男性の方が重要度の高い施策は2項目（施策01、02）で、29項目は女性の重要度が高く、女性の方が重要度の高い施策が多くある。中でも「15 居場所づくりの推進」（男性4.26、女性4.69）の差が0.43で最も大きい。男性では「01 戦略的まちづくりの推進」（男性4.16、女性3.92）の差が0.24で大きくなっている。なお、2項目（施策21、33）は同数となっている。

② 年齢別

第1位をみると、20歳代と50歳代以上は「27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」、30歳代と40歳代は「09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、太宰府東小学校区を除くすべての小学校区で「27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」となっている。なお、太宰府東小学校区は「26 交通環境の再構築」が第1位となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上									
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	5.13 1	5.08 1	5.18 1	5.44 1	5.20 2	4.87 2	5.04 1	5.19 1	5.21 1									
施策26 交通環境の再構築	5.00 2	4.97 2	5.03 2	5.25 2	5.00 3	4.72 4	4.92 2	5.11 2	5.10 2									
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	4.78 3	4.76 3	4.82 4	4.87 6	5.22 1	4.89 1	4.69 6	4.55 10	4.69 4									
施策28 災害、気候変動への適応	4.77 4	4.60 7	4.93 3	4.93 4	4.87 4	4.58 7	4.64 8	4.88 3	4.83 3									
施策06 地域資源の活用	4.72 5	4.64 5	4.80 5	4.77 8	4.71 6	4.62 5	4.91 3	4.70 4	4.63 8									
施策03 地域経済の活性化	4.71 6	4.67 4	4.74 6	4.69 11	4.85 5	4.79 3	4.79 4	4.61 8	4.56 11									
施策13 市民の健康づくり	4.62 7	4.58 8	4.68 8	4.88 5	4.60 7	4.36 9	4.64 8	4.70 4	4.66 6									
施策21 オーバーツーリズム対策	4.60 8	4.61 6	4.61 11	4.94 3	4.60 7	4.57 8	4.73 5	4.59 9	4.42 13									
施策14 市民の雇用促進	4.53 9	4.39 9	4.67 9	4.63 13	4.37 13	4.62 5	4.67 7	4.53 12	4.38 14									
施策12 福祉サービスの拡充	4.50 10	4.35 11	4.62 10	4.64 12	4.09 17	4.26 12	4.56 10	4.67 6	4.64 7									
施策15 居場所づくりの推進	4.48 11	4.26 14	4.69 7	4.78 7	4.46 11	4.35 10	4.32 11	4.55 10	4.58 10									
施策30 公共施設の多面的活用	4.42 12	4.35 11	4.51 12	4.59 14	4.47 10	4.25 13	4.21 14	4.64 7	4.50 12									
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	4.38 13	4.37 10	4.41 15	4.72 10	4.29 14	4.18 14	4.20 15	4.43 15	4.61 9									
施策29 人材育成・登用・働き方改革	4.38 13	4.27 13	4.50 13	4.74 9	4.45 12	4.34 11	4.24 12	4.40 16	4.37 16									
施策32 環境負荷軽減の促進	4.33 15	4.16 16	4.50 13	4.50 16	4.09 17	4.06 16	4.08 19	4.50 13	4.68 5									
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	4.26 16	4.14 18	4.38 16	4.26 22	4.23 15	4.18 14	4.23 13	4.33 17	4.29 17									
施策07 ニューださいふ型市街地の活性化	4.24 17	4.13 19	4.35 17	4.41 18	4.52 9	4.02 18	4.19 16	4.22 20	4.29 17									
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	4.17 18	4.18 15	4.18 19	4.48 17	4.02 22	4.04 17	4.16 17	4.27 19	4.17 19									
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.16 19	4.07 21	4.25 18	4.38 19	4.04 20	3.75 28	4.00 22	4.47 14	4.38 14									
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	4.10 20	4.11 20	4.12 22	4.55 15	4.16 16	3.94 21	4.03 21	4.19 22	4.04 24									
施策01 戦略的まちづくりの推進	4.03 21	4.16 16	3.92 26	4.22 25	4.00 23	4.01 19	3.98 23	4.04 23	4.01 26									
施策05 多様な主体との連携強化	4.00 22	3.87 24	4.13 21	4.25 23	3.90 24	3.77 25	4.05 20	4.03 24	4.09 20									
施策11 高齢者の活躍促進	4.00 22	3.82 26	4.16 20	3.91 30	3.60 28	3.76 27	4.12 18	4.28 18	4.06 22									
施策02 一体的情報発信の推進	3.98 24	4.01 22	3.96 25	4.24 24	3.88 25	3.77 25	3.96 24	4.03 24	4.08 21									
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	3.95 25	3.91 23	4.02 24	4.30 20	3.86 26	3.82 24	3.93 25	3.96 26	4.00 27									
施策17 全世代交流の促進	3.91 26	3.79 27	4.05 23	4.06 28	3.59 30	3.86 22	3.68 27	4.21 21	4.02 25									
施策10 世界に羽ばたく人材育成	3.88 27	3.85 25	3.91 27	3.97 29	4.09 17	3.85 23	3.73 26	3.68 30	4.05 23									
施策23 令和の都の文化芸術振興	3.79 28	3.71 28	3.89 28	4.29 21	4.04 20	3.67 29	3.51 30	3.79 28	3.83 28									
施策22 ふるさと納税の拡充	3.76 29	3.66 29	3.86 29	4.16 27	3.85 27	3.96 20	3.61 28	3.79 29	3.60 30									
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	3.67 30	3.48 30	3.84 30	4.18 26	3.41 32	3.49 30	3.40 33	3.93 27	3.80 29									
施策20 観光産業の更なる振興	3.49 31	3.32 32	3.66 31	3.82 31	3.60 28	3.25 32	3.45 32	3.61 31	3.46 33									
施策04 新産業振興	3.48 32	3.30 33	3.65 32	3.56 33	3.35 33	3.24 33	3.56 29	3.55 32	3.58 31									
施策31 歳出入一体の行財政改革	3.48 32	3.47 31	3.50 33	3.79 32	3.52 31	3.39 31	3.46 31	3.41 33	3.48 32									
平均	4.23	-	4.15	-	4.32	-	4.46	-	4.21	-	4.10	-	4.17	-	4.30	-	4.28	-

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府小学校区	太宰府東小学校区	太宰府南小学校区	水城小学校区	水城西小学校区	太宰府西小学校区	国分小学校区	わからない									
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	5.13 1	5.04 1	5.13 2	5.13 1	5.20 1	5.16 1	5.28 1	4.96 1	4.97 1									
施策26 交通環境の再構築	5.00 2	4.95 3	5.33 1	5.08 2	5.01 2	4.85 3	5.03 2	4.83 2	4.93 2									
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	4.78 3	4.69 6	4.68 10	4.82 3	4.88 3	4.86 2	4.94 3	4.68 3	4.41 10									
施策28 災害、気候変動への適応	4.77 4	4.68 7	4.74 6	4.61 7	4.86 4	4.85 3	4.90 4	4.64 4	4.71 4									
施策06 地域資源の活用	4.72 5	4.89 4	4.70 8	4.74 4	4.72 7	4.67 7	4.75 5	4.56 8	4.70 5									
施策03 地域経済の活性化	4.71 6	4.81 5	5.01 3	4.59 8	4.75 5	4.79 5	4.71 6	4.61 6	4.00 17									
施策13 市民の健康づくり	4.62 7	4.42 11	4.65 11	4.58 9	4.61 9	4.78 6	4.69 7	4.64 6	4.60 6									
施策21 オーバーツーリズム対策	4.60 8	4.96 2	4.81 5	4.67 6	4.75 5	4.42 12	4.41 14	4.23 14	4.74 3									
施策14 市民の雇用促進	4.53 9	4.35 14	4.40 15	4.68 5	4.54 13	4.54 8	4.60 8	4.59 7	4.52 7									
施策12 福祉サービスの拡充	4.50 10	4.48 10	4.73 7	4.33 14	4.59 10	4.50 9	4.58 10	4.34 11	4.21 12									
施策15 居場所づくりの推進	4.48 11	4.42 11	4.38 16	4.38 13	4.72 7	4.32 13	4.60 8	4.47 9	4.16 14									
施策30 公共施設の多面的活用	4.42 12	4.53 9	4.69 9	4.39 11	4.41 15	4.49 10	4.25 16	4.33 12	4.44 8									
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	4.38 13	4.34 15	4.56 12	3.98 22	4.48 14	4.27 15	4.56 11	4.28 13	4.44 8									
施策29 人材育成・登用・働き方改革	4.38 13	4.40 13	4.33 17	4.22 16	4.38 16	4.44 11	4.50 13	4.37 10	4.18 13									
施策32 環境負荷軽減の促進	4.33 15	4.33 16	4.28 18	4.39 11	4.56 12	4.28 14	4.53 12	4.00 16	3.93 20									
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	4.26 16	4.29 17	4.16 25	4.10 17	4.58 11	4.27 15	4.34 15	3.95 18	3.96 19									
施策07 ニューださいふ型市街地の活性化	4.24 17	4.56 8	4.96 4	4.43 10	4.29 18	3.86 25	3.87 26	3.97 17	4.27 11									
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	4.17 18	4.10 20	4.28 18	4.30 15	4.37 17	4.10 19	4.15 19	3.95 18	4.00 17									
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.16 19	4.21 18	4.46 13	4.03 18	4.13 22	4.07 21	4.12 20	4.17 15	4.08 15									
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	4.10 20	4.12 19	4.27 20	3.93 23	4.15 21	4.25 17	4.07 22	3.95 18	4.04 16									
施策01 戦略的まちづくりの推進	4.03 21	3.93 25	4.41 14	3.74 28	4.12 23	4.12 18	4.21 17	3.77 26	3.60 28									
施策05 多様な主体との連携強化	4.00 22	4.07 21	4.22 23	3.84 25	4.20 20	3.88 23	4.16 18	3.69 28	3.54 29									
施策11 高齢者の活躍促進	4.00 22	4.00 22	4.15 26	4.02 20	4.06 24	3.88 23	4.00 25	3.89 21	3.93 20									
施策02 一体的情報発信の推進	3.98 24	4.00 22	4.26 21	3.89 24	4.01 25	4.10 19	4.09 21	3.69 28	3.47 30									
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	3.95 25	3.73 28	4.17 24	4.03 18	4.01 25	3.92 22	4.07 22	3.82 23	3.85 24									
施策17 全世代交流の促進	3.91 26	3.97 24	4.24 22	4.02 20	4.27 19	3.57 29	3.66 29	3.80 24	3.62 27									
施策10 世界に羽ばたく人材育成	3.88 27	3.92 26	3.87 28	3.78 27	3.90 27	3.82 26	4.02 24	3.70 27	3.88 23									
施策23 令和の都の文化芸術振興	3.79 28	3.55 30	4.00 27	3.62 31	3.83 28	3.73 28	3.84 27	3.87 22	3.89 22									
施策22 ふるさと納税の拡充	3.76 29	3.92 26	3.87 28	3.73 29	3.70 30	3.77 27	3.68 28	3.79 25	3.67 26									
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	3.67 30	3.72 29	3.74 32	3.65 30	3.83 28	3.51 30	3.62 30	3.66 30	3.36 31									
施策20 観光産業の更なる振興	3.49 31	3.33 33	3.77 31	3.58 32	3.61 32	3.41 32	3.54 31	3.21 33	3.69 25									
施策04 新産業振興	3.48 32	3.44 32	3.85 30	3.19 33	3.66 31	3.49 31	3.49 32	3.24 32	3.32 32									
施策31 歳出入一体の行財政改革	3.48 32	3.53 31	3.51 33	3.79 26	3.38 33	3.39 33	3.44 33	3.55 31	3.28 33									
平均	4.23	-	4.23	-	4.38	-	4.19	-	4.32	-	4.19	-	4.26	-	4.10	-	4.07	-

(2) 施策の満足度(33 施策)(問 16)

●「**施策 13 市民の健康づくり**」「**施策 33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上**」「**施策 24 史跡の保存・先進的多用途活用**」「**施策 16 スポーツ・文化・芸術の推進**」などで『満足派』の割合が高い。

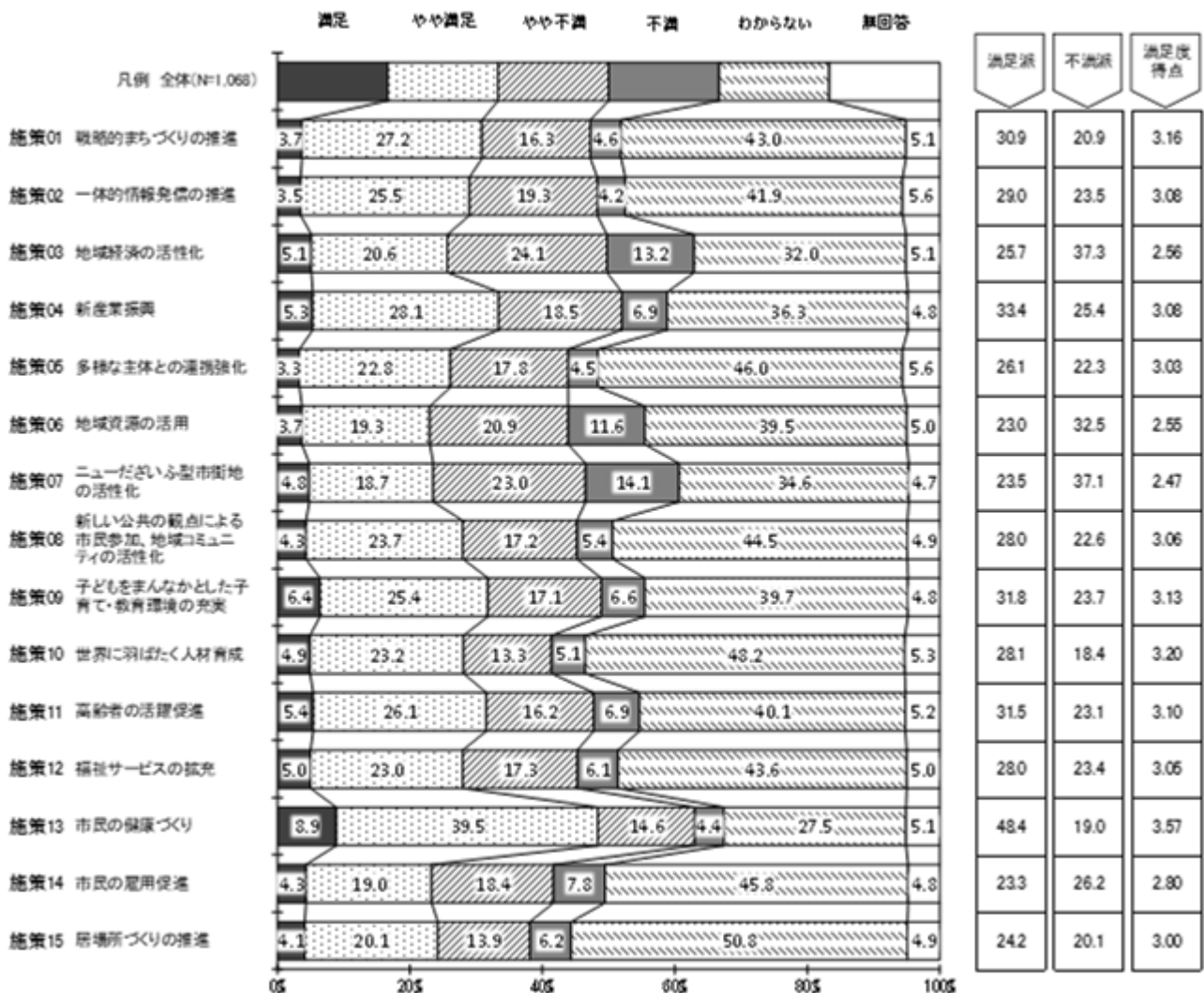
まちづくりビジョンに掲げた 33 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「13 市民の健康づくり」（48.4%）、「33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上」（38.5%）、「24 史跡の保存・先進的多用途活用」（37.6%）、「16 スポーツ・文化・芸術の推進」（35.5%）、「04 新産業振興」（33.4%）などがある。

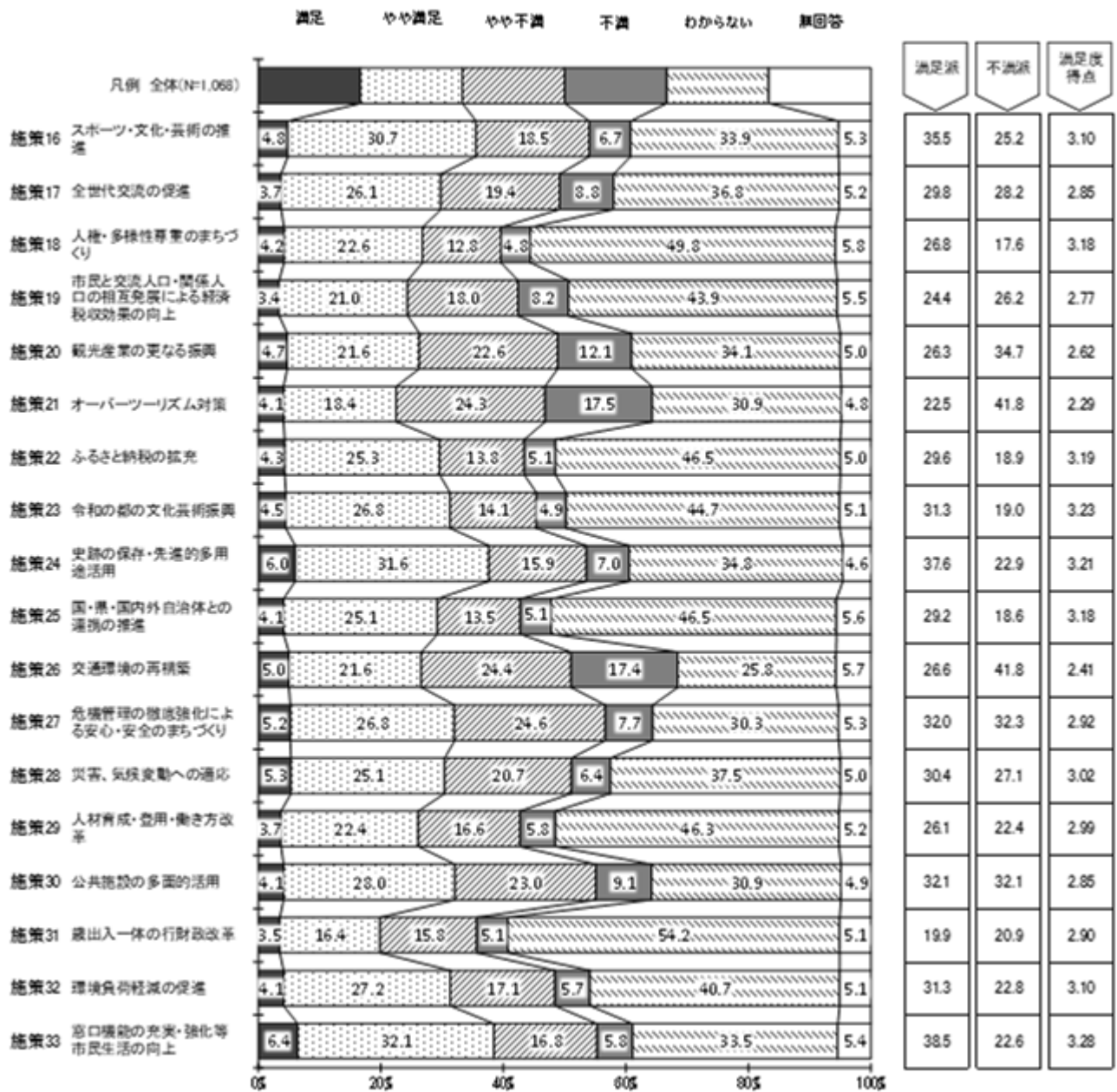
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「31 歳出入一体の行財政改革」（19.9%）や「21 オーバーツーリズム対策」（22.5%）、「06 地域資源の活用」（23.0%）、「14 市民の雇用促進」（23.3%）、「07 ニューだざいふ型市街地の活性化」（23.5%）などがあげられる。

問 16. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる次の1～33の施策についておたずねします。

(B) あなたはこの施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。





■ 満足度の得点化の手順

満足度		→	得点	
1. 満足		→	6点	
2. やや満足		→	4点	
3. やや不満		→	2点	
4. 不満		→	0点	
5. わからない (無回答)		→	欠損値 (得点計算の対象外)	

満足度 得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$
-----------	---	--

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わから ない	満足度 得点	順位
施策13 市民の健康づくり	48.4	19.0	27.5	3.57	1
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	38.5	22.6	33.5	3.28	2
施策23 令和の都の文化芸術振興	31.3	19.0	44.7	3.23	3
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	37.6	22.9	34.8	3.21	4
施策10 世界に羽ばたく人材育成	28.1	18.4	48.2	3.20	5
施策22 ふるさと納税の拡充	29.6	18.9	46.5	3.19	6
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	26.8	17.6	49.8	3.18	7
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	29.2	18.6	46.5	3.18	8
施策01 戦略的まちづくりの推進	30.9	20.9	43.0	3.16	9
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	31.8	23.7	39.7	3.13	10
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	35.5	25.2	33.9	3.10	11
施策11 高齢者の活躍促進	31.5	23.1	40.1	3.10	12
施策32 環境負荷軽減の促進	31.3	22.8	40.7	3.10	13
施策04 新産業振興	33.4	25.4	36.3	3.08	14
施策02 一体的情報発信の推進	29.0	23.5	41.9	3.08	15
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	28.0	22.6	44.5	3.06	16
施策12 福祉サービスの拡充	28.0	23.4	43.6	3.05	17
施策05 多様な主体との連携強化	26.1	22.3	46.0	3.03	18
施策28 災害、気候変動への適応	30.4	27.1	37.5	3.02	19
施策15 居場所づくりの推進	24.2	20.1	50.8	3.00	20
施策29 人材育成・登用・働き方改革	26.1	22.4	46.3	2.99	21
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	32.0	32.3	30.3	2.92	22
施策31 歳出入一体の行財政改革	19.9	20.9	54.2	2.90	23
施策17 全世代交流の促進	29.8	28.2	36.8	2.85	24
施策30 公共施設の多面的活用	32.1	32.1	30.9	2.85	25
施策14 市民の雇用促進	23.3	26.2	45.8	2.80	26
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	24.4	26.2	43.9	2.77	27
施策20 観光産業の更なる振興	26.3	34.7	34.1	2.62	28
施策03 地域経済の活性化	25.7	37.3	32.0	2.56	29
施策06 地域資源の活用	23.0	32.5	39.5	2.55	30
施策07 ニューだざいふ型市街地の活性化	23.5	37.1	34.6	2.47	31
施策26 交通環境の再構築	26.6	41.8	25.8	2.41	32
施策21 オーバーツーリズム対策	22.5	41.8	30.9	2.29	33

満足度
【平均値】
2.97

『満足』 = 「満足」 + 「やや満足」
『不満』 = 「やや不満」 + 「不満」
● 『満足』 『不満』 『わからない』 のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

① 性別

満足度の平均値は2.97となり、その内訳をみると男性が2.94に対し女性は3.01で、女性の方が高くなっている。

女性に対し、男性の方が満足度の高い施策は10項目（施策03、06、09、12、15、16、17、18、27、32）で、23項目は女性の満足度が高くなる。女性の満足度が高い項目のうち「04 新産業振興」（男性2.90、女性3.26）の差が0.36で最も大きい。男性では「17 全世代交流の促進」（男性2.94、女性2.77）の差が0.17で大きくなっている。

② 年齢別

第1位をみると、40歳代以上で「13 市民の健康づくり」となっている。一方、20歳代は「23 令和の都の文化芸術振興」、30歳代は「08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化」が高くなっている。

③ 地域別

第1位をみると、水城西小学校区を除くすべての小学校区で「13 市民の健康づくり」となり、水城西小学校区では「33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上」となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:満足度得点/右列:順位)

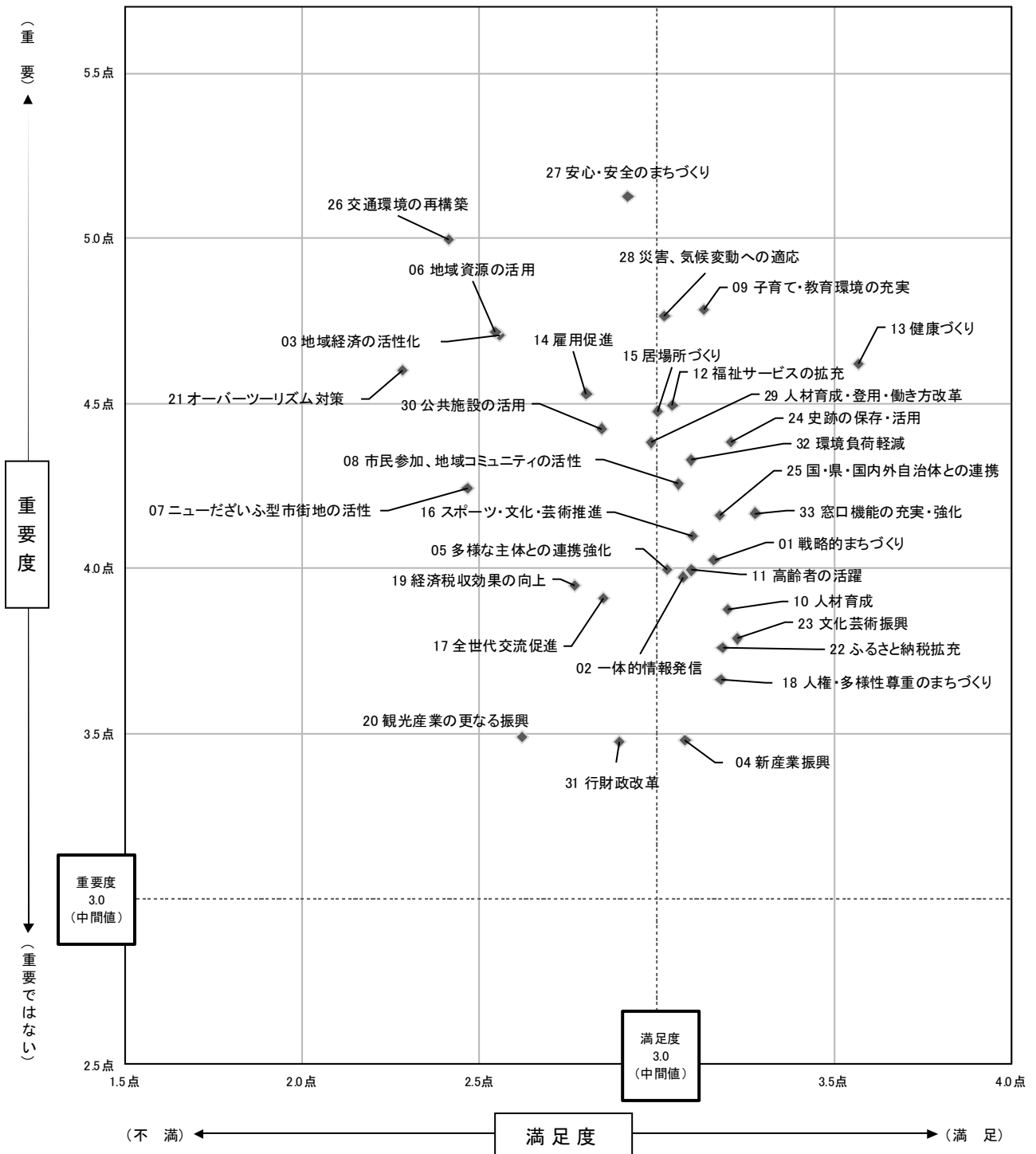
	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上									
施策13 市民の健康づくり	3.57	1	3.54	1	3.61	1	3.78	5	3.45	4	3.69	1	3.60	1	3.49	1	3.51	1
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	3.28	2	3.24	2	3.33	2	3.59	18	3.41	5	3.24	13	3.28	2	3.14	3	3.24	2
施策23 令和の都の文化芸術振興	3.23	3	3.22	3	3.26	6	3.92	1	3.37	8	3.32	9	3.18	4	2.99	8	2.99	9
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	3.21	4	3.17	7	3.25	8	3.77	6	3.41	5	3.34	7	3.25	3	2.97	9	2.97	10
施策10 世界に羽ばたく人材育成	3.20	5	3.13	8	3.28	5	3.58	19	3.46	3	3.40	5	2.98	13	2.96	11	3.09	5
施策22 ふるさと納税の拡充	3.19	6	3.18	5	3.20	10	3.85	2	3.47	2	3.56	2	3.02	9	2.83	18	2.87	14
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	3.18	7	3.20	4	3.17	11	3.70	9	3.05	22	3.45	3	3.16	5	3.09	5	2.89	13
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.18	7	3.07	11	3.32	3	3.73	7	3.31	11	3.34	7	3.12	7	2.74	20	3.17	3
施策01 戦略的まちづくりの推進	3.16	9	3.05	14	3.29	4	3.67	12	3.29	12	3.11	21	3.02	9	3.20	2	3.10	4
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	3.13	10	3.18	5	3.10	13	3.83	3	3.22	17	3.39	6	2.90	18	2.95	13	2.87	14
施策11 高齢者の活躍促進	3.10	11	3.00	18	3.21	9	3.63	15	3.24	14	3.27	12	3.13	6	3.10	4	2.74	23
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	3.10	11	3.11	10	3.10	13	3.79	4	3.38	7	3.29	10	2.99	12	2.81	19	2.92	11
施策32 環境負荷軽減の促進	3.10	11	3.13	8	3.08	15	3.41	25	3.13	18	3.23	14	3.11	8	2.85	16	3.06	6
施策02 一体的情報発信の推進	3.08	14	2.99	19	3.17	11	3.63	15	3.23	15	3.01	26	2.97	14	3.01	7	3.00	7
施策04 新産業振興	3.08	14	2.90	23	3.26	6	3.73	7	3.34	10	3.23	14	3.01	11	2.96	11	2.82	16
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	3.06	16	3.06	12	3.08	15	3.57	20	3.63	1	3.29	10	2.76	22	2.93	14	2.75	21
施策12 福祉サービスの拡充	3.05	17	3.06	12	3.05	17	3.69	10	3.27	13	3.45	3	2.92	15	2.97	9	2.58	25
施策05 多様な主体との連携強化	3.03	18	3.02	15	3.05	17	3.40	26	3.09	20	3.22	16	2.90	18	3.03	6	2.82	16
施策28 災害、気候変動への適応	3.02	19	3.02	15	3.05	17	3.64	14	2.99	25	3.21	18	2.91	16	2.84	17	2.90	12
施策15 居場所づくりの推進	3.00	20	3.02	15	3.00	21	3.12	33	3.35	9	3.16	19	2.91	16	2.89	15	2.76	20
施策29 人材育成・登用・働き方改革	2.99	21	2.96	20	3.03	20	3.68	11	2.89	27	3.13	20	2.89	20	2.64	22	3.00	7
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	2.92	22	2.95	21	2.92	23	3.65	13	3.00	24	3.04	23	2.83	21	2.69	21	2.78	19
施策31 歳出入一体の行財政改革	2.90	23	2.88	24	2.93	22	3.56	21	3.13	18	3.22	16	2.74	25	2.51	25	2.71	24
施策17 全世代交流の促進	2.85	24	2.94	22	2.77	27	3.53	22	2.91	26	3.03	24	2.76	22	2.53	24	2.75	21
施策30 公共施設の多面的活用	2.85	24	2.82	25	2.90	24	3.60	17	3.23	15	2.92	27	2.75	24	2.42	27	2.80	18
施策14 市民の雇用促進	2.80	26	2.71	26	2.90	24	3.49	23	2.79	29	3.06	22	2.73	26	2.64	22	2.50	26
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	2.77	27	2.70	27	2.84	26	3.40	26	3.07	21	3.02	25	2.58	27	2.44	26	2.46	27
施策20 観光産業の更なる振興	2.62	28	2.57	29	2.68	28	3.45	24	2.81	28	2.90	28	2.49	29	2.16	31	2.44	28
施策03 地域経済の活性化	2.56	29	2.60	28	2.52	31	3.35	28	2.64	32	2.71	32	2.53	28	2.34	28	2.31	30
施策06 地域資源の活用	2.55	30	2.57	29	2.53	30	3.16	31	3.02	23	2.80	31	2.34	31	2.34	28	2.32	29
施策07 ニューだざいふ型市街地の活性化	2.47	31	2.38	31	2.57	29	3.33	30	2.79	29	2.84	29	2.22	32	2.23	30	2.16	31
施策26 交通環境の再構築	2.41	32	2.33	32	2.51	32	3.35	28	2.60	33	2.81	30	2.36	30	2.06	32	2.02	33
施策21 オーバーツーリズム対策	2.29	33	2.28	33	2.31	33	3.13	32	2.71	31	2.63	33	1.99	33	1.84	33	2.11	32
平均	2.97	-	2.94	-	3.01	-	3.57	-	3.14	-	3.16	-	2.86	-	2.75	-	2.77	-

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府小学校区	太宰府東小学校区	太宰府南小学校区	水城小学校区	水城西小学校区	太宰府西小学校区	国分小学校区	わからない									
施策13 市民の健康づくり	3.57	1	3.60	1	3.54	1	3.61	1	3.51	1	3.67	2	3.63	1	3.44	1	3.55	1
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	3.28	2	2.97	16	3.38	3	3.11	5	3.35	8	3.80	1	3.14	11	3.33	2	2.86	11
施策23 令和の都の文化芸術振興	3.23	3	3.06	10	3.20	7	3.02	11	3.41	3	3.45	3	3.24	3	3.25	5	3.00	6
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	3.21	4	3.06	10	3.19	8	3.07	6	3.30	10	3.39	6	3.19	7	3.18	6	3.30	3
施策10 世界に羽ばたく人材育成	3.20	5	3.16	5	3.15	9	3.47	2	3.27	13	3.20	15	3.22	5	3.01	15	3.00	6
施策22 ふるさと納税の拡充	3.19	6	3.16	5	3.13	11	2.88	19	3.36	6	3.27	10	3.20	6	3.28	4	2.90	10
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	3.18	7	3.26	2	3.33	4	2.82	22	3.38	5	3.33	7	3.01	22	3.18	6	2.96	9
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.18	7	3.04	12	3.31	5	2.94	16	3.30	10	3.10	18	3.24	3	3.32	3	2.83	14
施策01 戦略的まちづくりの推進	3.16	9	3.08	8	2.95	18	3.00	13	3.34	9	3.45	3	3.34	2	2.90	19	2.86	11
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	3.13	10	2.99	15	2.89	21	3.25	3	3.39	4	3.19	16	3.09	16	3.05	13	3.08	4
施策11 高齢者の活躍促進	3.10	11	3.25	4	2.98	16	3.04	9	3.09	21	3.33	7	3.04	18	3.09	9	2.86	11
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	3.10	11	2.92	18	3.05	12	3.05	8	3.23	14	3.07	20	3.15	9	3.08	11	3.31	2
施策32 環境負荷軽減の促進	3.10	11	2.73	20	3.41	2	3.06	7	3.11	20	3.31	9	3.11	13	3.14	8	2.81	15
施策02 一体的情報発信の推進	3.08	14	3.08	8	3.03	15	2.92	17	3.13	18	3.40	5	3.15	9	2.86	22	2.76	18
施策04 新産業振興	3.08	14	3.10	7	2.95	18	2.77	24	3.43	2	3.22	12	3.11	13	2.85	23	2.71	21
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	3.06	16	3.04	12	2.83	22	2.98	14	3.21	15	3.21	14	3.17	8	2.81	26	3.08	4
施策12 福祉サービスの拡充	3.05	17	3.26	2	2.81	23	3.12	4	3.20	16	3.22	12	2.80	26	3.06	12	2.67	23
施策05 多様な主体との連携強化	3.03	18	3.03	14	3.05	12	2.92	17	3.02	22	3.26	11	3.13	12	2.87	21	2.56	26
施策28 災害、気候変動への適応	3.02	19	2.59	24	3.29	6	3.02	11	3.29	12	3.08	19	3.04	18	2.88	20	2.97	8
施策15 居場所づくりの推進	3.00	20	2.97	16	2.98	16	2.70	25	3.36	6	2.98	25	3.05	17	2.82	25	2.80	16
施策29 人材育成・登用・働き方改革	2.99	21	2.55	25	3.04	14	3.04	9	3.13	18	3.16	17	3.02	20	3.05	13	2.76	18
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	2.92	22	2.67	22	2.95	18	2.97	15	3.16	17	3.00	24	2.91	24	2.84	24	2.76	18
施策31 歳出入一体の行財政改革	2.90	23	2.68	21	3.14	10	2.57	28	2.83	28	3.04	22	3.11	13	3.09	9	2.35	28
施策17 全世代交流の促進	2.85	24	2.67	22	2.70	25	2.65	27	2.93	25	2.87	26	3.02	20	2.98	16	2.80	16
施策30 公共施設の多面的活用	2.85	24	2.43	28	2.69	26	2.88	19	2.93	25	3.07	20	2.96	23	2.95	18	2.71	21
施策14 市民の雇用促進	2.80	26	2.82	19	2.51	29	2.84	21	3.03	23	3.03	23	2.74	27	2.64	31	2.62	24
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	2.77	27	2.46	26	2.75	24	2.82	22	3.01	24	2.72	30	2.67	29	2.96	17	2.62	24
施策20 観光産業の更なる振興	2.62	28	2.34	29	2.57	28	2.66	26	2.84	27	2.50	32	2.70	28	2.79	28	2.40	27
施策03 地域経済の活性化	2.56	29	2.44	27	2.19	30	2.37	31	2.71	31	2.81	27	2.85	25	2.38	33	2.27	31
施策06 地域資源の活用	2.55	30	2.22	30	2.65	27	2.57	28	2.49	33	2.73	29	2.62	30	2.75	29	2.30	29
施策07 ニューだざいふ型市街地の活性化	2.47	31	2.18	31	2.07	32	2.43	30	2.73	30	2.79	28	2.42	31	2.75	29	2.23	33
施策26 交通環境の再構築	2.41	32	2.12	32	2.03	33	2.18	32	2.76	29	2.70	31	2.41	32	2.53	32	2.30	29
施策21 オーバーツーリズム対策	2.29	33	1.83	33	2.12	31	2.10	33	2.55	32	2.24	33	2.26	33	2.80	27	2.27	31
平均	2.97	-	2.81	-	2.90	-	2.87	-	3.12	-	3.11	-	2.99	-	2.97	-	2.77	-

(3)重要度と満足度の相関関係

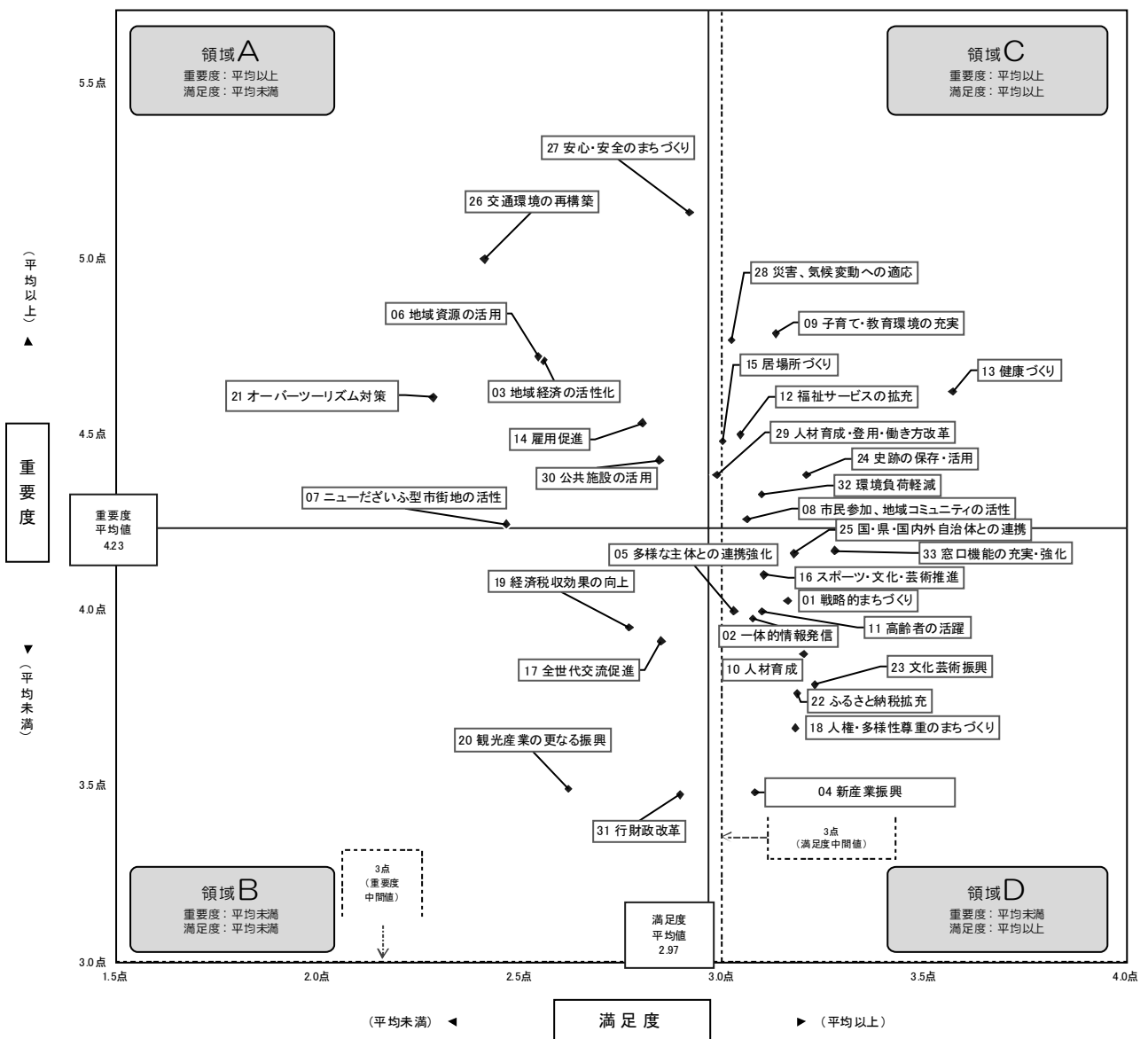
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、20 施策(施策 01、02、04、05、08、09、10、11、12、13、15、16、18、22、23、24、25、28、32、33)となっており、中間値を下回っているのは「03 地域経済の活性化」「06 地域資源の活用」「07 ニューだざいふ型市街地の活性化」「14 市民の雇用促進」「17 全世代交流の促進」「19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上」「20 観光産業の更なる振興」「21 オーバーツーリズム対策」「26 交通環境の再構築」「27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」「29 人材育成・登用・働き方改革」「30 公共施設の多面的活用」「31 歳出入一体の行財政改革」の13 施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「03 地域経済の活性化」「06 地域資源の活用」「07 ニューだざいふ型市街地の活性化」「14 市民の雇用促進」「21 オーバーツーリズム対策」「26 交通環境の再構築」「27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり」「30 公共施設の多面的活用」の8施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度：高 満足度：低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度：低 満足度：低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度：高 満足度：高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度：低 満足度：高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



重要度と満足度による相関領域（重要度×満足度）

	重要度			満足度			重要度 × 満足度
	重要度 得点	全体平均 との差	順位	満足度 得点	全体平均 との差	順位	
施策03 地域経済の活性化	4.71	0.48	6	2.56	▲0.41	29	A
施策06 地域資源の活用	4.72	0.49	5	2.55	▲0.42	30	A
施策07 ニューだざいふ型市街地の活性化	4.24	0.01	17	2.47	▲0.50	31	A
施策14 市民の雇用促進	4.53	0.30	9	2.80	▲0.17	26	A
施策21 オーバーツーリズム対策	4.60	0.37	8	2.29	▲0.68	33	A
施策26 交通環境の再構築	5.00	0.77	2	2.41	▲0.56	32	A
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり	5.13	0.90	1	2.92	▲0.05	22	A
施策30 公共施設の多面的活用	4.42	0.19	12	2.85	▲0.12	24	A
施策17 全世代交流の促進	3.91	▲0.32	26	2.85	▲0.12	24	B
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上	3.95	▲0.28	25	2.77	▲0.20	27	B
施策20 観光産業の更なる振興	3.49	▲0.74	31	2.62	▲0.35	28	B
施策31 歳出入一体の行財政改革	3.48	▲0.75	32	2.90	▲0.07	23	B
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化	4.26	0.03	16	3.06	0.09	16	C
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実	4.78	0.55	3	3.13	0.16	10	C
施策12 福祉サービスの拡充	4.50	0.27	10	3.05	0.08	17	C
施策13 市民の健康づくり	4.62	0.39	7	3.57	0.60	1	C
施策15 居場所づくりの推進	4.48	0.25	11	3.00	0.03	20	C
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用	4.38	0.15	13	3.21	0.24	4	C
施策28 災害、気候変動への適応	4.77	0.54	4	3.02	0.05	19	C
施策29 人材育成・登用・働き方改革	4.38	0.15	13	2.99	0.02	21	C
施策32 環境負荷軽減の促進	4.33	0.10	15	3.10	0.13	11	C
施策01 戦略的まちづくりの推進	4.03	▲0.20	21	3.16	0.19	9	D
施策02 一体的情報発信の推進	3.98	▲0.25	24	3.08	0.11	14	D
施策04 新産業振興	3.48	▲0.75	32	3.08	0.11	14	D
施策05 多様な主体との連携強化	4.00	▲0.23	22	3.03	0.06	18	D
施策10 世界に羽ばたく人材育成	3.88	▲0.35	27	3.20	0.23	5	D
施策11 高齢者の活躍促進	4.00	▲0.23	22	3.10	0.13	11	D
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進	4.10	▲0.13	20	3.10	0.13	11	D
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり	3.67	▲0.56	30	3.18	0.21	7	D
施策22 ふるさと納税の拡充	3.76	▲0.47	29	3.19	0.22	6	D
施策23 令和の都の文化芸術振興	3.79	▲0.44	28	3.23	0.26	3	D
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.16	▲0.07	19	3.18	0.21	7	D
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上	4.17	▲0.06	18	3.28	0.31	2	D
【全体平均】	4.23			2.97			

*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

- A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満
- B：【重要度】【満足度】ともに平均未満
- C：【重要度】【満足度】ともに平均以上
- D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》

33施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

7. 太宰府市自治基本条例の認知度(問 17)

● 太宰府市自治基本条例の認知度については、「知らない」は 72.4%、「聞いた(見た)ことがある」は 19.1%となっている。

太宰府市自治基本条例の認知度について、「知らない」(72.4%)が最も高く、次いで「聞いた(見た)ことがある」(19.1%)、「読んだことがある」(5.6%)の順となっている。

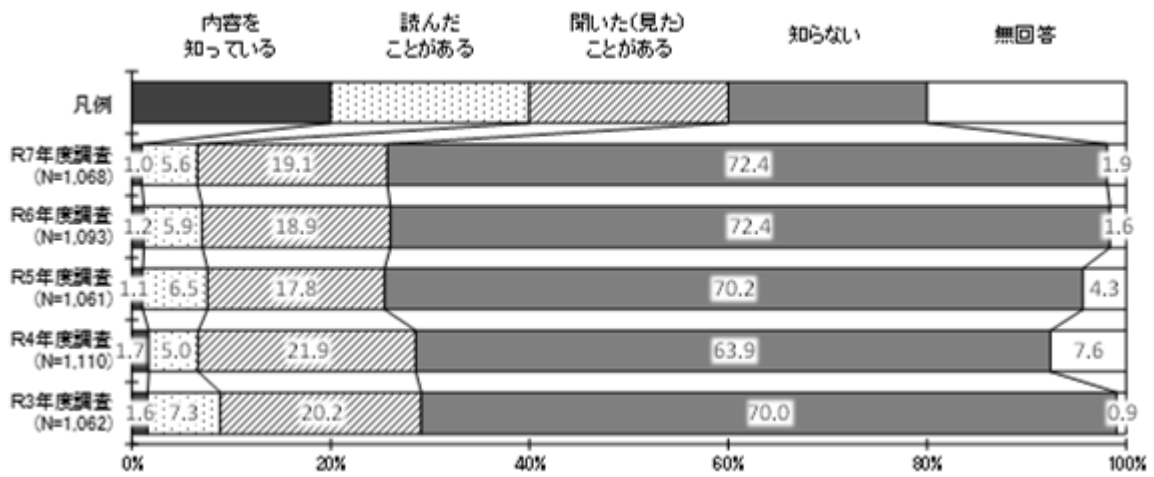
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から「聞いた(見た)ことがある」が0.2ポイント増加している。一方、「内容を知っている」が0.2ポイントと、「読んだことがある」が0.3ポイント減少している。

性別にみると、「知らない」は男性(72.9%)の方が女性(71.6%)より高くなっている。

年代別にみると、「聞いた(見た)ことがある」が最も高いのは50歳代(22.1%)となっている。一方、「知らない」が最も高いのは30歳代(78.1%)となっている。

小学校区別にみると、「知らない」がいずれも高く、最も高いのは水城西小学校区(75.8%)となっている。

問 17. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(〇は1つ)



		標本数	内容を知っている (%)	読んだことがある (%)	聞いた(見た)ことがある (%)	知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,068	1.0	5.6	19.1	72.4	1.9
性別	男性	487	1.4	5.7	18.5	72.9	1.4
	女性	560	0.7	5.7	19.6	71.6	2.3
	無回答	21	-	-	19.0	81.0	-
年代別	20歳代	76	1.3	7.9	19.7	69.7	1.3
	30歳代	128	-	3.9	17.2	78.1	0.8
	40歳代	191	0.5	5.8	18.3	74.9	0.5
	50歳代	208	1.4	5.3	22.1	70.7	0.5
	60歳代	200	1.0	8.5	18.0	69.0	3.5
	70歳代以上	261	1.5	3.4	19.2	72.4	3.4
	無回答	4	-	25.0	-	75.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	1.9	8.2	17.1	71.5	1.3
	太宰府東小学校区	100	4.0	6.0	17.0	71.0	2.0
	太宰府南小学校区	95	1.1	3.2	21.1	72.6	2.1
	水城西小学校区	178	0.6	3.4	20.8	73.6	1.7
	水城西小学校区	124	-	8.1	14.5	75.8	1.6
	太宰府西小学校区	197	0.5	4.6	21.3	70.1	3.6
	国分小学校区	145	0.7	6.9	21.4	69.7	1.4
	わからない	67	-	3.0	16.4	80.6	-
	無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	-

第4節 日頃の暮らし、行動について

1. 子育てのしやすさ(問 18)

●『子育てがしやすい派』は84.0%、『子育てがしにくい派』は16.0%となっている。

子育てのしやすさについて、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計）は84.0%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかといえば子育てがしにくい」の合計）は16.0%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも68.0ポイント高くなっている。

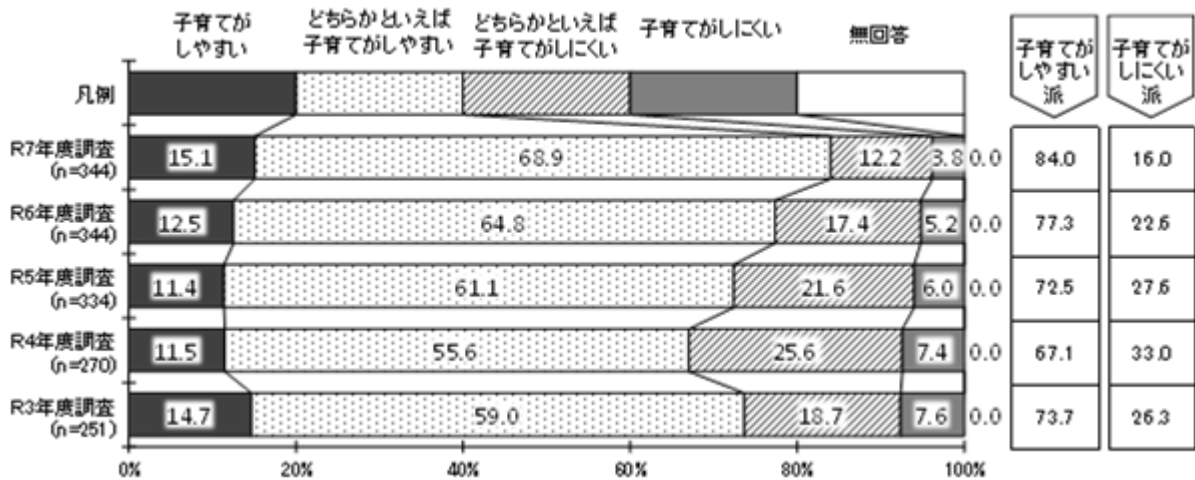
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『子育てがしやすい派』は6.7ポイント増加している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性（86.0%）の方が女性（83.4%）より2.6ポイント高くなっている。

小学校区別にみると、『子育てがしやすい派』が最も高いのは太宰府西小学校区（94.3%）となっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 18. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全体		344	52	237	42	13	-	84.0	16.0
性別	男性	157	15.9	70.1	11.5	2.5	-	86.0	14.0
	女性	181	14.9	68.5	11.6	5.0	-	83.4	16.6
	無回答	6	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	14	28.6	42.9	14.3	14.3	-	71.5	28.6
	30歳代	76	11.8	73.7	10.5	3.9	-	85.5	14.4
	40歳代	122	18.9	65.6	13.1	2.5	-	84.5	15.6
	50歳代	55	20.0	65.5	7.3	7.3	-	85.5	14.6
	60歳代	43	9.3	74.4	14.0	2.3	-	83.7	16.3
	70歳代以上	33	3.0	78.8	18.2	-	-	81.8	18.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	53	13.2	62.3	15.1	9.4	-	75.5	24.5
	太宰府東小学校区	30	16.7	73.3	6.7	3.3	-	90.0	10.0
	太宰府南小学校区	40	20.0	60.0	15.0	5.0	-	80.0	20.0
	水城小学校区	59	18.6	64.4	15.3	1.7	-	83.0	17.0
	水城西小学校区	45	11.1	80.0	8.9	-	-	91.1	8.9
	太宰府西小学校区	53	15.1	79.2	5.7	-	-	94.3	5.7
	国分小学校区	54	14.8	66.7	16.7	1.9	-	81.5	18.6
	わからない	9	-	55.6	11.1	33.3	-	55.6	44.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-

2. 生きがいの実感(問 19)

● **生きがいを感じている『充実派』は72.0%となっている。**

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は72.0%で、7割以上となっている。一方、『不満派』（「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は24.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『充実派』は0.8ポイント、『不満派』は0.5ポイントどちらも減少している。

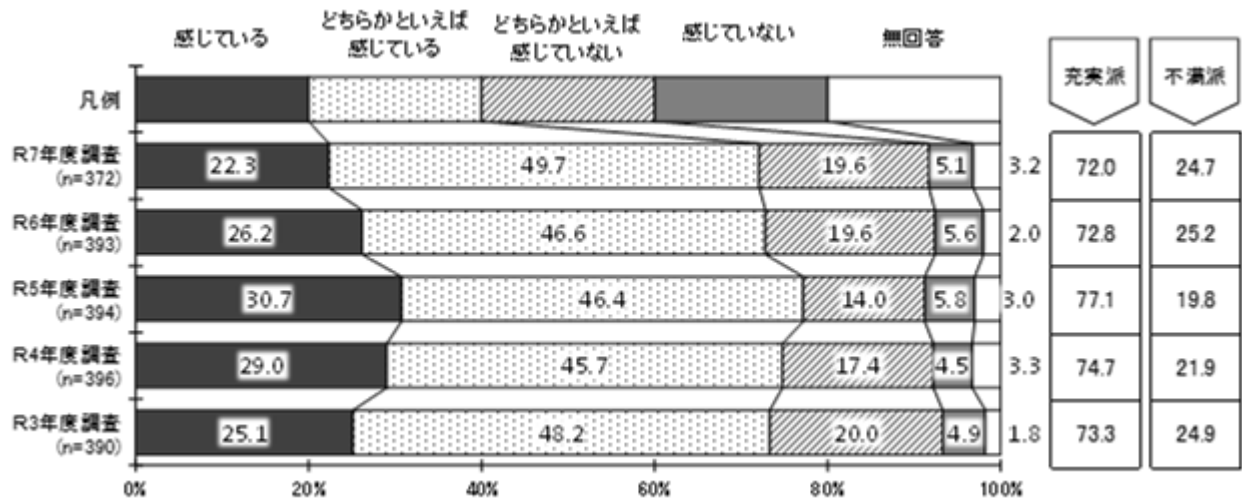
性別にみると、『充実派』は女性（72.1%）の方が男性（71.1%）より1.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は、70歳代以上（70.9%）より60歳代（74.8%）の方が3.9ポイント高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』は水城小学校区（81.5%）が最も高くなっている。

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 19. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(〇は1つ)



(%)

		標本数	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		372	83	185	73	19	12	268	92
性別	男性	187	21.4	49.7	19.8	7.0	2.1	71.1	26.8
	女性	172	23.3	48.8	19.8	3.5	4.7	72.1	23.3
	無回答	13	23.1	61.5	15.4	-	-	84.6	15.4
年代別	60歳代	111	20.7	54.1	17.1	4.5	3.6	74.8	21.6
	70歳以上	261	23.0	47.9	20.7	5.4	3.1	70.9	26.1
小学校区別	太宰府小学校区	56	16.1	53.6	19.6	7.1	3.6	69.7	26.7
	太宰府東小学校区	43	32.6	39.5	23.3	2.3	2.3	72.1	25.6
	太宰府南小学校区	31	12.9	45.2	25.8	9.7	6.5	58.1	35.5
	水城小学校区	54	27.8	53.7	9.3	7.4	1.9	81.5	16.7
	水城西小学校区	31	22.6	51.6	22.6	3.2	-	74.2	25.8
	太宰府西小学校区	89	24.7	44.9	20.2	4.5	5.6	69.6	24.7
	国分小学校区	46	15.2	63.0	19.6	2.2	-	78.2	21.8
	わからない	21	23.8	42.9	23.8	4.8	4.8	66.7	28.6
無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	

3. 高齢者福祉サービスの充実度(問 20)

● 高齢者福祉サービスについて、『充実派』は22.9%、『不足派』は25.4%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は22.9%となっている。一方、『不足派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は25.4%で、『不足派』の方が『充実派』より2.5ポイント高くなっている。

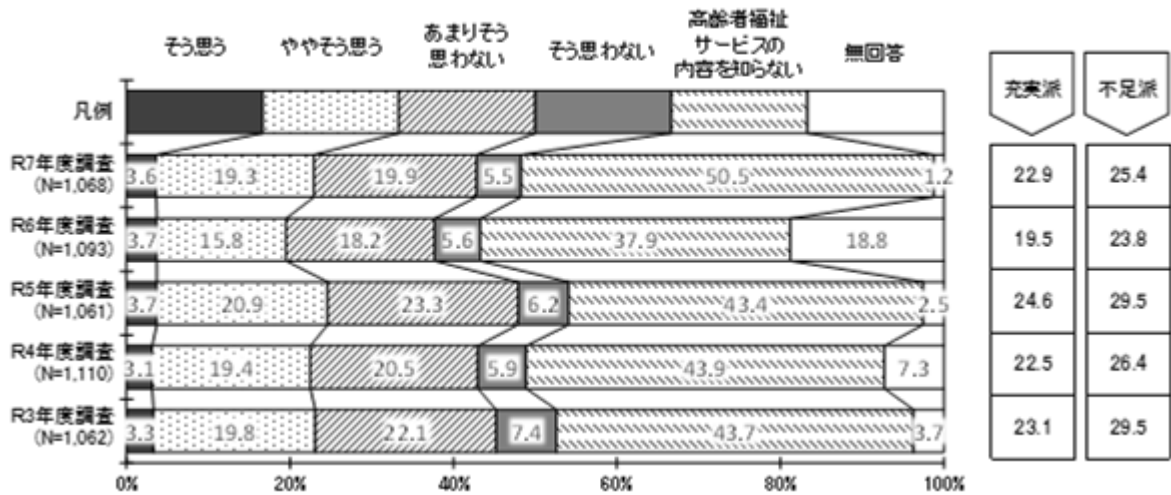
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『充実派』は3.4ポイント、『不満派』は1.6ポイントどちらも増加している。また、「高齢者福祉のサービスの内容を知らない」の50.5%が5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『充実派』は女性（24.4%）の方が男性（21.2%）より3.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、50歳代以上のすべての年代では『不足派』の方が『充実派』よりも高く、60歳代以上は3割以上となっている。

小学校区別にみると、『充実派』は太宰府小学校区（26.0%）が最も高くなっている。一方、『不足派』は国分小学校区と水城西小学校区がともに28.3%と最も高くなっている。

問 20. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	高齢者福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派 (%)	不足派 (%)
全体		1,068	3.6	19.3	19.9	5.5	50.5	1.2	22.9	25.4
性別	男性	487	3.1	18.1	20.5	5.3	52.0	1.0	21.2	25.8
	女性	560	3.9	20.5	19.5	5.5	49.1	1.4	24.4	25.0
	無回答	21	4.8	14.3	19.0	9.5	52.4	-	19.1	28.5
年代別	20歳代	76	7.9	25.0	13.2	-	53.9	-	32.9	13.2
	30歳代	128	3.9	15.6	10.9	3.9	65.6	-	19.5	14.8
	40歳代	191	3.1	20.9	15.2	3.7	56.5	0.5	24.0	18.9
	50歳代	208	1.9	19.7	21.2	5.8	51.0	0.5	21.6	27.0
	60歳代	200	2.5	17.5	25.5	7.0	45.5	2.0	20.0	32.5
	70歳代以上	261	4.6	19.5	24.1	8.0	41.0	2.7	24.1	32.1
	無回答	4	-	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.8	22.2	21.5	1.3	50.0	1.3	26.0	22.8
	太宰府東小学校区	100	2.0	21.0	22.0	6.0	48.0	1.0	23.0	28.0
	太宰府南小学校区	95	3.2	18.9	20.0	7.4	48.4	2.1	22.1	27.4
	水城小学校区	178	5.6	18.5	15.2	6.7	53.4	0.6	24.1	21.9
	水城西小学校区	124	4.8	17.7	20.2	8.1	48.4	0.8	22.5	28.3
	太宰府西小学校区	197	3.6	19.3	20.3	5.1	49.7	2.0	22.9	25.4
	国分小学校区	145	2.1	20.7	21.4	6.9	48.3	0.7	22.8	28.3
	わからない	67	1.5	13.4	20.9	3.0	59.7	1.5	14.9	23.9
	無回答	4	-	-	25.0	-	75.0	-	-	25.0

4. 障がい福祉サービスの充実度(問 21)

● 障がい福祉サービスについて『不足派』は21.6%、『充実派』は19.1%となっている。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は19.1%、『不足派』（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）は21.6%で、『不足派』の方が『充実派』より2.5ポイント高くなっている。

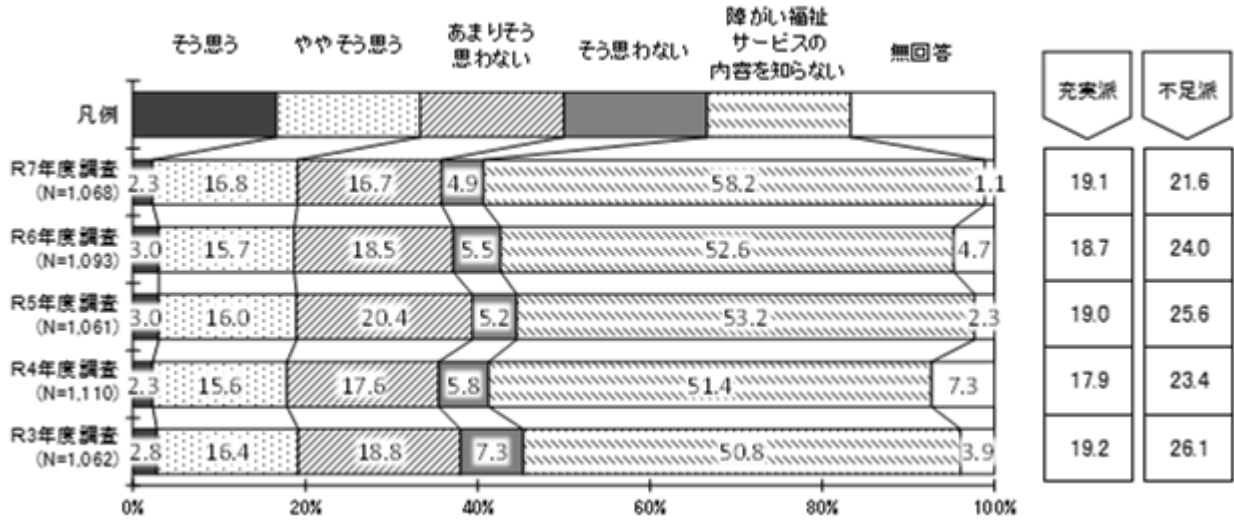
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『充実派』は0.4ポイント増加し『不足派』は2.4ポイント減少している。

性別にみると、『充実派』は女性（19.3%）の方が男性（18.9%）より0.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、『不足派』は40歳代以上のすべての年代で2割以上となっている。なお、最も高いのは70歳代以上（24.9%）となっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高いのは太宰府小学校区（22.2%）となっている。一方、『不足派』が最も高いのは太宰府南小学校区（29.5%）となっている。

問 21. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	障がい福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派 (%)	不足派 (%)
全体		1,068	25	179	178	52	622	12	204	230
性別	男性	487	2.1	16.8	18.5	4.3	57.7	0.6	18.9	22.8
	女性	560	2.3	17.0	15.2	5.4	58.6	1.6	19.3	20.6
	無回答	21	9.5	9.5	14.3	4.8	61.9	-	19.0	19.1
年代別	20歳代	76	6.6	27.6	11.8	2.6	51.3	-	34.2	14.4
	30歳代	128	3.9	16.4	10.9	3.9	64.8	-	20.3	14.8
	40歳代	191	1.0	15.7	17.3	3.7	62.3	-	16.7	21.0
	50歳代	208	1.4	16.8	17.8	4.3	59.1	0.5	18.2	22.1
	60歳代	200	1.5	17.5	18.0	6.0	54.5	2.5	19.0	24.0
	70歳代以上	261	2.7	14.2	18.4	6.5	55.9	2.3	16.9	24.9
	無回答	4	-	-	25.0	-	75.0	-	-	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.8	18.4	17.1	5.1	54.4	1.3	22.2	22.2
	太宰府東小学校区	100	2.0	17.0	20.0	5.0	56.0	-	19.0	25.0
	太宰府南小学校区	95	4.2	10.5	21.1	8.4	53.7	2.1	14.7	29.5
	水城小学校区	178	2.8	17.4	13.5	3.4	62.4	0.6	20.2	16.9
	水城西小学校区	124	0.8	21.0	15.3	4.8	57.3	0.8	21.8	20.1
	太宰府西小学校区	197	1.5	17.8	14.2	5.6	58.4	2.5	19.3	19.8
	国分小学校区	145	1.4	17.2	18.6	3.4	58.6	0.7	18.6	22.0
	わからない	67	3.0	9.0	17.9	4.5	65.7	-	12.0	22.4
	無回答	4	-	-	25.0	-	75.0	-	-	25.0

5. 公共施設の弱者への配慮(問 22)

● 公共施設の配慮について『肯定派』は 41.6%で、『否定派』(30.8%) よりも高い。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 41.6%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 30.8%となっており、『肯定派』の方が『否定派』より 10.8 ポイント高くなっている。

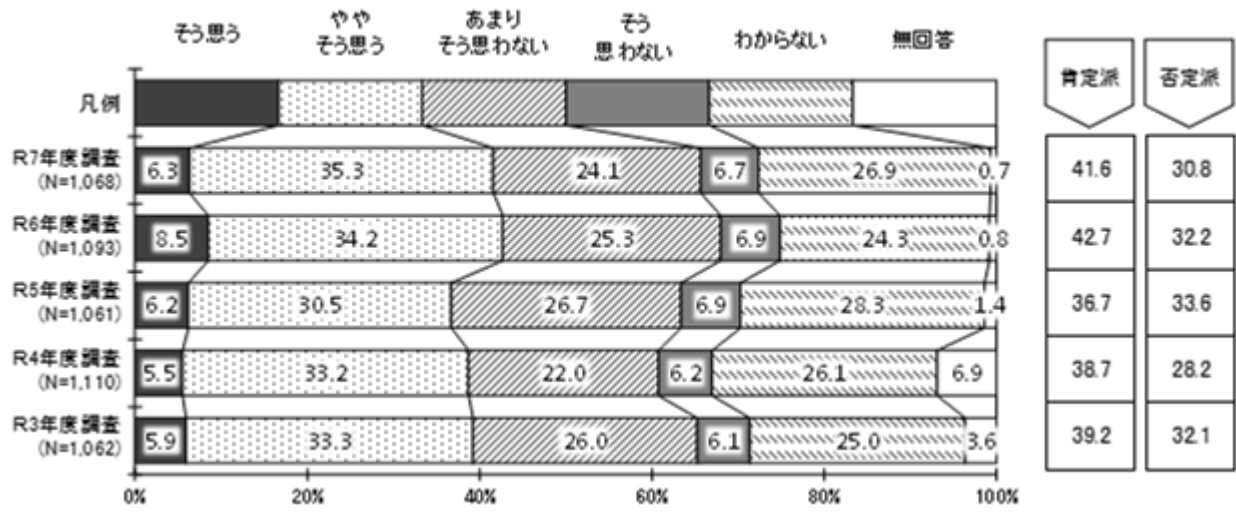
過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査より『肯定派』は 1.1 ポイント、『否定派』は 1.4 ポイントどちらも減少している。

性別にみると、『肯定派』は男性 (44.4%) の方が女性 (39.1%) よりも 5.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は 20 歳代 (57.9%) が最も高くなっており、一方、『否定派』は 70 歳代以上 (36.4%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が『否定派』より高くなっている。

問 22. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	6.3	35.3	24.1	6.7	26.9	0.7	41.6	30.8
性別	男性	487	7.6	36.8	22.8	6.8	24.8	1.2	44.4	29.6
	女性	560	5.0	34.1	25.5	6.4	28.6	0.4	39.1	31.9
	無回答	21	9.5	33.3	14.3	14.3	28.6	-	42.8	28.6
年代別	20歳代	76	14.5	43.4	11.8	5.3	25.0	-	57.9	17.1
	30歳代	128	10.2	36.7	21.1	4.7	27.3	-	46.9	25.8
	40歳代	191	6.3	34.0	23.0	7.9	28.8	-	40.3	30.9
	50歳代	208	4.8	37.5	25.0	5.3	26.9	0.5	42.3	30.3
	60歳代	200	4.5	33.5	24.0	8.5	29.0	0.5	38.0	32.5
	70歳代以上	261	4.6	33.0	29.1	7.3	23.8	2.3	37.6	36.4
	無回答	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	5.1	31.6	21.5	6.3	34.8	0.6	36.7	27.8
	太宰府東小学校区	100	6.0	38.0	30.0	4.0	21.0	1.0	44.0	34.0
	太宰府南小学校区	95	6.3	32.6	27.4	7.4	25.3	1.1	38.9	34.8
	水城小学校区	178	7.3	41.6	22.5	5.6	23.0	-	48.9	28.1
	水城西小学校区	124	4.8	38.7	21.8	10.5	24.2	-	43.5	32.3
	太宰府西小学校区	197	7.6	31.0	25.9	5.6	27.9	2.0	38.6	31.5
	国分小学校区	145	6.9	34.5	24.1	6.2	27.6	0.7	41.4	30.3
	わからない	67	4.5	34.3	19.4	11.9	29.9	-	38.8	31.3
	無回答	4	-	50.0	25.0	-	25.0	-	50.0	25.0

6. 民間施設の弱者への配慮(問 23)

● 民間施設の配慮について『否定派』は 40.2%で、『肯定派』(29.4%) よりも高い。

民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 29.4%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 40.2%で、『否定派』の方が『肯定派』より 10.8 ポイント高くなっている。

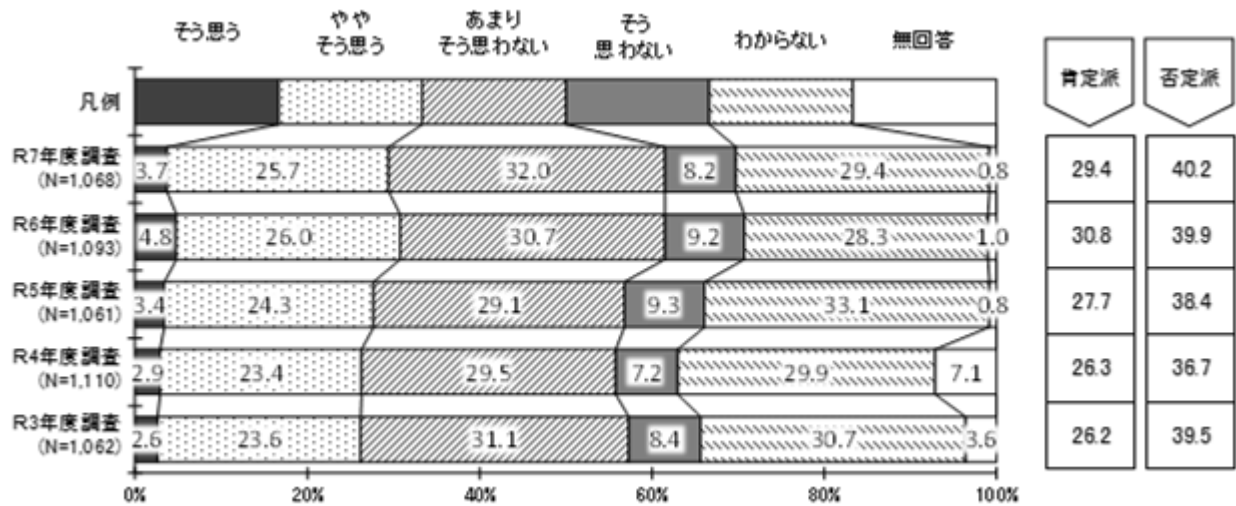
過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査より『肯定派』は 1.4 ポイント減少し、『否定派』は 0.3 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性 (30.6%) の方が女性 (28.6%) より高くなっている。

年代別にみると、20 歳代と 30 歳代では『肯定派』が高く、40 歳代以上では『否定派』の方が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 23. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,068	3.7	25.7	32.0	8.2	29.4	0.8	29.4	40.2
性別	男性	487	4.3	26.3	31.0	8.8	28.3	1.2	30.6	39.8
	女性	560	3.2	25.4	33.2	7.3	30.4	0.5	28.6	40.5
	無回答	21	4.8	23.8	23.8	19.0	28.6	-	28.6	42.8
年代別	20歳代	76	9.2	38.2	19.7	3.9	28.9	-	47.4	23.6
	30歳代	128	7.0	31.3	21.9	6.3	33.6	-	38.3	28.2
	40歳代	191	4.7	26.7	29.3	6.8	32.5	-	31.4	36.1
	50歳代	208	3.4	25.5	36.5	6.3	27.9	0.5	28.9	42.8
	60歳代	200	2.5	24.5	33.0	10.5	29.0	0.5	27.0	43.5
	70歳代以上	261	1.1	20.3	37.9	11.5	26.4	2.7	21.4	49.4
無回答	4	-	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0	
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.2	24.1	25.9	10.1	36.1	0.6	27.3	36.0
	太宰府東小学校区	100	2.0	32.0	37.0	7.0	21.0	1.0	34.0	44.0
	太宰府南小学校区	95	5.3	16.8	40.0	7.4	29.5	1.1	22.1	47.4
	水城小学校区	178	3.4	31.5	31.5	6.2	27.5	-	34.9	37.7
	水城西小学校区	124	3.2	27.4	30.6	9.7	29.0	-	30.6	40.3
	太宰府西小学校区	197	4.6	24.9	31.0	6.1	31.5	2.0	29.5	37.1
	国分小学校区	145	4.8	21.4	35.9	9.0	27.6	1.4	26.2	44.9
	わからない	67	3.0	26.9	25.4	14.9	29.9	-	29.9	40.3
無回答	4	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	50.0	

7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 24)

● 移動手段の確保について『否定派』は59.2%で、『肯定派』(22.8%)よりも高い。

交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は22.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は59.2%で、『否定派』の方が『肯定派』より36.4ポイント高くなっている。

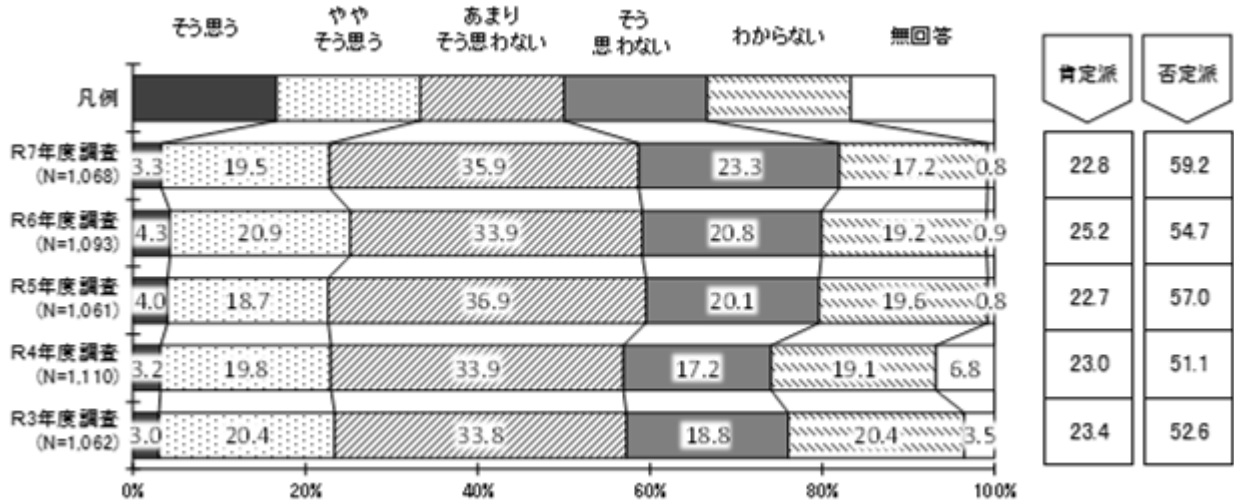
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『肯定派』は2.4ポイント減少し、『否定派』は4.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性(26.5%)の方が女性(19.5%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、40歳代以上で『否定派』が5割以上となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 24. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	3.3	19.5	35.9	23.3	17.2	0.8	22.8	59.2
性別	男性	487	3.7	22.8	32.2	23.4	16.8	1.0	26.5	55.6
	女性	560	2.7	16.8	39.1	23.2	17.5	0.7	19.5	62.3
	無回答	21	9.5	14.3	33.3	23.8	19.0	-	23.8	57.1
年代別	20歳代	76	13.2	39.5	25.0	13.2	9.2	-	52.7	38.2
	30歳代	128	7.0	28.9	27.3	18.0	18.8	-	35.9	45.3
	40歳代	191	1.0	22.0	34.0	19.9	22.5	0.5	23.0	53.9
	50歳代	208	0.5	18.8	38.5	24.0	17.8	0.5	19.3	62.5
	60歳代	200	3.5	14.0	39.0	25.5	17.5	0.5	17.5	64.5
	70歳代以上	261	2.3	12.3	39.8	29.1	14.2	2.3	14.6	68.9
	無回答	4	-	-	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	0.6	24.1	31.0	22.8	20.9	0.6	24.7	53.8
	太宰府東小学校区	100	2.0	12.0	44.0	28.0	13.0	1.0	14.0	72.0
	太宰府南小学校区	95	1.1	13.7	30.5	35.8	17.9	1.1	14.8	66.3
	水城小学校区	178	5.6	23.0	36.5	20.8	14.0	-	28.6	57.3
	水城西小学校区	124	3.2	20.2	35.5	16.9	24.2	-	23.4	52.4
	太宰府西小学校区	197	3.0	20.3	33.5	22.3	18.3	2.5	23.3	55.8
	国分小学校区	145	4.8	21.4	39.3	22.8	11.0	0.7	26.2	62.1
	わからない	67	6.0	11.9	40.3	23.9	17.9	-	17.9	64.2
	無回答	4	-	-	50.0	-	50.0	-	-	50.0

8. 地域福祉の推進状況(問 25)

● 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 59.1%で、『肯定派』(39.4%) よりも高い。

地域福祉の推進状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 39.4% となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 59.1% で、『否定派』の方が『肯定派』より 19.7ポイント高くなっている。

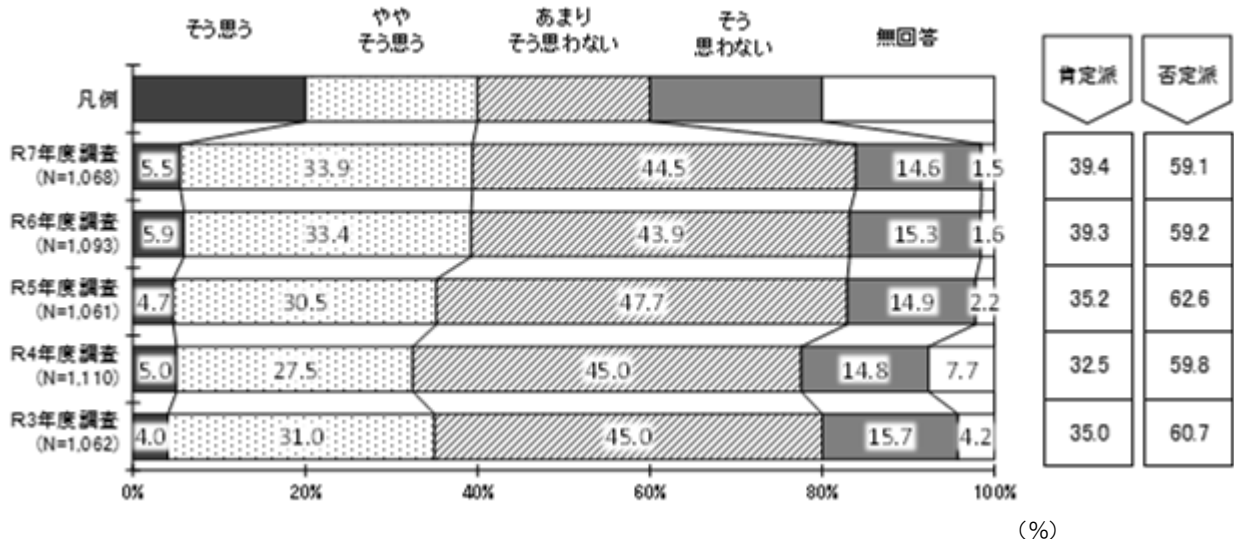
過去の調査結果と比べると、『肯定派』、『否定派』は令和 6 年度調査とほぼ変わらないが、「そう思わない」が 0.7ポイント減少している。

性別にみると、男女とも、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、20 歳代を除くすべての年代で、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっており、40 歳代～60 歳代の『否定派』は 6 割以上となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

問 25. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	5.5	33.9	44.5	14.6	1.5	39.4	59.1
性別	男性	487	5.1	34.9	43.7	14.6	1.6	40.0	58.3
	女性	560	5.4	33.6	45.2	14.6	1.3	39.0	59.8
	無回答	21	19.0	19.0	42.9	14.3	4.8	38.0	57.2
年代別	20歳代	76	13.2	38.2	32.9	15.8	-	51.4	48.7
	30歳代	128	6.3	40.6	35.2	18.0	-	46.9	53.2
	40歳代	191	3.7	35.1	45.0	16.2	-	38.8	61.2
	50歳代	208	2.9	31.7	48.6	15.4	1.4	34.6	64.0
	60歳代	200	5.5	28.0	50.5	13.5	2.5	33.5	64.0
	70歳代以上	261	6.5	34.9	44.4	11.1	3.1	41.4	55.5
	無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	5.7	38.6	37.3	15.8	2.5	44.3	53.1
	太宰府東小学校区	100	3.0	41.0	48.0	7.0	1.0	44.0	55.0
	太宰府南小学校区	95	7.4	32.6	45.3	13.7	1.1	40.0	59.0
	水城小学校区	178	5.1	32.6	48.3	12.9	1.1	37.7	61.2
	水城西小学校区	124	4.0	33.9	44.4	17.7	-	37.9	62.1
	太宰府西小学校区	197	7.6	37.6	35.0	17.3	2.5	45.2	52.3
	国分小学校区	145	6.9	31.7	49.0	11.0	1.4	38.6	60.0
	わからない	67	1.5	11.9	62.7	22.4	1.5	13.4	85.1
	無回答	4	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0

9. 健康状態(問 26)

● ここ数週間の健康状態は『健康』は83.6%、『不調』は15.6%となっている。

ここ数週間の健康状態について、『健康』（「健康である」と「健康な方である」の合計）は83.6%で、8割以上となっている。一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は15.6%となっている。

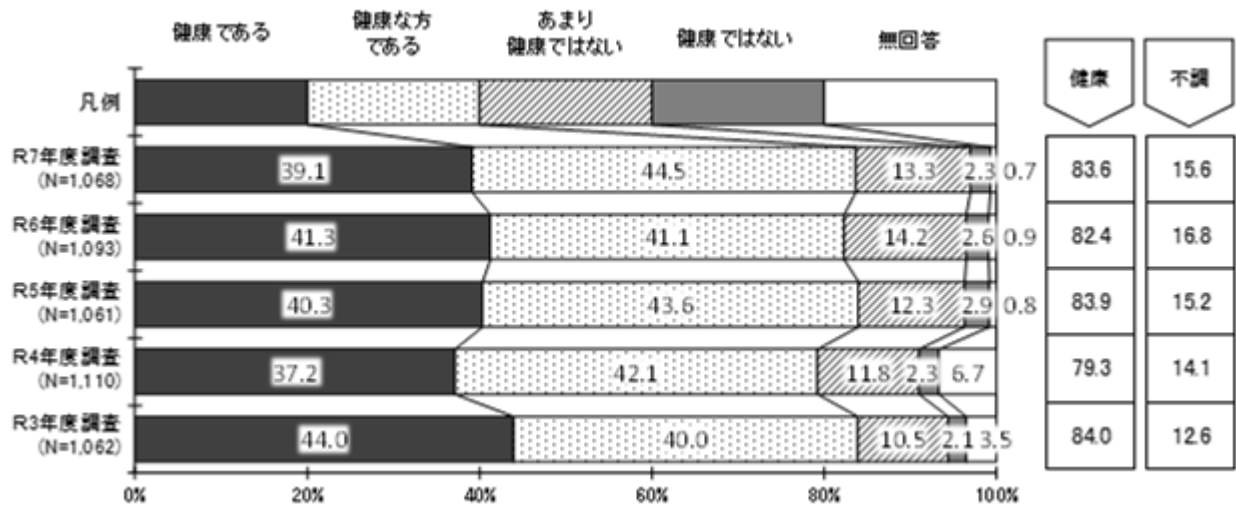
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『健康』は1.2ポイント増加し、『不調』は1.2ポイント減少している。

性別にみると、『健康』は男性（84.6%）の方が女性（82.9%）より1.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、『不調』は70歳代以上（21.8%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『健康』はすべての小学校区で8割を超えており、最も高いのは国分小学校区（89.6%）となっている。

問 26. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康	不調
全体		1,068	418	475	142	25	8	893	167
		100.0	39.1	44.5	13.3	2.3	0.7	83.6	15.6
性別	男性	487	41.7	42.9	11.3	3.1	1.0	84.6	14.4
	女性	560	37.0	45.9	14.8	1.8	0.5	82.9	16.6
	無回答	21	38.1	42.9	19.0	-	-	81.0	19.0
年代別	20歳代	76	52.6	34.2	10.5	2.6	-	86.8	13.1
	30歳代	128	35.2	53.9	7.8	3.1	-	89.1	10.9
	40歳代	191	48.7	38.7	12.0	-	0.5	87.4	12.0
	50歳代	208	41.8	43.8	11.5	2.4	0.5	85.6	13.9
	60歳代	200	40.0	44.0	14.0	1.5	0.5	84.0	15.5
	70歳代以上	261	27.6	48.7	17.6	4.2	1.9	76.3	21.8
	無回答	4	25.0	-	75.0	-	-	25.0	75.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	39.2	43.0	15.2	1.9	0.6	82.2	17.1
	太宰府東小学校区	100	47.0	40.0	8.0	4.0	1.0	87.0	12.0
	太宰府南小学校区	95	34.7	46.3	13.7	4.2	1.1	81.0	17.9
	水城小学校区	178	37.1	43.8	16.9	2.2	-	80.9	19.1
	水城西小学校区	124	41.9	45.2	11.3	1.6	-	87.1	12.9
	太宰府西小学校区	197	42.6	40.6	13.2	1.0	2.5	83.2	14.2
	国分小学校区	145	39.3	50.3	9.0	1.4	-	89.6	10.4
	わからない	67	23.9	52.2	17.9	6.0	-	76.1	23.9
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	50.0

10. 健康増進の取り組み状況(問 27)

● 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」と答えた人は6割以上となっている。

健康増進の取り組み状況について、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は 62.1%、「ない」と答えた割合は 37.3%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査より『取り組んでいる派』は 1.6 ポイント増加し、『取り組んでいない派』は 1.3 ポイント減少している。

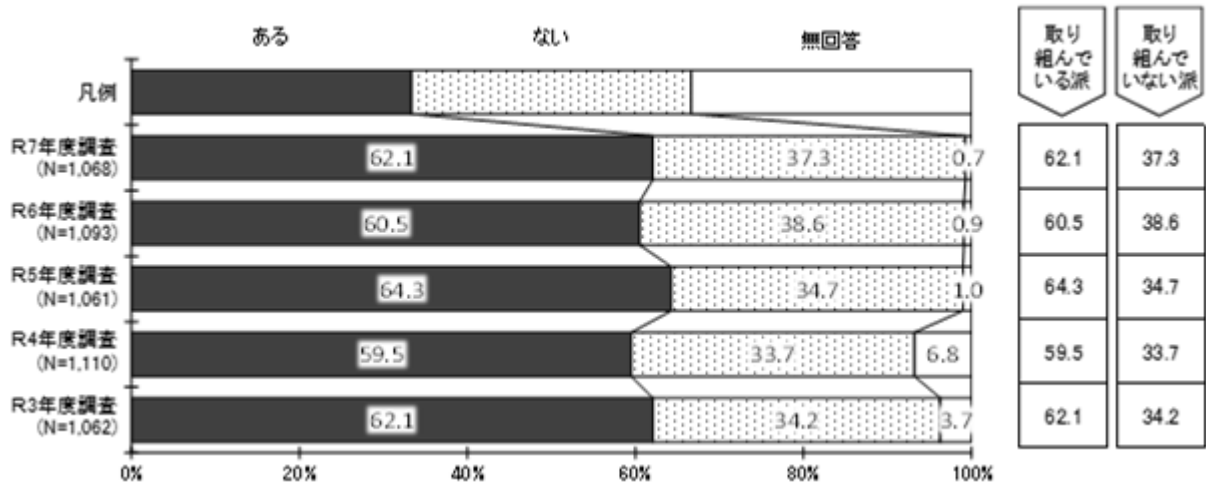
性別にみると、『取り組んでいる派』は女性 (62.7%) の方が男性 (61.2%) より 1.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、30 歳代を除くすべての年代で、『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』の割合より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』より高くなっている。

健康状態別にみると、健康ではない方は『取り組んでいない派』の割合が高くなっている。

問 27. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		1,068	62.1	37.3	0.7
性別	男性	487	61.2	37.8	1.0
	女性	560	62.7	37.0	0.4
	無回答	21	66.7	33.3	-
年代別	20歳代	76	55.3	44.7	-
	30歳代	128	46.1	53.9	-
	40歳代	191	55.5	44.5	-
	50歳代	208	61.1	38.5	0.5
	60歳代	200	66.0	33.5	0.5
	70歳代以上	261	74.7	23.4	1.9
	無回答	4	50.0	50.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	61.4	38.0	0.6
	太宰府東小学校区	100	70.0	29.0	1.0
	太宰府南小学校区	95	61.1	37.9	1.1
	水城小学校区	178	61.2	38.8	-
	水城西小学校区	124	65.3	34.7	-
	太宰府西小学校区	197	62.4	35.5	2.0
	国分小学校区	145	62.1	37.9	-
	わからない	67	49.3	50.7	-
	無回答	4	50.0	50.0	-
健康状態別	とても健康である	418	69.9	30.1	-
	健康な方である	475	60.6	39.4	-
	あまり健康でない	142	51.4	48.6	-
	健康ではない	25	36.0	64.0	-
無回答	8	12.5	-	87.5	

11. 健康診査の受診状況(問 28)

● この一年間の健康診査の受診率は73.5%となっている。

健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が73.5%、「受けなかった」は25.8%となっている。

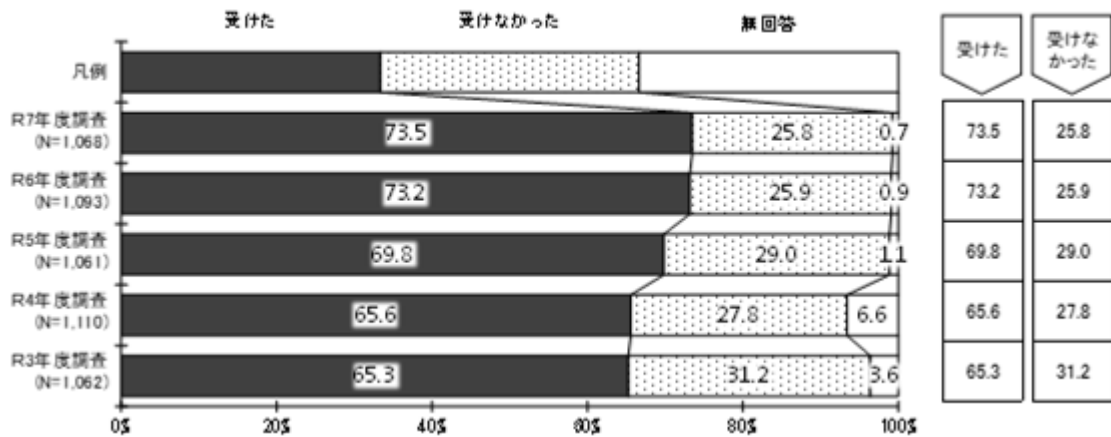
過去の調査結果をみると、令和6年度調査より「受けた」が0.3ポイント増加し、「受けなかった」が0.1ポイント減少している。また、「受けた」は5か年の調査で最も高くなっている。

性別・年代別にみると、多くの性別・年代別で「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。一方、女性：20歳代では「受けなかった」(51.1%)の方が「受けた」(48.9%)より高くなっている。また、女性(72.5%)に比べて男性(74.9%)の受診率が高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「受けた」が高く、太宰府南小学校区の83.2%が最も高くなっている。一方、水城西小学校区は68.5%と最も低くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康な人ほど「受けた」の割合が7割以上と高くなっており、健康状態と受診率の関連性がみられる。

問 28. あなたはこの一年間に、「健康診査」(がん検診、人間ドックを含む)を受けましたか。(○は1つ)



		標本数	受けた (%)	か受けたな (%)	無回答 (%)
全体		1,068	73.5	25.8	0.7
性別	男性	487	74.9	24.2	0.8
	女性	560	72.5	27.0	0.5
	無回答	21	66.7	33.3	-
性別・年代別	男性:20歳代	29	55.2	44.8	-
	男性:30歳代	55	67.3	32.7	-
	男性:40歳代	86	80.2	19.8	-
	男性:50歳代	96	80.2	18.8	1.0
	男性:60歳代	91	75.8	23.1	1.1
	男性:70歳代以上	129	74.4	24.0	1.6
	女性:20歳代	47	48.9	51.1	-
	女性:30歳代	72	66.7	33.3	-
	女性:40歳代	102	75.5	23.5	1.0
	女性:50歳代	112	75.0	25.0	-
	女性:60歳代	105	78.1	21.9	-
	女性:70歳代以上	121	75.2	23.1	1.7
	無回答	23	69.6	30.4	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	74.1	25.3	0.6
	太宰府東小学校区	100	75.0	24.0	1.0
	太宰府南小学校区	95	83.2	16.8	-
	水城西小学校区	178	73.0	27.0	-
	水城西小学校区	124	68.5	30.6	0.8
	太宰府西小学校区	197	74.6	23.4	2.0
	国分小学校区	145	73.8	26.2	-
	わからない	67	61.2	38.8	-
	無回答	4	100.0	-	-
健康状態別	とても健康である	418	78.9	21.1	-
	健康な方である	475	72.6	27.2	0.2
	あまり健康でない	142	66.2	33.8	-
	健康ではない	25	60.0	40.0	-
無回答	8	12.5	12.5	75.0	

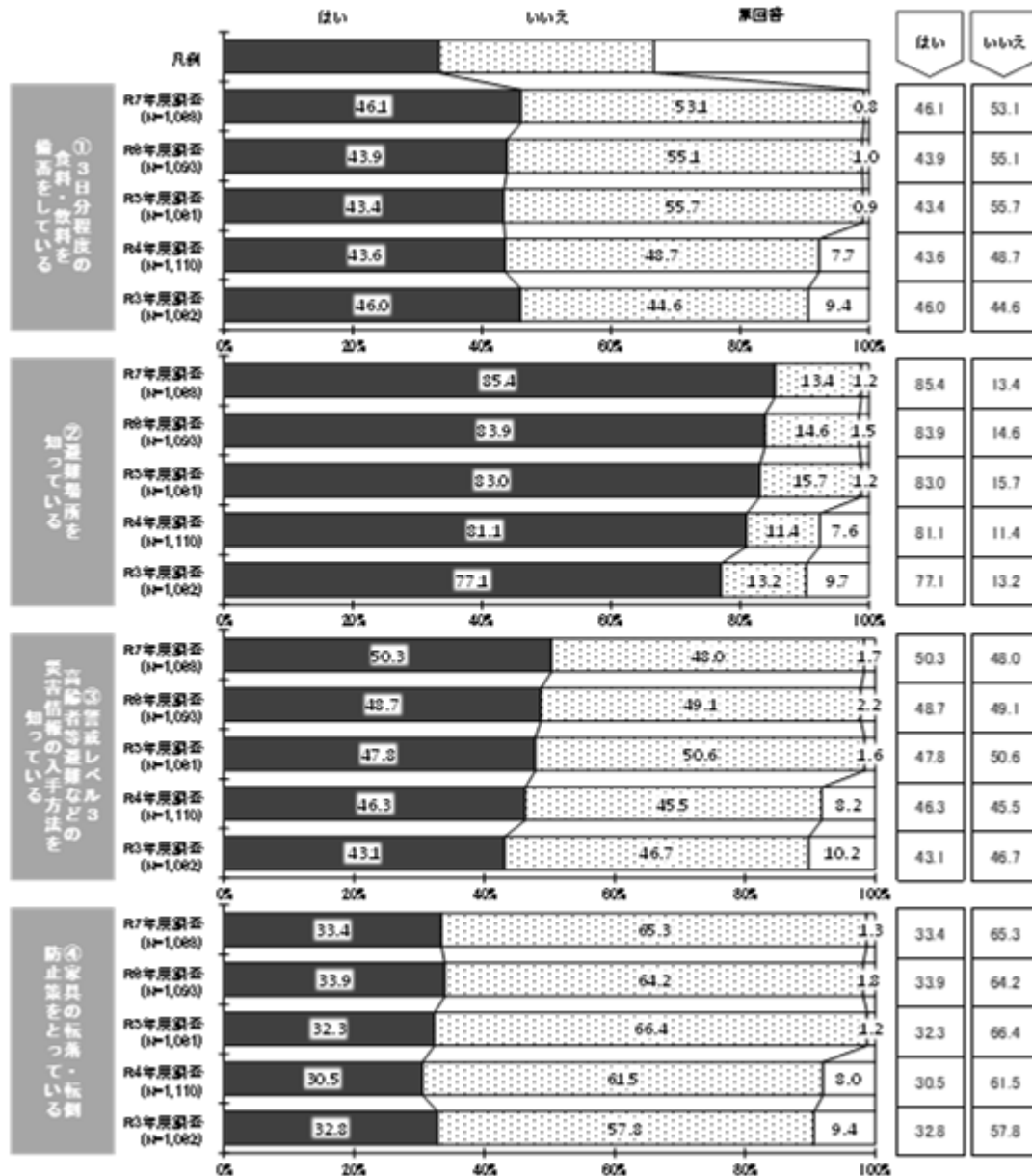
12. 災害に対する日頃の備え(問 29)

● 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「③災害情報源の認知」、「①食料の備蓄」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（85.4%）が最も高く、次いで「③災害情報源の認知」（50.3%）、「①食料の備蓄」（46.1%）、「④家具の転倒防止策」（33.4%）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」と回答した人）より高いのは、「①食料の備蓄」（53.1%）と「④家具の転倒防止策」（65.3%）の2項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「①食料の備蓄」（2.2ポイント増）「②避難場所を知っている」（1.5ポイント増）、「③災害情報源の認知」（1.6ポイント増）の3項目で令和6年度調査から増加している。

問 29. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（〇はそれぞれ1つつ）



性別にみると、実施率は、すべての項目で女性の方が男性より高くなっている。
 年代別にみると、実施率は、すべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高く、8割を超えている。
 小学校区別にみると、「②避難場所を知っている」の実施率が最も低いのは水城小学校区(82.6%)となっている。

(%)

	標本数	①3日分程度の食料・飲料を備蓄をしている			②避難場所を知っている			③警戒レベル3 高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている			④家具の転落・転倒防止策をとっている		
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全体	1,068 100.0	492 46.1	567 53.1	9 0.8	912 85.4	143 13.4	13 1.2	537 50.3	513 48.0	18 1.7	357 33.4	697 65.3	14 1.3
性別													
男性	487	43.1	55.6	1.2	81.7	16.6	1.6	48.0	50.3	1.6	30.6	67.6	1.8
女性	560	48.4	51.1	0.5	88.6	10.7	0.7	52.5	45.9	1.6	35.4	63.8	0.9
無回答	21	52.4	47.6	-	85.7	9.5	4.8	42.9	52.4	4.8	47.6	52.4	-
年代別													
20歳代	76	38.2	61.8	-	86.8	13.2	-	51.3	48.7	-	31.6	68.4	-
30歳代	128	46.9	52.3	0.8	82.8	17.2	-	51.6	47.7	0.8	31.3	68.0	0.8
40歳代	191	38.7	61.3	-	86.4	13.1	0.5	57.1	42.9	-	30.4	69.6	-
50歳代	208	49.0	50.5	0.5	84.6	13.9	1.4	48.1	50.5	1.4	36.1	61.5	2.4
60歳代	200	47.5	51.5	1.0	86.5	12.0	1.5	56.5	42.0	1.5	37.5	62.0	0.5
70歳代以上	261	49.8	48.3	1.9	85.1	12.6	2.3	41.4	54.4	4.2	31.4	65.9	2.7
無回答	4	50.0	50.0	-	100.0	-	-	50.0	50.0	-	75.0	25.0	-
小学校区別													
太宰府小学校区	158	42.4	57.0	0.6	84.2	13.9	1.9	44.9	53.2	1.9	29.1	69.0	1.9
太宰府東小学校区	100	43.0	56.0	1.0	90.0	8.0	2.0	54.0	44.0	2.0	37.0	62.0	1.0
太宰府南小学校区	95	50.5	49.5	-	90.5	8.4	1.1	45.3	53.7	1.1	35.8	63.2	1.1
水城小学校区	178	47.8	51.7	0.6	82.6	16.9	0.6	52.8	46.1	1.1	28.7	71.3	-
水城西小学校区	124	41.1	58.9	-	88.7	11.3	-	62.9	37.1	-	32.3	67.7	-
太宰府西小学校区	197	50.3	46.7	3.0	87.8	9.6	2.5	45.7	50.3	4.1	34.0	61.9	4.1
国分小学校区	145	49.7	50.3	-	86.2	13.8	-	55.2	44.1	0.7	42.8	57.2	-
わからない	67	35.8	64.2	-	65.7	32.8	1.5	35.8	62.7	1.5	25.4	73.1	1.5
無回答	4	75.0	25.0	-	100.0	-	-	75.0	25.0	-	75.0	25.0	-

13. 防犯面の安心度(問 30)

● 防犯面について『安心派』は65.5%、『不安派』は33.9%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は65.5%となっている。一方、『不安派』（「不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は33.9%で、『安心派』の方が『不安派』よりも31.6ポイント高くなっている。

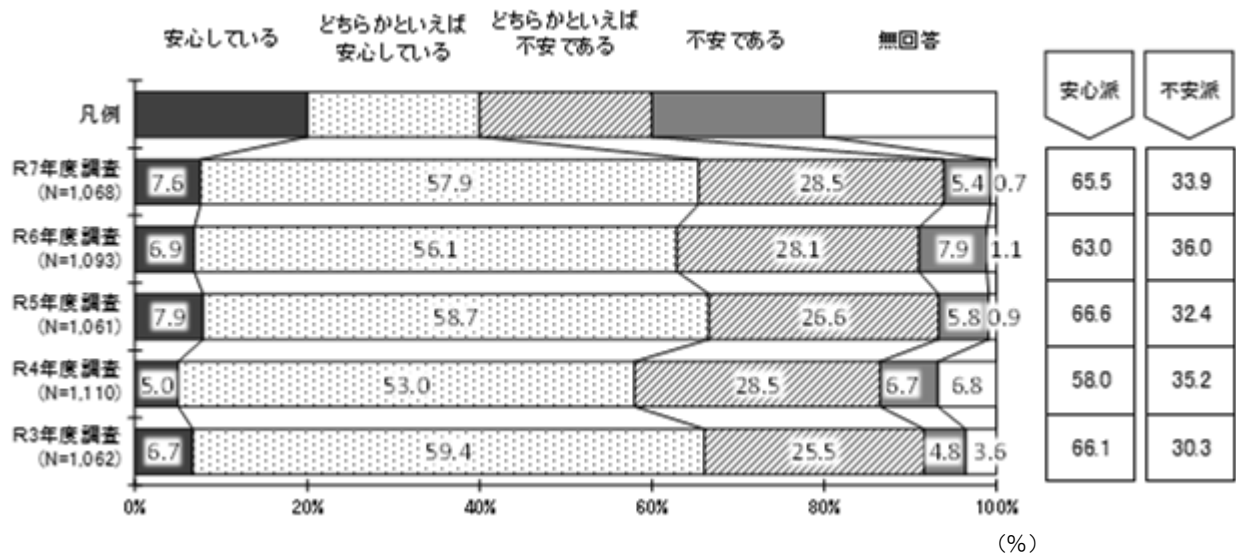
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『安心派』は2.5ポイント増加し、『不安派』は2.1ポイント減少している。

性別にみると、男性（69.4%）の方が女性（62.2%）よりも『安心派』の割合が7.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、『安心派』はすべての年代で『不安派』よりも高く、20歳代が75.0%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が最も高いのは水城西小学校区（70.2%）となっている。

問 30. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。(〇は1つ)



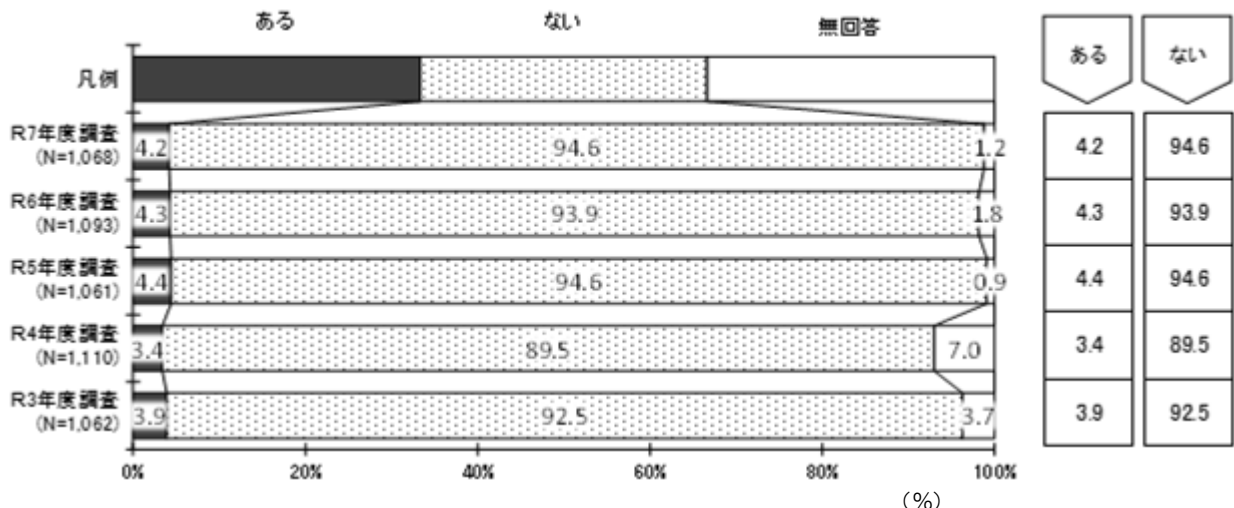
		標本数	安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である	無回答	安心派 (%)	不安派 (%)
全体		1,068	81	618	304	58	7	699	362
		100.0	7.6	57.9	28.5	5.4	0.7	65.5	33.9
性別	男性	487	9.9	59.5	23.4	6.0	1.2	69.4	29.4
	女性	560	5.4	56.8	32.5	5.2	0.2	62.2	37.7
	無回答	21	14.3	47.6	38.1	-	-	61.9	38.1
年代別	20歳代	76	13.2	61.8	19.7	5.3	-	75.0	25.0
	30歳代	128	7.8	45.3	35.9	10.2	0.8	53.1	46.1
	40歳代	191	10.5	56.5	27.7	5.2	-	67.0	32.9
	50歳代	208	3.8	63.0	28.8	3.8	0.5	66.8	32.6
	60歳代	200	9.0	57.0	28.0	5.5	0.5	66.0	33.5
	70歳代以上	261	5.7	60.2	28.0	4.6	1.5	65.9	32.6
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	7.6	52.5	31.6	7.6	0.6	60.1	39.2
	太宰府東小学校区	100	5.0	58.0	35.0	1.0	1.0	63.0	36.0
	太宰府南小学校区	95	5.3	61.1	29.5	4.2	-	66.4	33.7
	水城小学校区	178	9.6	56.2	28.7	5.6	-	65.8	34.3
	水城西小学校区	124	8.1	62.1	22.6	7.3	-	70.2	29.9
	太宰府西小学校区	197	9.6	59.4	24.4	4.6	2.0	69.0	29.0
	国分小学校区	145	7.6	58.6	29.7	3.4	0.7	66.2	33.1
	わからない	67	3.0	56.7	29.9	10.4	-	59.7	40.3
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0

14. 人権侵害の経験の有無(問 31)

● 人権を侵害されたことが「ある」は 4.2%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が 94.6%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は 4.2%となっている。過去の調査結果と比べると、「ある」と答えた人は令和5年度調査から減少が続いている。性別にみると、女性(5.4%)の方が男性(2.9%)よりも「ある」が高くなっている。年代別にみると、20歳代(6.6%)において「ある」が最も高くなっている。小学校区別にみると、「ある」が最も高いのは太宰府小学校区(7.6%)となっている。

問 31. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある	ない	無回答
全体		1,068	45	1,010	13
			4.2	94.6	1.2
性別	男性	487	2.9	96.1	1.0
	女性	560	5.4	93.2	1.4
	無回答	21	4.8	95.2	-
年代別	20歳代	76	6.6	92.1	1.3
	30歳代	128	3.9	95.3	0.8
	40歳代	191	6.3	93.7	-
	50歳代	208	4.3	93.8	1.9
	60歳代	200	5.0	94.5	0.5
	70歳代以上	261	1.5	96.2	2.3
	無回答	4	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	7.6	91.8	0.6
	太宰府東小学校区	100	3.0	94.0	3.0
	太宰府南小学校区	95	3.2	94.7	2.1
	水城小学校区	178	3.9	96.1	-
	水城西小学校区	124	4.0	96.0	-
	太宰府西小学校区	197	3.6	92.9	3.6
	国分小学校区	145	2.8	97.2	-
	わからない	67	6.0	94.0	-
	無回答	4	-	100.0	-

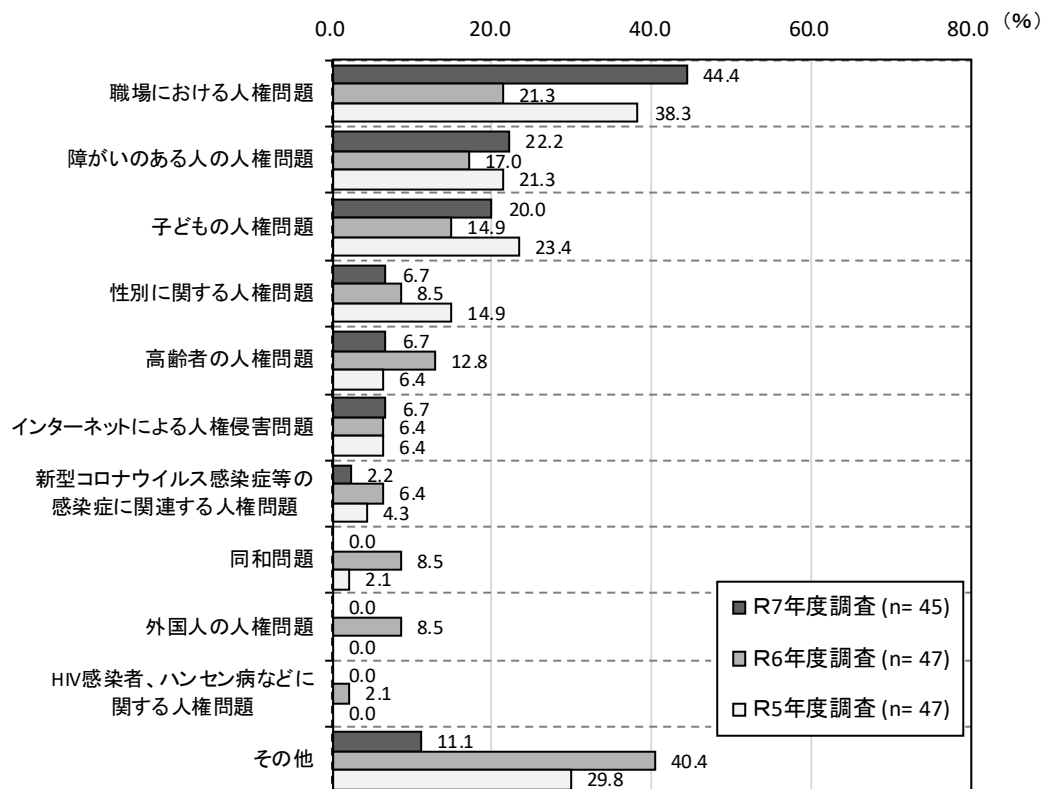
15. 人権侵害の経験の内容(問 32)

● 人権侵害の経験の内容は「職場における人権問題」(44.4%) が最も高い。

人権侵害の経験の内容について、「職場における人権問題」(44.4%) が最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」(22.2%)、「子どもの人権問題」(20.0%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度の調査から「職場における人権問題」が 23.1 ポイント増加、「障がいのある人の人権問題」が 5.2 ポイント増加、「子どもの人権問題」が 5.1 ポイント増加しており、いずれも、3か年の調査における割合が最も高くなっている。

問 32. 【人権を侵害されたことがあると答えた方におたずねします。】それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男女ともに「職場における人権問題」（男性 35.7%、女性 50.0%）が最も高くなっている。続いて、男性は「障がいのある人の人権問題」（28.6%）、「子どもの人権問題」と「インターネットによる人権侵害問題」（同率 14.3%）となっている。一方、女性は「子どもの人権問題」（23.3%）、「障がいのある人の人権問題」（20.0%）の順になっている。

年代別にみると、30歳代と50歳代、60歳代において「職場における人権問題」が高く、特に30歳代の割合は8割以上と最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区において「障がいのある人の人権問題」が100%と特に高くなっている。

(%)

		標本数	職場における人権問題	障がいのある人の人権問題	子どもの人権問題	性別に関する人権問題	高齢者の人権問題	インターネットによる人権侵害問題	新型コロナウイルス感染症等の人権問題	同和問題	外国人の人権問題	人権問題	センシティブな問題に関する人権問題	その他
全体		45	20	10	9	3	3	3	1	-	-	-	-	5
		-	44.4	22.2	20.0	6.7	6.7	6.7	2.2	-	-	-	-	11.1
性別	男性	14	35.7	28.6	14.3	7.1	-	14.3	-	-	-	-	-	7.1
	女性	30	50.0	20.0	23.3	6.7	10.0	-	3.3	-	-	-	-	13.3
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	5	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0
	30歳代	5	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
	40歳代	12	25.0	16.7	58.3	-	8.3	8.3	-	-	-	-	-	-
	50歳代	9	66.7	22.2	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1
	60歳代	10	50.0	40.0	10.0	10.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	70歳代以上	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	12	75.0	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	-	-	-	-	-	8.3
	太宰府東小学校区	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水城小学校区	7	42.9	-	28.6	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	水城西小学校区	5	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
	太宰府西小学校区	7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	14.3
	国分小学校区	4	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0
	わからない	4	75.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

16. 市内での人権の尊重(問 33)

● 人権が『尊重されている派』は82.5%、『尊重されていない派』は13.5%となっている。

市内での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は82.5%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は13.5%で、『尊重されている派』が8割以上と高くなっている。

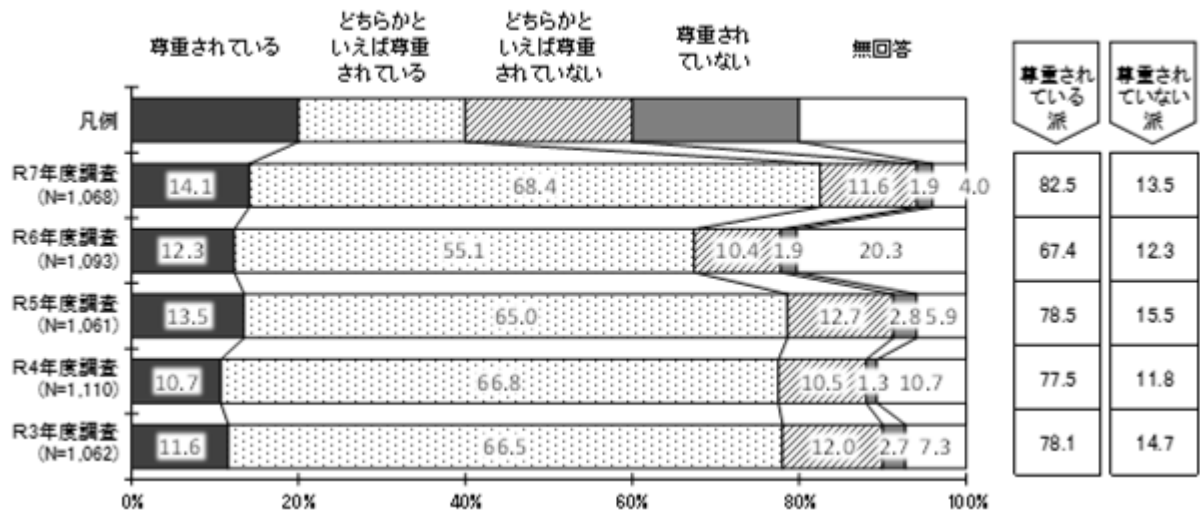
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『尊重されている派』は15.1ポイント増、『尊重されていない派』は1.2ポイント増と、どちらも増加している。

性別にみると、『尊重されている派』は女性（81.2%）よりも男性（84.3%）の方が3.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、70歳代以上を除くすべての年代で『尊重されている派』が8割を超えており、特に20歳代（93.4%）は他の年代に比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、水城小学校区（85.9%）となっている。一方、最も低いのは太宰府小学校区（77.3%）となっている。

問 33. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。
(○は1つ)



	標本数	割合 (%)					派 (%)	
		尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派	尊重されていない派
全体	1,068	15.1	73.0	12.4	2.0	4.3	88.1	14.4
性別								
男性	487	17.2	67.1	9.9	2.5	3.3	84.3	12.4
女性	560	11.4	69.8	13.0	1.4	4.3	81.2	14.4
無回答	21	14.3	57.1	14.3	-	14.3	71.4	14.3
年代別								
20歳代	76	32.9	60.5	6.6	-	-	93.4	6.6
30歳代	128	23.4	65.6	6.3	3.9	0.8	89.0	10.2
40歳代	191	16.8	70.2	11.5	1.0	0.5	87.0	12.5
50歳代	208	11.5	72.6	9.6	2.4	3.8	84.1	12.0
60歳代	200	6.0	77.5	10.5	1.5	4.5	83.5	12.0
70歳代以上	261	10.7	60.2	18.4	1.9	8.8	70.9	20.3
無回答	4	-	75.0	-	-	25.0	75.0	-
小学校区別								
太宰府小学校区	158	14.6	62.7	14.6	0.6	7.6	77.3	15.2
太宰府東小学校区	100	12.0	70.0	14.0	1.0	3.0	82.0	15.0
太宰府南小学校区	95	14.7	70.5	10.5	2.1	2.1	85.2	12.6
水城小学校区	178	14.6	71.3	10.7	2.2	1.1	85.9	12.9
水城西小学校区	124	12.9	71.8	10.5	2.4	2.4	84.7	12.9
太宰府西小学校区	197	15.2	67.5	9.6	2.5	5.1	82.7	12.1
国分小学校区	145	14.5	69.0	11.7	-	4.8	83.5	11.7
わからない	67	13.4	61.2	13.4	6.0	6.0	74.6	19.4
無回答	4	-	100.0	-	-	-	100.0	-

17. 固定的な役割分担に対する考え方(問 34)

● 固定的な役割分担に『非同感派』(79.1%)の方が、『同感派』(20.0%)よりも高い。

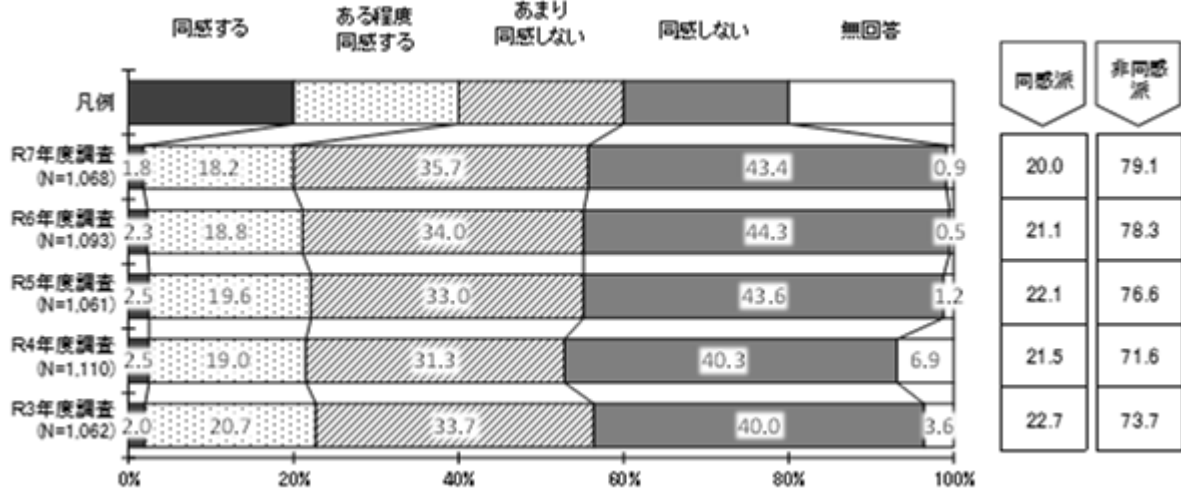
固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は20.0%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は79.1%で、『非同感派』の方が『同感派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『同感派』は1.1ポイント減少し、『非同感派』は0.8ポイント増加している。

性別・年代別にみると、『非同感派』は男女：50歳代を除くすべての年代において女性の方が男性より高くなっている。

小学校区別にみると、『非同感派』が最も高いのは、太宰府南小学校区(84.2%)となっている。

問 34. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派 (%)	非同感派 (%)
全体		1,068	19	194	381	464	10	213	845
			1.8	18.2	35.7	43.4	0.9	20.0	79.1
性別	男性	487	2.9	20.3	34.7	41.5	0.6	23.2	76.2
	女性	560	0.7	15.9	36.3	45.9	1.3	16.6	82.2
	無回答	21	4.8	28.6	42.9	23.8	-	33.4	66.7
性別・年代別	男性：20歳代	29	3.4	13.8	24.1	58.6	-	17.2	82.7
	男性：30歳代	55	1.8	20.0	30.9	47.3	-	21.8	78.2
	男性：40歳代	86	2.3	19.8	39.5	38.4	-	22.1	77.9
	男性：50歳代	96	2.1	18.8	31.3	47.9	-	20.9	79.2
	男性：60歳代	91	2.2	17.6	29.7	50.5	-	19.8	80.2
	男性：70歳以上	129	4.7	25.6	41.9	25.6	2.3	30.3	67.5
	女性：20歳代	47	2.1	12.8	29.8	55.3	-	14.9	85.1
	女性：30歳代	72	-	18.1	36.1	45.8	-	18.1	81.9
	女性：40歳代	102	1.0	16.7	36.3	44.1	2.0	17.7	80.4
	女性：50歳代	112	1.8	17.9	35.7	42.9	1.8	19.7	78.6
	女性：60歳代	105	-	10.5	40.0	47.6	1.9	10.5	87.6
	女性：70歳以上	121	-	18.2	36.4	44.6	0.8	18.2	81.0
	無回答	23	4.3	26.1	39.1	30.4	-	30.4	69.5
小学校区別	太宰府小学校区	158	1.9	20.9	31.0	44.9	1.3	22.8	75.9
	太宰府東小学校区	100	2.0	21.0	40.0	37.0	-	23.0	77.0
	太宰府南小学校区	95	2.1	12.6	45.3	38.9	1.1	14.7	84.2
	水城小学校区	178	3.4	18.0	32.0	46.6	-	21.4	78.6
	水城西小学校区	124	1.6	18.5	33.9	45.2	0.8	20.1	79.1
	太宰府西小学校区	197	1.0	17.3	37.1	43.1	1.5	18.3	80.2
	国分小学校区	145	0.7	19.3	37.2	42.1	0.7	20.0	79.3
	わからない	67	1.5	14.9	31.3	49.3	3.0	16.4	80.6
無回答	4	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0	

18. DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 35)

● DVを『受けた』は7.5%、『受けたことはない』は87.7%となっている。

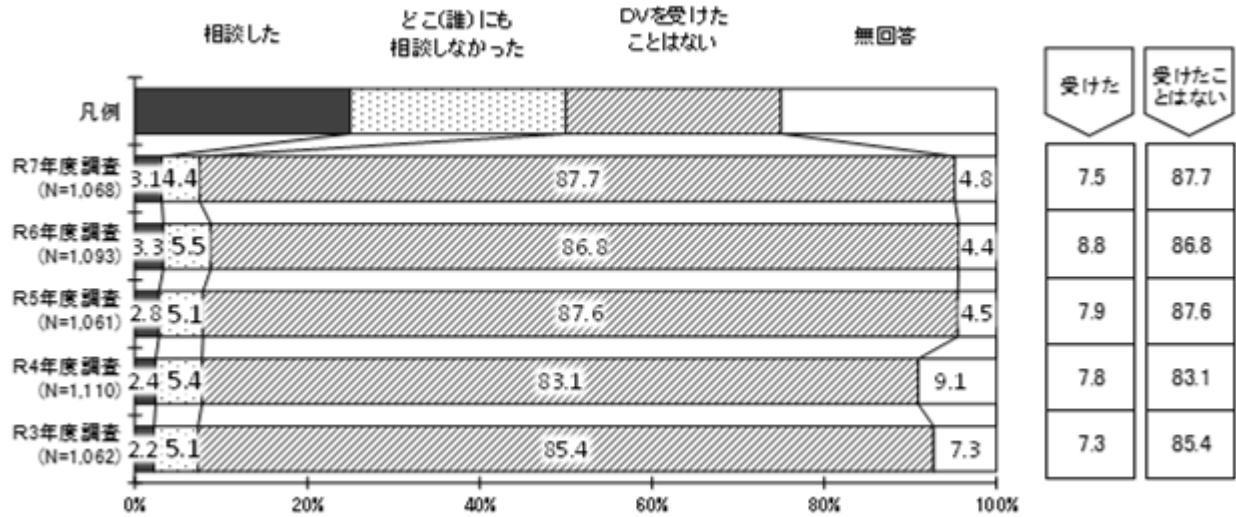
DVを受けた経験がある場合の相談経験について、「DVを受けたことはない」と答えた人が87.7%と8割以上を占めている。なお、DVを「相談した」と答えた人(3.1%)と「どこ(誰)にも相談しなかった」(4.4%)を合わせたDVを『受けた』経験がある人は7.5%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より「相談した」は0.2ポイント減少、「どこ(誰)にも相談しなかった」は1.1ポイント減少している。

性別・年代別にみると、すべての性別・年代でDVを『受けた』経験があると回答している。また、『受けた』経験がある男性のうち、40歳代以上は「どこ(誰)にも相談しなかった」と回答している。

小学校区別にみると、すべての小学校区でDVを『受けた』経験があると回答している。

問 35. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)



		標本数	相談した	なにも相談しなかった	どこ(誰)にも相談しなかった	DVを受けたことはない	無回答	受けた	受けたことはない
全体		1,068	3.1	4.4	87.7	5.1	80	937	
			3.1	4.4	87.7	4.8	7.5	87.7	
性別・年代別	男性：20歳代	29	3.4	-	93.1	3.4	3.4	93.1	
	男性：30歳代	55	1.8	1.8	92.7	3.6	3.6	92.7	
	男性：40歳代	86	-	2.3	95.3	2.3	2.3	95.3	
	男性：50歳代	96	-	5.2	91.7	3.1	5.2	91.7	
	男性：60歳代	91	-	2.2	93.4	4.4	2.2	93.4	
	男性：70歳以上	129	-	4.7	86.0	9.3	4.7	86.0	
	女性：20歳代	47	6.4	2.1	85.1	6.4	8.5	85.1	
	女性：30歳代	72	1.4	4.2	94.4	-	5.6	94.4	
	女性：40歳代	102	3.9	6.9	88.2	1.0	10.8	88.2	
	女性：50歳代	112	8.0	5.4	80.4	6.3	13.4	80.4	
	女性：60歳代	105	6.7	4.8	82.9	5.7	11.5	82.9	
	女性：70歳以上	121	5.0	6.6	82.6	5.8	11.6	82.6	
無回答		23	4.3	4.3	78.3	13.0	8.6	78.3	
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.2	3.8	91.1	1.9	7.0	91.1	
	太宰府東小学校区	100	1.0	3.0	93.0	3.0	4.0	93.0	
	太宰府南小学校区	95	2.1	3.2	84.2	10.5	5.3	84.2	
	水城小学校区	178	4.5	5.1	84.8	5.6	9.6	84.8	
	水城西小学校区	124	2.4	6.5	87.9	3.2	8.9	87.9	
	太宰府西小学校区	197	3.0	4.6	88.8	3.6	7.6	88.8	
	国分小学校区	145	2.1	3.4	88.3	6.2	5.5	88.3	
	わからない	67	7.5	6.0	80.6	6.0	13.5	80.6	
	無回答	4	-	-	75.0	25.0	-	75.0	

19. 生涯学習活動の取り組み状況(問 36)

● 生涯学習の『週1回以上の実施率』は31.0%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は31.0%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は39.4%となっている。

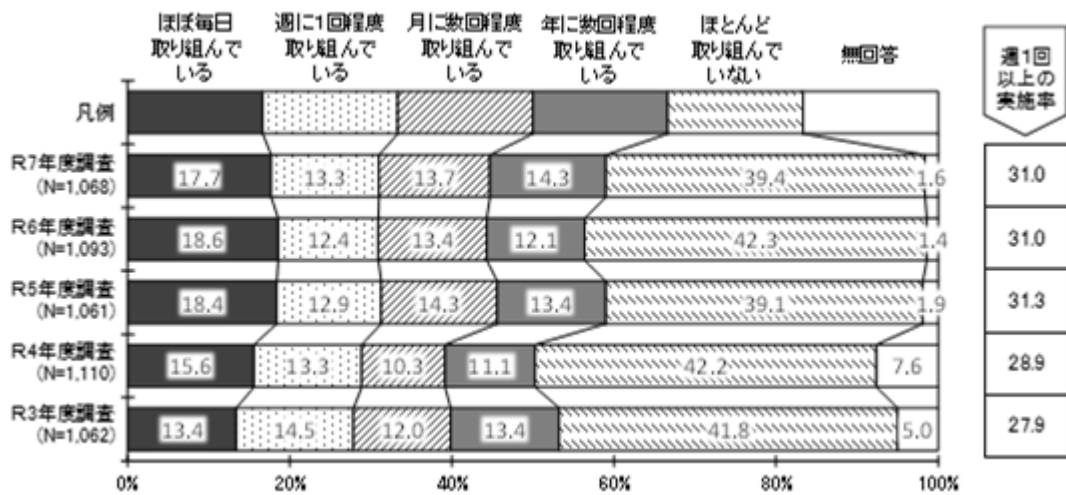
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は令和6年度調査と同率の31.0%となっているが、「ほぼ毎日取り組んでいる」は0.9ポイント低下している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、女性（31.6%）の方が男性（30.4%）より1.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（50.0%）が最も高く、次いで60歳代（34.0%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（42.0%）となっている。

問 36. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	組 ほ ん ぼ で 毎 日 る 取 り	る 取 週 り に 組 1 回 で 程 い 度	る 取 月 り に 組 数 回 で 程 い 度	る 取 年 り に 組 数 回 で 程 い 度	組 ほ ん と で い ど な 取 り	無 回 答	実 週 施 1 率 回 以 上 の
全 体		1,068	189	142	146	153	421	17	331
		100.0	17.7	13.3	13.7	14.3	39.4	1.6	31.0
性 別	男 性	487	17.9	12.5	13.8	16.0	38.4	1.4	30.4
	女 性	560	17.7	13.9	13.8	12.7	40.4	1.6	31.6
	無回答	21	14.3	14.3	9.5	19.0	38.1	4.8	28.6
年 代 別	20歳代	76	34.2	15.8	10.5	13.2	25.0	1.3	50.0
	30歳代	128	11.7	13.3	18.0	18.8	38.3	-	25.0
	40歳代	191	10.5	18.3	13.1	16.2	41.9	-	28.8
	50歳代	208	15.9	12.0	11.1	17.8	41.8	1.4	27.9
	60歳代	200	21.5	12.5	16.0	11.0	38.5	0.5	34.0
	70歳代以上	261	19.9	10.7	13.4	10.7	40.6	4.6	30.6
	無回答	4	-	-	-	25.0	75.0	-	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	20.9	9.5	12.7	13.9	41.8	1.3	30.4
	太宰府東小学校区	100	29.0	13.0	9.0	11.0	36.0	2.0	42.0
	太宰府南小学校区	95	17.9	12.6	17.9	13.7	36.8	1.1	30.5
	水城小学校区	178	15.7	15.7	15.7	13.5	38.8	0.6	31.4
	水城西小学校区	124	16.9	16.1	16.1	12.1	37.1	1.6	33.0
	太宰府西小学校区	197	14.7	14.2	12.7	10.7	45.2	2.5	28.9
	国分小学校区	145	15.9	15.2	9.7	24.8	33.1	1.4	31.1
	わからない	67	13.4	6.0	19.4	14.9	44.8	1.5	19.4
	無回答	4	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-

20. 運動・スポーツの取り組み頻度(問 37)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は47.0%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は47.0%となっている。

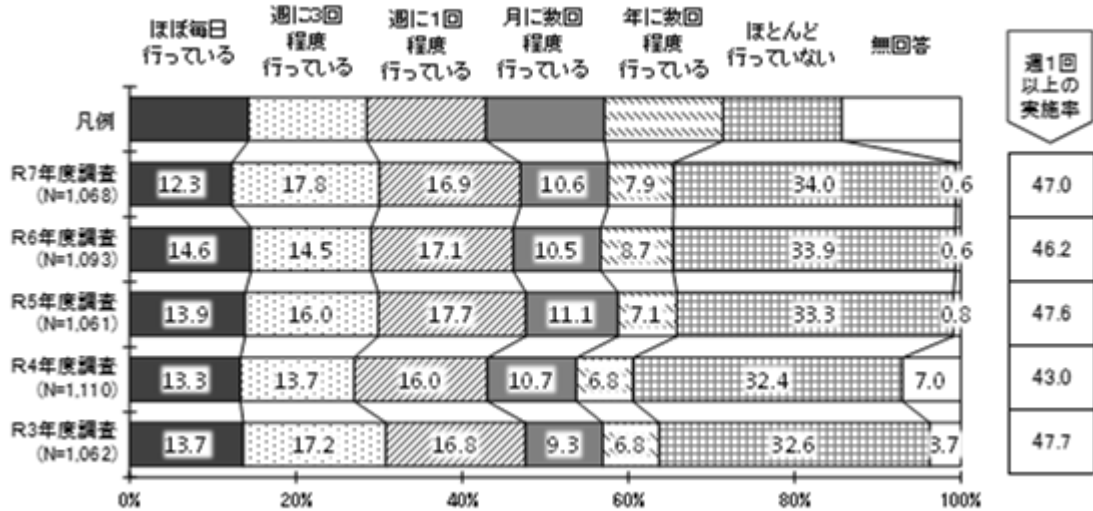
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は令和6年度の調査から0.8ポイント増加している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（50.7%）の方が女性（43.6%）より7.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（62.5%）が最も高く、次いで60歳代（49.0%）、50歳代（45.2%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（59.0%）となっている。一方、最も低いのは水城小学校区（39.9%）となっている。

問 37. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に3回程度行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	の週1回以上の実施率
全体		1,068	131	190	181	113	84	363	6	502
		100.0	12.3	17.8	16.9	10.6	7.9	34.0	0.6	47.0
性別	男性	487	14.2	17.0	19.5	10.3	9.0	29.4	0.6	50.7
	女性	560	10.5	17.9	15.2	11.1	6.8	38.0	0.5	43.6
	無回答	21	14.3	33.3	4.8	4.8	9.5	33.3	-	52.4
年代別	20歳代	76	6.6	15.8	17.1	19.7	13.2	27.6	-	39.5
	30歳代	128	8.6	9.4	15.6	11.7	10.2	44.5	-	33.6
	40歳代	191	5.8	15.7	17.3	11.0	10.5	39.8	-	38.8
	50歳代	208	9.1	15.9	20.2	11.1	8.7	33.7	1.4	45.2
	60歳代	200	14.0	17.5	17.5	12.5	5.5	33.0	-	49.0
	70歳代以上	261	21.8	26.1	14.6	5.0	4.6	26.8	1.1	62.5
	無回答	4	-	-	-	25.0	-	75.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	13.3	17.1	15.8	12.0	7.6	34.2	-	46.2
	太宰府東小学校区	100	19.0	22.0	18.0	12.0	6.0	23.0	-	59.0
	太宰府南小学校区	95	6.3	14.7	29.5	4.2	12.6	32.6	-	50.5
	水城小学校区	178	9.6	11.2	19.1	12.4	7.3	39.9	0.6	39.9
	水城西小学校区	124	10.5	23.4	15.3	8.1	9.7	32.3	0.8	49.2
	太宰府西小学校区	197	12.2	20.8	13.7	12.7	6.1	33.0	1.5	46.7
	国分小学校区	145	13.8	19.3	15.2	10.3	6.9	33.8	0.7	48.3
	わからない	67	16.4	13.4	11.9	7.5	10.4	40.3	-	41.7
無回答	4	-	-	-	25.0	-	75.0	-	-	

21. 文化芸術活動の取り組み状況(問 38)

● 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が53.7%となっている。

文化芸術の取り組み状況について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は16.0%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は29.7%、「ほとんど行っていない」は53.7%となっている。

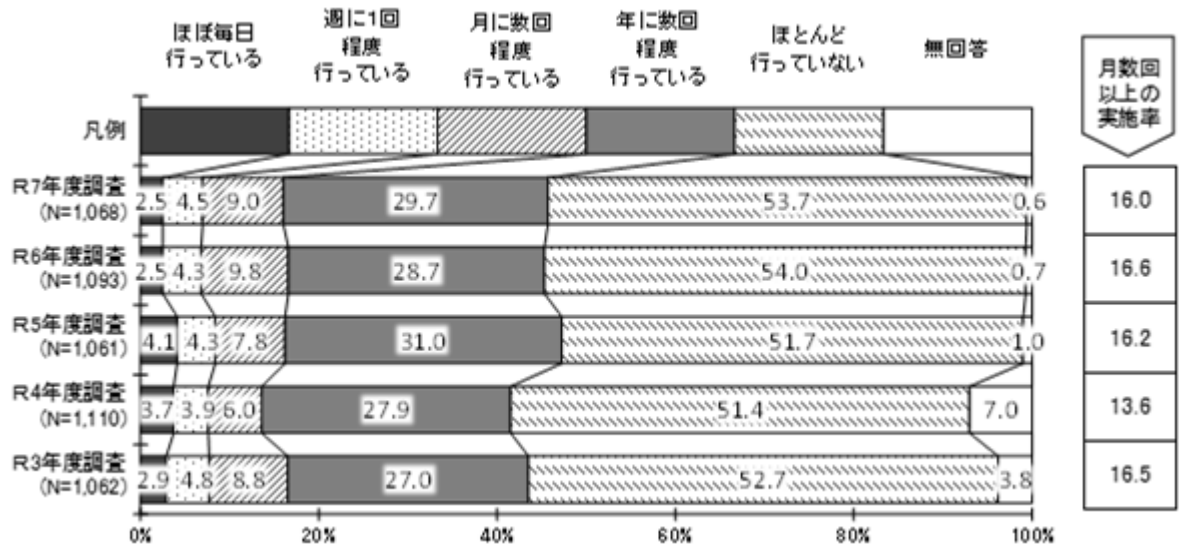
過去の調査結果と比べると、『月数回以上の実施率』は令和6年度の調査から0.6ポイント減少している。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は女性（16.4%）の方が男性（15.2%）より1.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（25.1%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府小学校区（22.1%）となっている。一方、最も低いのは水城西小学校区（11.3%）となっている。

問 38. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	率上月の数実施以
全体		1,068	2.5	4.5	9.0	29.7	53.7	0.6	16.0
性別	男性	487	3.5	4.3	7.4	27.5	56.9	0.4	15.2
	女性	560	1.4	4.6	10.4	32.0	50.9	0.7	16.4
	無回答	21	9.5	4.8	9.5	19.0	57.1	-	23.8
年代別	20歳代	76	6.6	5.3	13.2	28.9	46.1	-	25.1
	30歳代	128	3.1	4.7	10.2	25.8	56.3	-	18.0
	40歳代	191	1.0	5.8	6.8	26.7	59.7	-	13.6
	50歳代	208	1.0	2.4	7.2	32.2	56.3	1.0	10.6
	60歳代	200	2.0	4.0	9.5	33.5	51.0	-	15.5
	70歳代以上	261	3.8	5.0	10.0	29.1	51.0	1.1	18.8
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.8	6.3	12.0	31.0	46.8	-	22.1
	太宰府東小学校区	100	5.0	3.0	8.0	28.0	56.0	-	16.0
	太宰府南小学校区	95	1.1	4.2	8.4	27.4	58.9	-	13.7
	水城西小学校区	178	1.1	5.6	9.0	29.2	55.1	-	15.7
	水城西小学校区	124	0.8	4.0	6.5	31.5	56.5	0.8	11.3
	太宰府西小学校区	197	3.0	3.6	9.1	31.5	51.3	1.5	15.7
	国分小学校区	145	2.8	4.1	11.0	28.3	52.4	1.4	17.9
	わからない	67	3.0	1.5	4.5	28.4	62.7	-	9.0
無回答	4	-	50.0	-	25.0	25.0	-	50.0	

22. 地域の環境マナーの順守状況(問 39)

● 地域の環境マナーについて『守られている』は 77.0%、『守られていない』は 22.4%となっている。

地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「守られている」と「ある程度守られている」の合計）は 77.0%となっている。一方、『守られていない』（「守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は 22.4%で、『守られている』が『守られていない』を 54.6 ポイント上回っている。

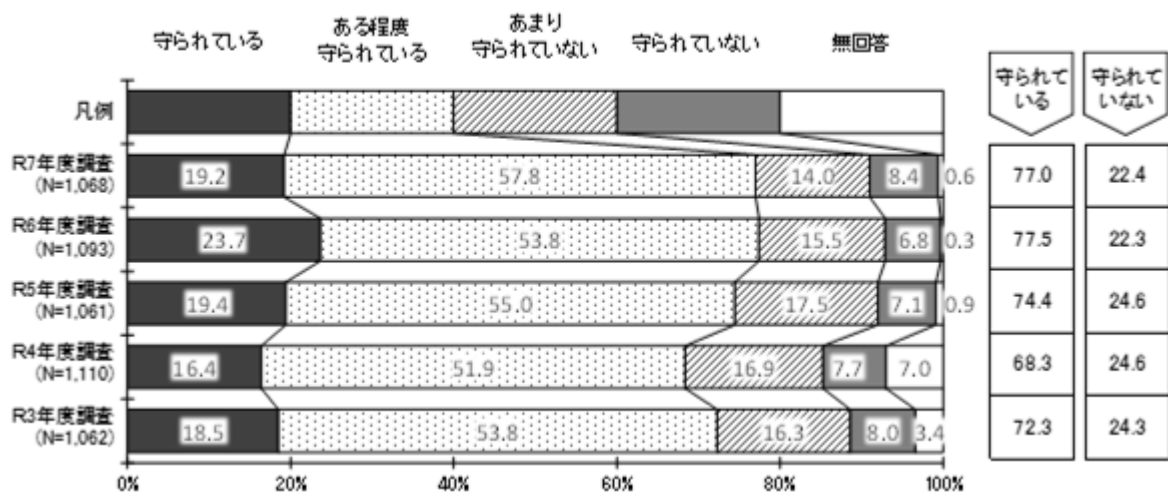
過去の調査結果と比べると、『守られている』は令和 6 年度調査から 0.5 ポイント減少している。

性別にみると、『守られている』は男性（79.2%）の方が女性（74.7%）より 4.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『守られている』は 70 歳代以上（80.5%）の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『守られている』は、太宰府東小学校区（91.0%）が最も高く、次いで太宰府西小学校区（79.7%）の順になっている。

問 39. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	い守られる	い守ある	ならあ	い守なら	無回答	い守られる	い守なら
			れ	るる	いれま	な		れ	れ
			て	れ程	てり	い守		て	て
				度	い守				
全体		1,068	205	617	150	90	6	822	240
		100.0	19.2	57.8	14.0	8.4	0.6	77.0	22.4
性別	男性	487	21.1	58.1	11.5	8.6	0.6	79.2	20.1
	女性	560	17.7	57.0	16.4	8.4	0.5	74.7	24.8
	無回答	21	14.3	71.4	9.5	4.8	-	85.7	14.3
年代別	20歳代	76	19.7	55.3	14.5	9.2	1.3	75.0	23.7
	30歳代	128	18.0	54.7	14.8	12.5	-	72.7	27.3
	40歳代	191	17.3	58.1	13.1	11.5	-	75.4	24.6
	50歳代	208	18.3	60.6	12.5	7.7	1.0	78.9	20.2
	60歳代	200	19.5	56.0	17.0	7.5	-	75.5	24.5
	70歳代以上	261	21.5	59.0	13.4	5.0	1.1	80.5	18.4
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	16.5	58.2	15.8	9.5	-	74.7	25.3
	太宰府東小学校区	100	21.0	70.0	6.0	3.0	-	91.0	9.0
	太宰府南小学校区	95	20.0	51.6	16.8	11.6	-	71.6	28.4
	水城小学校区	178	21.9	51.7	16.9	9.0	0.6	73.6	25.9
	水城西小学校区	124	22.6	54.8	12.9	8.9	0.8	77.4	21.8
	太宰府西小学校区	197	18.8	60.9	11.7	7.1	1.5	79.7	18.8
	国分小学校区	145	15.9	61.4	15.2	6.9	0.7	77.3	22.1
	わからない	67	16.4	50.7	17.9	14.9	-	67.1	32.8
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-

23. 地域の美化運動への参加状況(問 40)

● 地域の清掃活動に『参加している派』は67.4%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は67.4%となっている。一方、「参加していない」は32.1%で、『参加している派』が『参加していない派』を35.3ポイント上回っている。

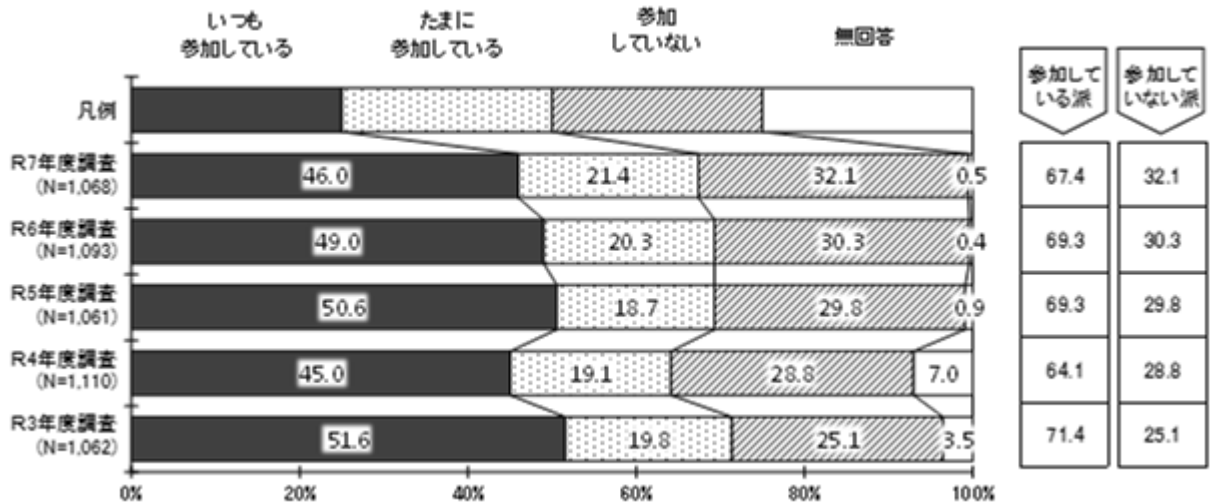
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『参加している派』は1.9ポイント減少し、『参加していない派』は1.8ポイント増加している。

性別にみると、『参加している派』は女性（70.4%）の方が男性（64.1%）より6.3ポイント高くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ『参加している派』の割合が高くなる傾向となっている。20歳代と30歳代では『参加していない派』が5割を超えている。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（84.0%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区（48.9%）となっている。

問 40. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	いつも参加している	たまに参加している	参加していない	無回答	参加している派	参加していない派
全体		1,068	46.0	21.4	32.1	0.5	67.4	32.1
性別	男性	487	42.1	22.0	35.5	0.4	64.1	35.5
	女性	560	49.5	20.9	29.1	0.5	70.4	29.1
	無回答	21	42.9	23.8	33.3	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	76	7.9	27.6	64.5	-	35.5	64.5
	30歳代	128	25.8	21.9	52.3	-	47.7	52.3
	40歳代	191	39.3	24.6	36.1	-	63.9	36.1
	50歳代	208	38.9	26.9	33.2	1.0	65.8	33.2
	60歳代	200	61.0	15.0	24.0	-	76.0	24.0
	70歳代以上	261	65.9	17.2	15.7	1.1	83.1	15.7
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	46.2	27.2	26.6	-	73.4	26.6
	太宰府東小学校区	100	54.0	30.0	16.0	-	84.0	16.0
	太宰府南小学校区	95	60.0	23.2	16.8	-	83.2	16.8
	水城小学校区	178	33.1	18.0	48.9	-	51.1	48.9
	水城西小学校区	124	45.2	21.8	32.3	0.8	67.0	32.3
	太宰府西小学校区	197	54.8	18.3	25.4	1.5	73.1	25.4
	国分小学校区	145	53.8	15.2	30.3	0.7	69.0	30.3
	わからない	67	6.0	22.4	71.6	-	28.4	71.6
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	100.0	-

24. 市内の自然の豊かさ(問 41)

● 自然の豊かさについて『肯定派』は90.4%、『否定派』は8.8%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は90.4%、一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は8.8%で、『肯定派』の方が『否定派』を大きく上回っている。

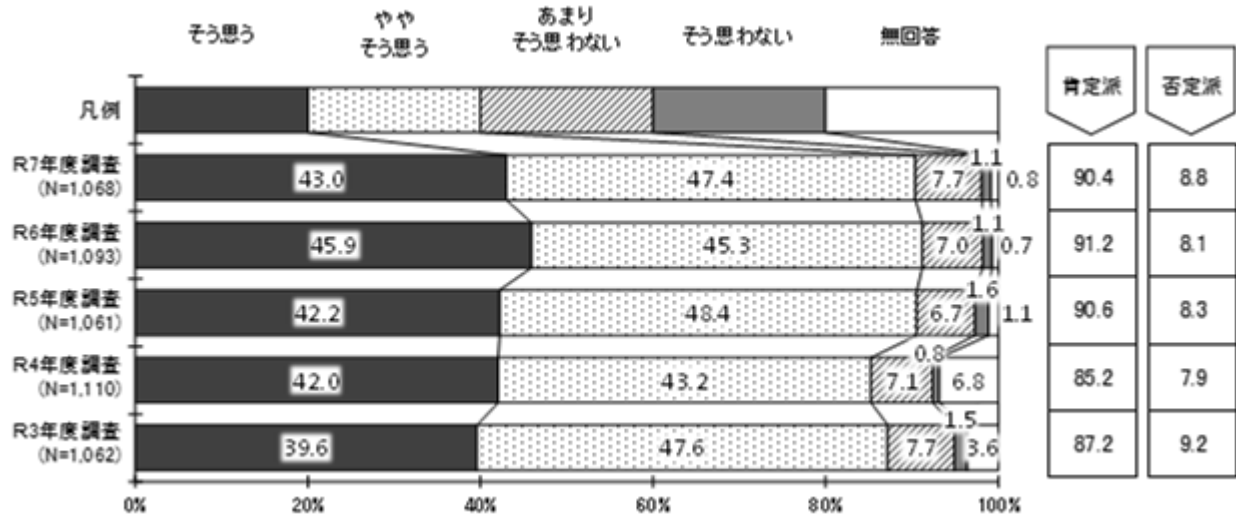
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『肯定派』は0.8ポイント減少し、『否定派』は0.7ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性が90.5%、女性が90.3%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割を超えており、50歳代（94.2%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が8割を超えており、水城小学校区（94.4%）が最も高くなっている。

問 41. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	459	506	82	12	9	965	94
		100.0	43.0	47.4	7.7	1.1	0.8	90.4	8.8
性別	男性	487	43.7	46.8	7.8	1.0	0.6	90.5	8.8
	女性	560	42.3	48.0	7.5	1.1	1.1	90.3	8.6
	無回答	21	42.9	42.9	9.5	4.8	-	85.8	14.3
年代別	20歳代	76	47.4	42.1	9.2	1.3	-	89.5	10.5
	30歳代	128	42.2	46.9	8.6	2.3	-	89.1	10.9
	40歳代	191	45.0	46.6	7.3	1.0	-	91.6	8.3
	50歳代	208	50.0	44.2	4.3	0.5	1.0	94.2	4.8
	60歳代	200	39.0	49.0	10.5	1.0	0.5	88.0	11.5
	70歳代以上	261	37.5	51.7	7.7	0.8	2.3	89.2	8.5
	無回答	4	75.0	-	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	54.4	37.3	6.3	1.3	0.6	91.7	7.6
	太宰府東小学校区	100	36.0	52.0	11.0	1.0	-	88.0	12.0
	太宰府南小学校区	95	37.9	51.6	10.5	-	-	89.5	10.5
	水城小学校区	178	47.8	46.6	4.5	1.1	-	94.4	5.6
	水城西小学校区	124	37.9	50.0	10.5	0.8	0.8	87.9	11.3
	太宰府西小学校区	197	36.0	55.8	4.6	1.0	2.5	91.8	5.6
	国分小学校区	145	53.8	37.9	6.9	-	1.4	91.7	6.9
	わからない	67	26.9	52.2	16.4	4.5	-	79.1	20.9
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0

25. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所の満足度(問 42)

● 市内で野鳥や昆虫などふれあう場所の満足度は、『満足派』59.0%となっている。

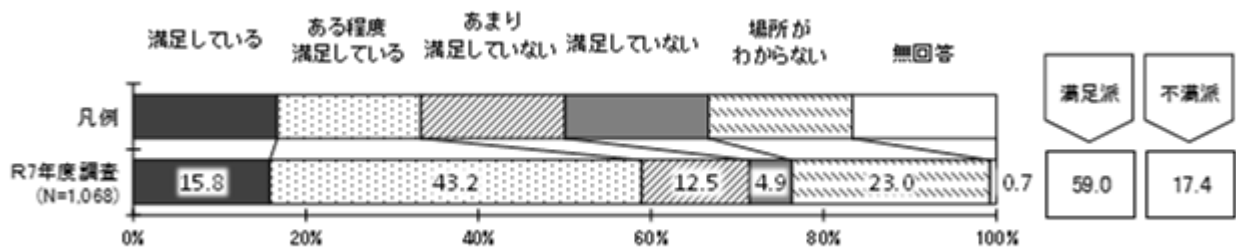
野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所の満足度について、『満足派』（「満足している」と「ある程度満足している」）は 59.0%、『不満派』（「あまり満足していない」と「満足していない」）は 17.4%となっている。また、「場所がわからない」が 23.0%となっている。

性別にみると、『満足派』は男性（61.4%）の方が女性（57.0%）より 4.4 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『満足派』は 30 歳代（67.2%）が最も高く、次いで 40 歳代（65.4%）、50 歳代（61.6%）の順となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは水城小学校区（66.3%）、『不満派』が最も高いのは水城西小学校区（20.9%）となっている。なお、「場所がわからない」は水城西小学校区（25.0%）が最も高い。

問 42. あなたは市内に、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所があり、満足していますか。（○は1つ）



		標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	場所がわからない	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		1,068	169	461	133	52	246	7	59.0	17.4
性別	男性	487	15.2	46.2	12.7	5.3	19.9	0.6	61.4	18.0
	女性	560	16.3	40.7	12.1	4.3	25.9	0.7	57.0	16.4
	無回答	21	19.0	38.1	14.3	9.5	19.0	-	57.1	23.8
年代別	20歳代	76	26.3	34.2	9.2	2.6	27.6	-	60.5	11.8
	30歳代	128	19.5	47.7	7.8	5.5	19.5	-	67.2	13.3
	40歳代	191	18.3	47.1	7.9	3.7	23.0	-	65.4	11.6
	50歳代	208	15.9	45.7	13.5	4.3	19.7	1.0	61.6	17.8
	60歳代	200	14.0	38.0	15.0	4.5	28.0	0.5	52.0	19.5
	70歳代以上	261	10.7	42.5	16.5	6.5	22.2	1.5	53.2	23.0
	無回答	4	-	50.0	-	25.0	25.0	-	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	19.0	46.8	10.1	3.2	20.3	0.6	65.8	13.3
	太宰府東小学校区	100	15.0	45.0	17.0	2.0	21.0	-	60.0	19.0
	太宰府南小学校区	95	16.8	46.3	6.3	9.5	21.1	-	63.1	15.8
	水城小学校区	178	23.6	42.7	7.3	2.8	23.6	-	66.3	10.1
	水城西小学校区	124	8.9	44.4	15.3	5.6	25.0	0.8	53.3	20.9
	太宰府西小学校区	197	12.2	43.7	13.7	4.6	24.4	1.5	55.9	18.3
	国分小学校区	145	17.9	39.3	15.9	4.8	20.7	1.4	57.2	20.7
	わからない	67	7.5	32.8	16.4	10.4	32.8	-	40.3	26.8
	無回答	4	-	50.0	25.0	25.0	-	-	50.0	50.0

26. 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 43)

● 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』(16.4%)よりも『非実践派』(83.2%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は16.4%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は83.2%で、『非実践派』が約8割を占め、高くなっている。

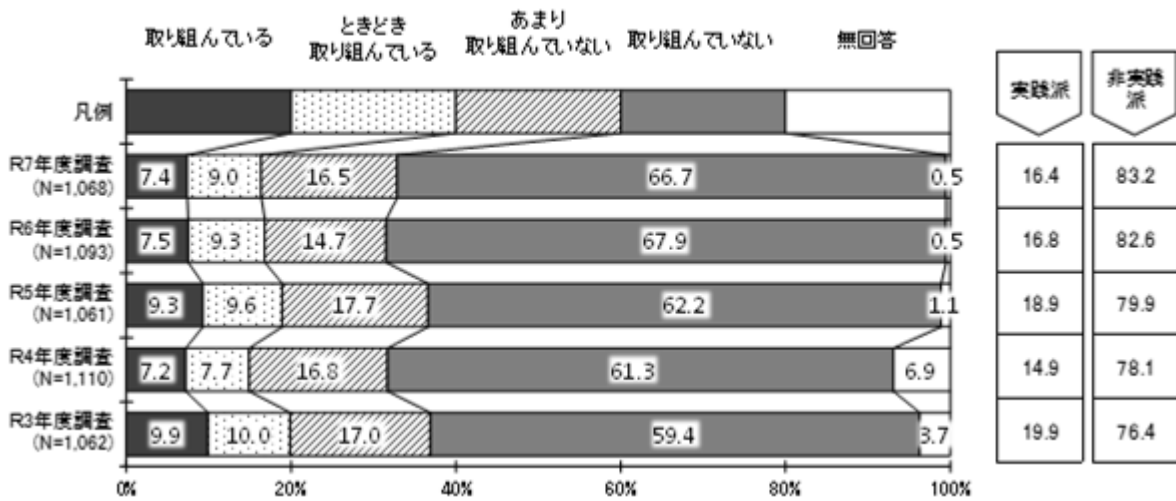
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『実践派』は0.4ポイント減少し、『非実践派』は0.6ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は女性(17.6%)の方が男性(15.6%)より2.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、70歳代以上を除く年代で『非実践派』が8割を超えており、40歳代(87.5%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは太宰府南小学校区(22.1%)となっている。一方、『非実践派』が最も高いのは太宰府東小学校区(86.0%)となっている。

問 43. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(〇は1つ)



		標本数	で取 い り る 組 ん	で取 と い り き る 組 ん ど ん ぎ	い り あ い り な 組 ま い ん り で 取	で取 い り な 組 い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		1,068	79 7.4	96 9.0	176 16.5	712 66.7	5 0.5	175 16.4	888 83.2
性別	男性	487	7.0	8.6	15.8	68.2	0.4	15.6	84.0
	女性	560	8.0	9.6	17.0	64.8	0.5	17.6	81.8
	無回答	21	-	-	19.0	81.0	-	-	100.0
年代別	20歳代	76	10.5	9.2	25.0	55.3	-	19.7	80.3
	30歳代	128	3.9	9.4	14.8	71.9	-	13.3	86.7
	40歳代	191	5.2	7.3	15.2	72.3	-	12.5	87.5
	50歳代	208	6.3	8.7	14.4	69.7	1.0	15.0	84.1
	60歳代	200	7.0	9.0	15.5	68.5	-	16.0	84.0
	70歳代以上	261	11.1	10.3	18.4	59.0	1.1	21.4	77.4
	無回答	4	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	6.3	10.1	16.5	67.1	-	16.4	83.6
	太宰府東小学校区	100	5.0	9.0	21.0	65.0	-	14.0	86.0
	太宰府南小学校区	95	7.4	14.7	20.0	57.9	-	22.1	77.9
	水城小学校区	178	10.1	5.6	12.4	71.9	-	15.7	84.3
	水城西小学校区	124	4.0	12.1	11.3	71.8	0.8	16.1	83.1
	太宰府西小学校区	197	7.6	8.6	15.2	67.0	1.5	16.2	82.2
	国分小学校区	145	10.3	9.7	24.1	55.2	0.7	20.0	79.3
	わからない	67	6.0	1.5	11.9	80.6	-	7.5	92.5
	無回答	4	-	-	25.0	75.0	-	-	100.0

27. 省エネルギー・省資源の活動状況(問 44)

● 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 87.7%、『非実践派』は 12.2%となっている。

省エネルギー・省資源の活動状況（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）について、『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 87.7%となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」）の合計は 12.2%で、『実践派』が8割以上を占め、高くなっている。

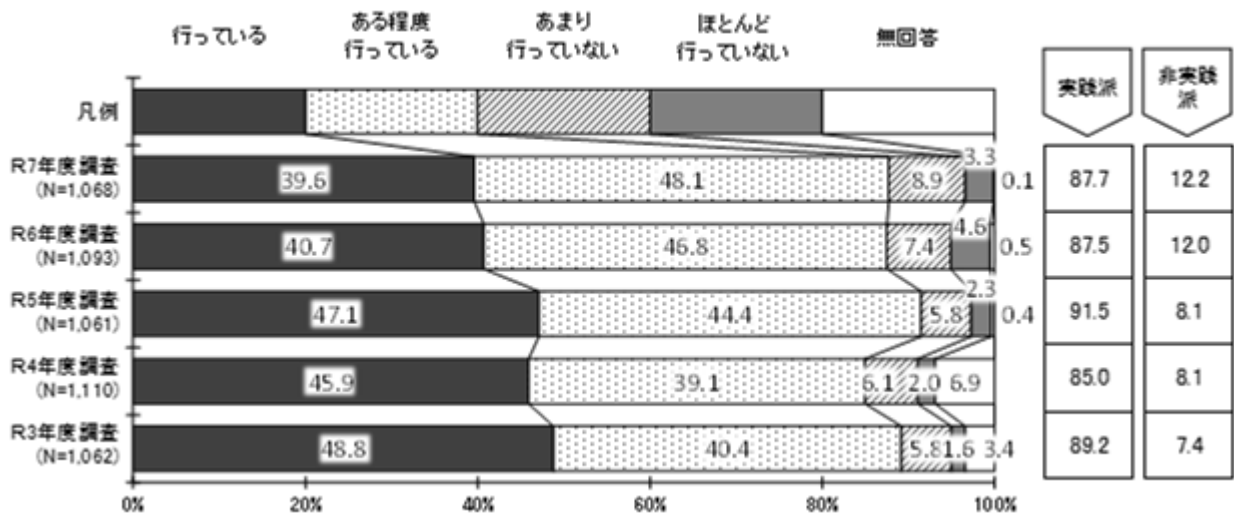
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『実践派』、『非実践派』ともに 0.2 ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は女性（92.3%）の方が男性（82.2%）より 10.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、『実践派』が 60 歳代以上で9割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（93.7%）となっている。

問 44. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（〇は1つ）



		標本数	行っている	ある程度行っている	な行あ いっま てり い	な行ほ いっ と てん いど	無回答	実践派 (%)	非実践派 (%)
全体		1,068	423	514	95	35	1	93.7	130
		100.0	39.6	48.1	8.9	3.3	0.1	87.7	12.2
性別	男性	487	30.0	52.2	12.1	5.5	0.2	82.2	17.6
	女性	560	47.7	44.6	6.3	1.4	-	92.3	7.7
	無回答	21	47.6	47.6	4.8	-	-	95.2	4.8
年代別	20歳代	76	40.8	47.4	7.9	3.9	-	88.2	11.8
	30歳代	128	35.2	49.2	10.2	5.5	-	84.4	15.7
	40歳代	191	35.6	46.1	13.6	4.7	-	81.7	18.3
	50歳代	208	38.0	50.0	9.1	2.9	-	88.0	12.0
	60歳代	200	43.5	48.5	6.0	2.0	-	92.0	8.0
	70歳代以上	261	42.1	47.9	7.3	2.3	0.4	90.0	9.6
	無回答	4	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	37.3	50.6	6.3	5.7	-	87.9	12.0
	太宰府東小学校区	100	44.0	44.0	10.0	2.0	-	88.0	12.0
	太宰府南小学校区	95	46.3	47.4	3.2	3.2	-	93.7	6.4
	水城小学校区	178	41.0	48.3	9.0	1.7	-	89.3	10.7
	水城西小学校区	124	39.5	48.4	11.3	0.8	-	87.9	12.1
	太宰府西小学校区	197	42.6	42.6	9.6	4.6	0.5	85.2	14.2
	国分小学校区	145	34.5	52.4	11.0	2.1	-	86.9	13.1
	わからない	67	26.9	55.2	10.4	7.5	-	82.1	17.9
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-

28. 環境に関する学習会等の参加状況(問 45)

● 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 9.8%となっている。

環境に関する学習会等の参加状況について、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 9.8%となっている。一方、「参加したことはない」は 90.1%で、9割以上を占め、高くなっている。

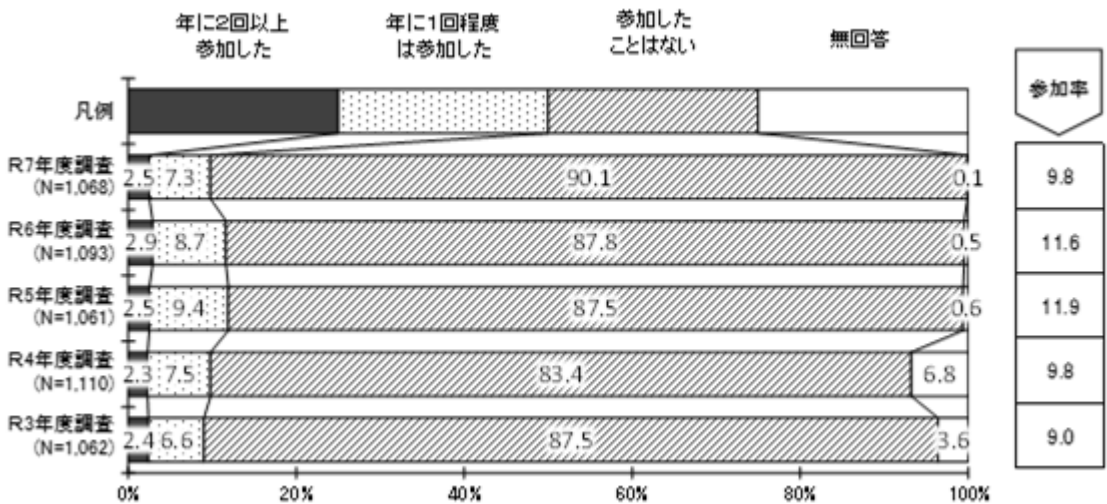
過去の調査結果と比べると、『参加率』は令和6年度調査より 1.8ポイント減少している。

性別にみると、『参加率』は、男性（11.1%）の方が女性（8.5%）よりも 2.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70歳代以上（12.3%）となっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、国分小学校区（13.8%）となっている。一方、『参加率』が最も低いのは、水城小学校区（5.0%）となっている。

問 45. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	年に2回以上参加した (%)	年に1回程度参加した (%)	参加した (合計) (%)	参加した (参加したことはない) (%)	無回答 (%)	参加率 (%)
全体		1,068	2.5	7.3	9.8	90.1	0.1	9.8
性別	男性	487	2.9	8.2	11.1	88.7	0.2	11.1
	女性	560	2.1	6.4	8.5	91.4	-	8.5
	無回答	21	4.8	9.5	14.3	85.7	-	14.3
年代別	20歳代	76	2.6	2.6	5.2	94.7	-	5.2
	30歳代	128	3.1	4.7	7.8	92.2	-	7.8
	40歳代	191	1.0	5.8	6.8	93.2	-	6.8
	50歳代	208	2.9	8.2	11.1	88.9	-	11.1
	60歳代	200	3.5	8.0	11.5	88.5	-	11.5
	70歳代以上	261	2.3	10.0	12.3	87.4	0.4	12.3
	無回答	4	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	1.9	9.5	11.4	88.6	-	11.4
	太宰府東小学校区	100	3.0	9.0	12.0	88.0	-	12.0
	太宰府南小学校区	95	2.1	6.3	8.4	91.6	-	8.4
	水城小学校区	178	1.1	3.9	5.0	94.9	-	5.0
	水城西小学校区	124	2.4	6.5	8.9	91.1	-	8.9
	太宰府西小学校区	197	3.0	7.6	10.6	88.8	0.5	10.6
	国分小学校区	145	4.1	9.7	13.8	86.2	-	13.8
	わからない	67	3.0	4.5	7.5	92.5	-	7.5
無回答	4	-	25.0	25.0	75.0	-	25.0	

29. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 46)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は91.0%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は91.0%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は8.6%で、『肯定派』が9割以上を占め、高くなっている。

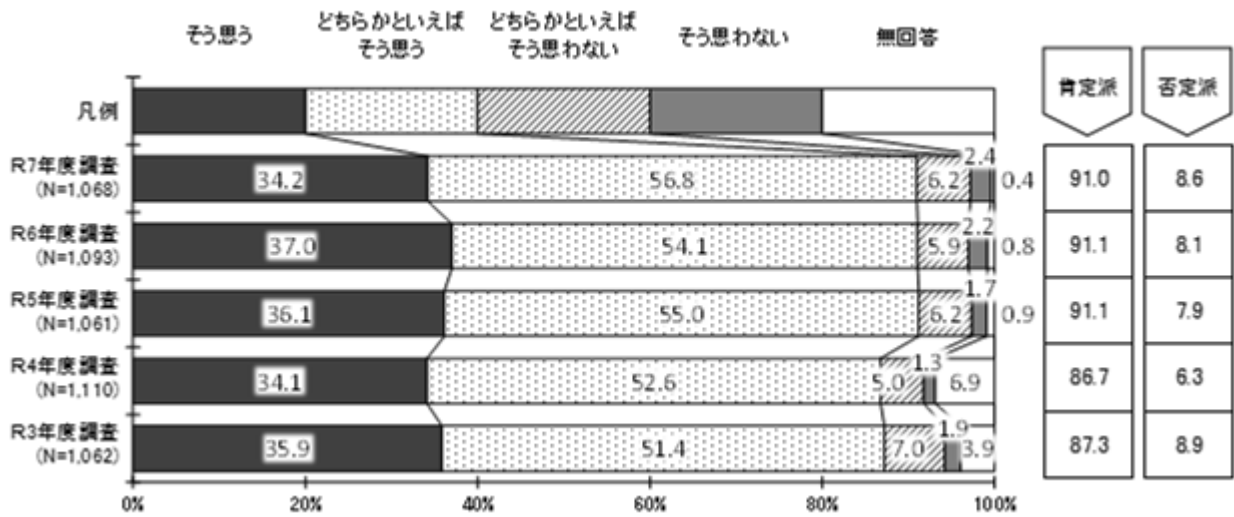
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『肯定派』0.1ポイント減少し、『否定派』は0.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（91.9%）の方が男性（89.9%）より2.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、40歳代を除くすべての世代で『肯定派』が9割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは、水城小学校区（93.8%）となっている。

問 46. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	365	607	66	26	4	972	92
		100.0	34.2	56.8	6.2	2.4	0.4	91.0	8.6
性別	男性	487	34.5	55.4	6.2	3.5	0.4	89.9	9.7
	女性	560	33.9	58.0	6.3	1.4	0.4	91.9	7.7
	無回答	21	33.3	57.1	4.8	4.8	-	90.4	9.6
年代別	20歳代	76	46.1	46.1	6.6	1.3	-	92.2	7.9
	30歳代	128	36.7	53.9	3.9	5.5	-	90.6	9.4
	40歳代	191	35.1	51.8	8.9	3.7	0.5	86.9	12.6
	50歳代	208	36.1	55.8	6.3	1.9	-	91.9	8.2
	60歳代	200	31.0	61.0	6.0	2.0	-	92.0	8.0
	70歳代以上	261	29.5	62.8	5.4	1.1	1.1	92.3	6.5
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	32.9	55.7	7.0	3.2	1.3	88.6	10.2
	太宰府東小学校区	100	34.0	57.0	7.0	2.0	-	91.0	9.0
	太宰府南小学校区	95	27.4	58.9	6.3	7.4	-	86.3	13.7
	水城小学校区	178	40.4	53.4	5.1	1.1	-	93.8	6.2
	水城西小学校区	124	33.1	58.1	6.5	2.4	-	91.2	8.9
	太宰府西小学校区	197	31.0	61.9	5.1	1.5	0.5	92.9	6.6
	国分小学校区	145	36.6	55.2	6.9	0.7	0.7	91.8	7.6
	わからない	67	35.8	52.2	7.5	4.5	-	88.0	12.0
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-

30. 居住地区のまちなみに対する評価(問 47)

● 住んでいる地区のまちなみが良好だと思える人は 86.6%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 86.6%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 13.2%で、『肯定派』が 8割以上を占め、高くなっている。

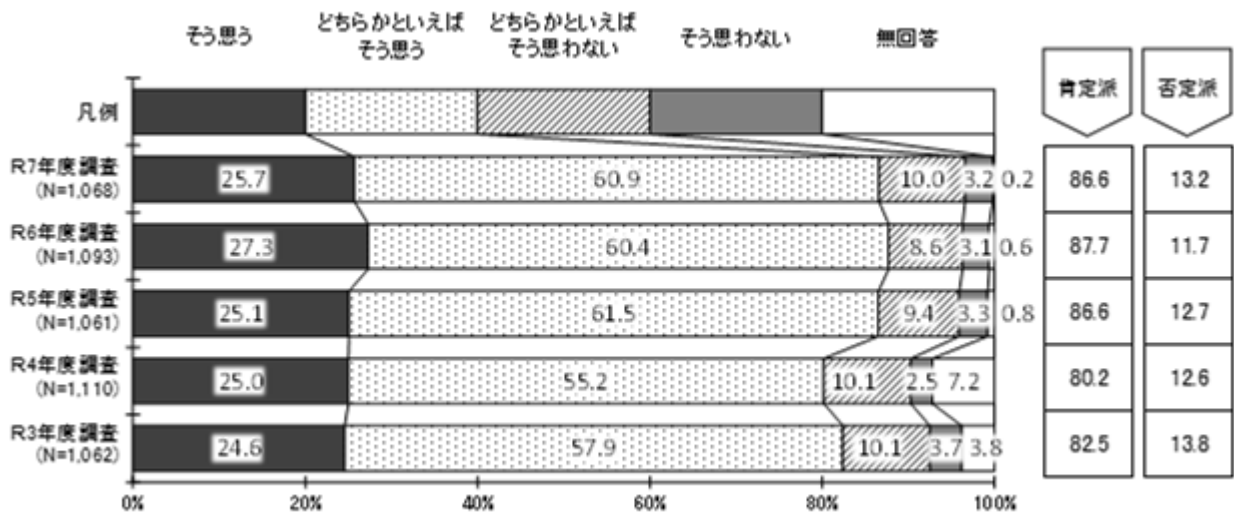
過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査から『肯定派』は 1.1 ポイント減少し、『否定派』は 1.5 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性が 87.2%、男性が 86.4%と、女性の方が 0.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は 20 歳代（93.4%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で 8割を超えた割合となっている。また、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（92.9%）となっている。

問 47. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	27.5	60.9	10.0	3.2	0.2	86.6	13.2
性別	男性	487	27.9	58.5	10.3	2.9	0.4	86.4	13.2
	女性	560	23.6	63.6	9.6	3.2	-	87.2	12.8
	無回答	21	33.3	42.9	14.3	9.5	-	76.2	23.8
年代別	20歳代	76	40.8	52.6	5.3	1.3	-	93.4	6.6
	30歳代	128	27.3	57.0	12.5	3.1	-	84.3	15.6
	40歳代	191	29.3	57.1	8.9	4.2	0.5	86.4	13.1
	50歳代	208	22.6	69.2	6.7	1.4	-	91.8	8.1
	60歳代	200	19.5	63.0	14.0	3.5	-	82.5	17.5
	70歳代以上	261	24.9	60.2	10.7	3.8	0.4	85.1	14.5
	無回答	4	50.0	25.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	22.8	57.6	15.2	4.4	-	80.4	19.6
	太宰府東小学校区	100	27.0	61.0	10.0	2.0	-	88.0	12.0
	太宰府南小学校区	95	16.8	62.1	11.6	8.4	1.1	78.9	20.0
	水城小学校区	178	29.2	62.4	6.2	2.2	-	91.6	8.4
	水城西小学校区	124	21.0	70.2	8.1	0.8	-	91.2	8.9
	太宰府西小学校区	197	33.5	59.4	6.1	0.5	0.5	92.9	6.6
	国分小学校区	145	26.9	57.9	11.7	3.4	-	84.8	15.1
	わからない	67	17.9	56.7	17.9	7.5	-	74.6	25.4
	無回答	4	25.0	50.0	-	25.0	-	75.0	25.0

31. 住環境の快適さに対する評価(問 48)

● 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 76.8%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 76.8%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 23.3%で、『肯定派』が 7割以上を占め、高くなっている。

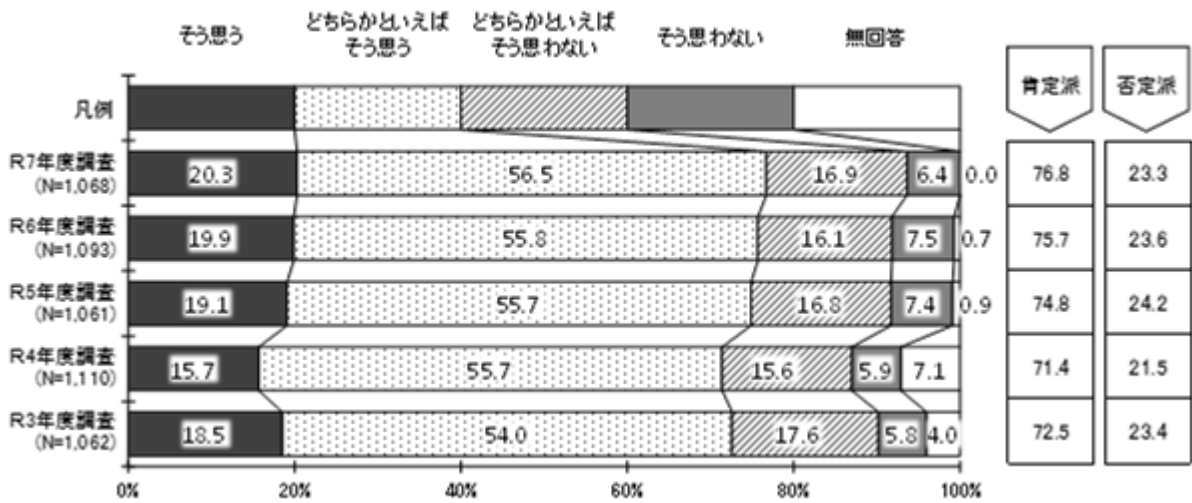
過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査から『肯定派』は 1.1 ポイント増加し、『否定派』は 0.3 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は、女性が 77.8%、男性が 76.0%と、女性の方が 1.8 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 20 歳代（85.5%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 30 歳代（28.1%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（89.3%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（37.4%）となっている。

問 48. あなたのお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,068	217	603	180	68	-	76.8	23.3
性別	男性	487	22.4	53.6	17.2	6.8	-	76.0	24.0
	女性	560	18.2	59.6	16.4	5.7	-	77.8	22.1
	無回答	21	28.6	38.1	19.0	14.3	-	66.7	33.3
年代別	20歳代	76	32.9	52.6	9.2	5.3	-	85.5	14.5
	30歳代	128	21.9	50.0	20.3	7.8	-	71.9	28.1
	40歳代	191	22.5	51.8	17.3	8.4	-	74.3	25.7
	50歳代	208	15.4	67.8	11.5	5.3	-	83.2	16.8
	60歳代	200	17.0	55.5	19.5	8.0	-	72.5	27.5
	70歳代以上	261	20.3	56.7	19.2	3.8	-	77.0	23.0
	無回答	4	50.0	-	25.0	25.0	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	15.2	47.5	24.7	12.7	-	62.7	37.4
	太宰府東小学校区	100	19.0	57.0	18.0	6.0	-	76.0	24.0
	太宰府南小学校区	95	17.9	60.0	14.7	7.4	-	77.9	22.1
	水城小学校区	178	23.0	58.4	14.0	4.5	-	81.4	18.5
	水城西小学校区	124	19.4	62.9	13.7	4.0	-	82.3	17.7
	太宰府西小学校区	197	27.9	61.4	7.6	3.0	-	89.3	10.6
	国分小学校区	145	17.9	53.1	24.1	4.8	-	71.0	28.9
	わからない	67	14.9	50.7	22.4	11.9	-	65.6	34.3
	無回答	4	25.0	-	50.0	25.0	-	25.0	75.0

32. 商業施設等の利便性に対する評価(問 49)

● **商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は70.1%となっている。**

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は70.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は29.9%で、『肯定派』の方が『否定派』を大きく上回っている。

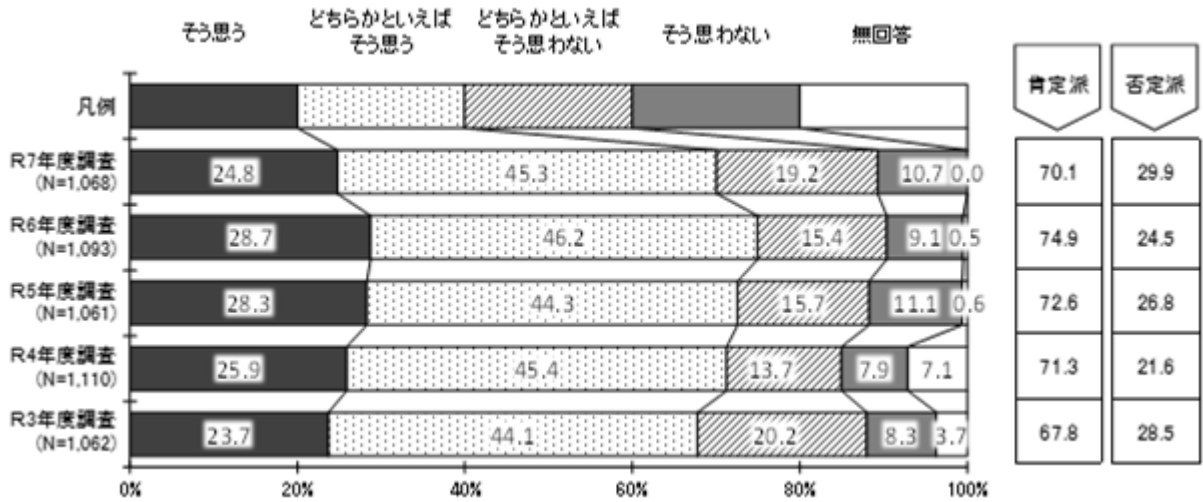
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『肯定派』は4.8ポイント減少し、『否定派』は5.4ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性（72.9%）の方が女性（68.0%）より4.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代（80.3%）が最も高く、次いで30歳代（72.7%）の順となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（90.9%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が高いのは太宰府南小学校区（49.5%）となっている。

問 49. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,068	265	484	205	114	-	74.9	31.9
		100.0	24.8	45.3	19.2	10.7	-	70.1	29.9
性別	男性	487	26.3	46.6	16.8	10.3	-	72.9	27.1
	女性	560	23.2	44.8	21.4	10.5	-	68.0	31.9
	無回答	21	33.3	28.6	14.3	23.8	-	61.9	38.1
年代別	20歳代	76	38.2	42.1	11.8	7.9	-	80.3	19.7
	30歳代	128	28.9	43.8	19.5	7.8	-	72.7	27.3
	40歳代	191	23.6	46.6	20.4	9.4	-	70.2	29.8
	50歳代	208	19.2	50.0	21.2	9.6	-	69.2	30.8
	60歳代	200	21.0	44.0	20.0	15.0	-	65.0	35.0
	70歳代以上	261	27.2	43.7	17.6	11.5	-	70.9	29.1
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	15.8	43.0	22.2	19.0	-	58.8	41.2
	太宰府東小学校区	100	14.0	40.0	30.0	16.0	-	54.0	46.0
	太宰府南小学校区	95	6.3	44.2	26.3	23.2	-	50.5	49.5
	水城西小学校区	178	32.0	48.9	11.2	7.9	-	80.9	19.1
	水城西小学校区	124	31.5	51.6	13.7	3.2	-	83.1	16.9
	太宰府西小学校区	197	46.7	44.2	6.6	2.5	-	90.9	9.1
	国分小学校区	145	13.1	44.8	31.7	10.3	-	57.9	42.0
	わからない	67	19.4	44.8	23.9	11.9	-	64.2	35.8
無回答	4	-	25.0	75.0	-	-	25.0	75.0	

33. インターネットサービスの利便性に対する評価(問 50)

● インターネット等を利用したサービスを便利と感じている人は83.0%となっている。

インターネットサービスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 83.0%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 16.1%で、『肯定派』は 8 割を超えている。

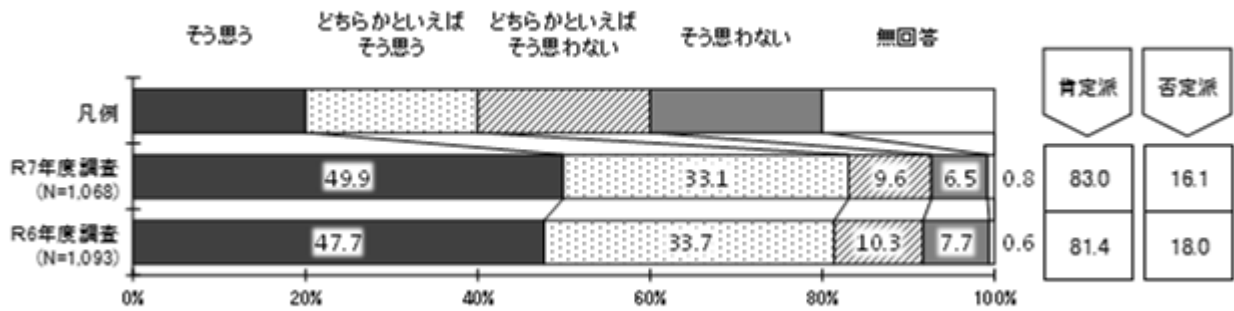
過去の調査結果と比べると、令和 6 年度調査から『肯定派』は 1.6 ポイント増加し、『否定派』は 1.9 ポイント減少している。

性別にみると、男女ともに『肯定派』が 83.2%で同率となっている。

年代別にみると、50 歳代以下の年代では『肯定派』が 9 割を超えており、30 歳代（92.9%）が最も高くなっている。また、70 歳代以上では『否定派』が 34.9%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区を除くすべての小学校区において『肯定派』が 8 割以上となっている。

問 50. あなたはインターネット等を使用したサービス（住民票発行、納税、食料品・日用品購入、預金口座残高確認・振込など）は、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,068	533	354	103	69	9	83.0	16.1
性別	男性	487	52.0	31.2	9.9	6.2	0.8	83.2	16.1
	女性	560	48.6	34.6	9.6	6.4	0.7	83.2	16.0
	無回答	21	38.1	38.1	4.8	14.3	4.8	76.2	19.1
年代別	20歳代	76	59.2	32.9	2.6	3.9	1.3	92.1	6.5
	30歳代	128	60.9	32.0	4.7	2.3	-	92.9	7.0
	40歳代	191	68.1	24.6	3.7	3.1	0.5	92.7	6.8
	50歳代	208	52.9	38.5	7.2	1.4	-	91.4	8.6
	60歳代	200	45.5	36.0	11.5	6.0	1.0	81.5	17.5
	70歳代以上	261	29.5	34.1	19.2	15.7	1.5	63.6	34.9
	無回答	4	50.0	-	-	25.0	25.0	50.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	44.3	41.1	5.7	8.2	0.6	85.4	13.9
	太宰府東小学校区	100	40.0	39.0	12.0	9.0	-	79.0	21.0
	太宰府南小学校区	95	53.7	31.6	8.4	5.3	1.1	85.3	13.7
	水城小学校区	178	55.6	24.7	12.4	6.2	1.1	80.3	18.6
	水城西小学校区	124	59.7	29.0	5.6	4.8	0.8	88.7	10.4
	太宰府西小学校区	197	47.2	34.0	12.2	6.1	0.5	81.2	18.3
	国分小学校区	145	46.9	37.9	8.3	5.5	1.4	84.8	13.8
	わからない	67	53.7	26.9	11.9	6.0	1.5	80.6	17.9
	無回答	4	50.0	-	25.0	25.0	-	50.0	50.0

34. 市内のバスの利便性に対する評価(問 51)

● バスの利便性について『肯定派』は41.5%、『否定派』は29.5%となっている。

市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は41.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は29.5%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は28.7%となっている。

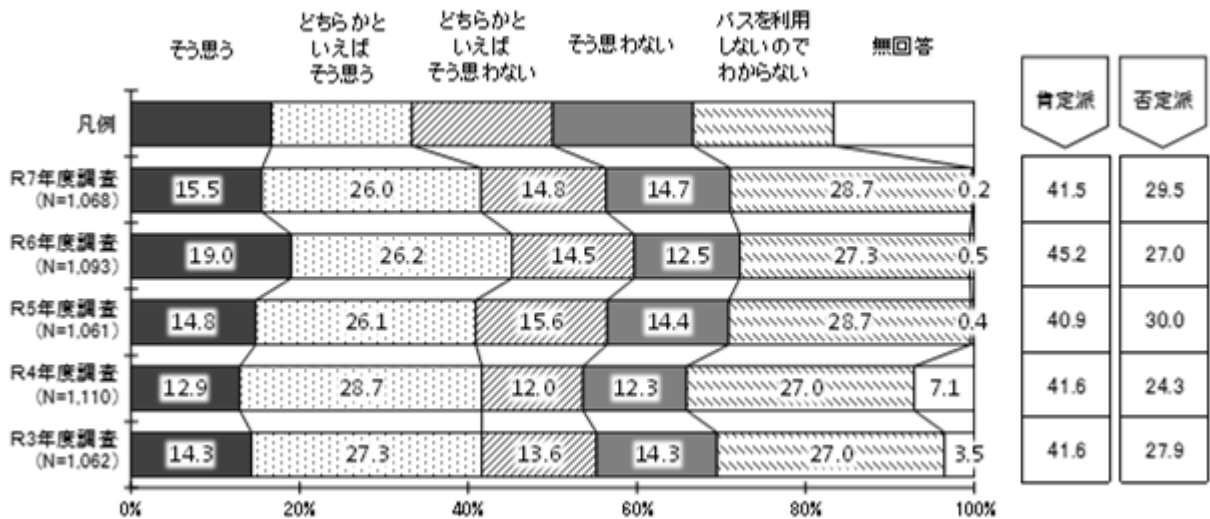
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『肯定派』は3.7ポイント減少し、『否定派』は2.5ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性が41.8%、男性が41.5%と男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、20歳代（54.0%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、国分小学校区（49.6%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府東小学校区（48.0%）となっている。

問 51. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えどばち そうか 思とうい	なえど いばち そうか 思とわい	そう 思わ ない	らなバ スの 利用 を わ か し	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		1,068	166	278	158	157	307	2	444	315
		100.0	15.5	26.0	14.8	14.7	28.7	0.2	41.5	29.5
性別	男性	487	15.4	26.1	15.4	12.3	30.4	0.4	41.5	27.7
	女性	560	15.7	26.1	14.1	16.6	27.5	-	41.8	30.7
	無回答	21	14.3	23.8	19.0	19.0	23.8	-	38.1	38.0
年代別	20歳代	76	30.3	23.7	9.2	15.8	21.1	-	54.0	25.0
	30歳代	128	18.8	26.6	10.9	12.5	31.3	-	45.4	23.4
	40歳代	191	13.6	25.7	16.2	9.9	34.0	0.5	39.3	26.1
	50歳代	208	14.4	28.4	13.9	15.4	27.9	-	42.8	29.3
	60歳代	200	12.0	26.0	17.5	15.5	29.0	-	38.0	33.0
	70歳代以上	261	14.6	25.3	16.1	17.2	26.4	0.4	39.9	33.3
	無回答	4	25.0	-	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	17.7	26.6	12.7	10.1	32.9	-	44.3	22.8
	太宰府東小学校区	100	12.0	16.0	18.0	30.0	24.0	-	28.0	48.0
	太宰府南小学校区	95	10.5	22.1	16.8	23.2	27.4	-	32.6	40.0
	水城小学校区	178	19.1	25.3	12.4	6.7	36.5	-	44.4	19.1
	水城西小学校区	124	11.3	25.0	16.1	15.3	32.3	-	36.3	31.4
	太宰府西小学校区	197	17.8	31.0	16.8	16.2	17.8	0.5	48.8	33.0
	国分小学校区	145	17.2	32.4	14.5	12.4	23.4	-	49.6	26.9
	わからない	67	10.4	22.4	11.9	9.0	44.8	1.5	32.8	20.9
	無回答	4	25.0	-	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0

35. コミュニティバスの利用頻度(問 52)

● コミュニティバスの『週1回以上の利用率』は4.5%となっている。

コミュニティバスの利用頻度について、『週1回以上の利用率』（「週5日以上」と「週3～4日」、「週1～2日」の合計）は4.5%となっている。

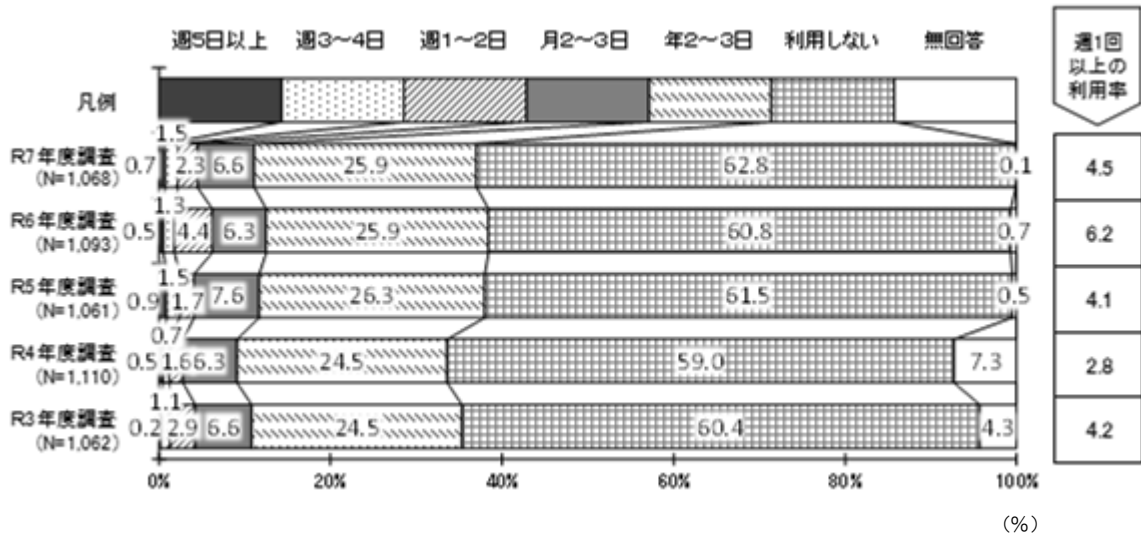
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の利用率』は令和6年度調査から1.7ポイント減少している。

性別にみると、『週1回以上の利用率』は女性（5.3%）の方が男性（3.6%）より1.7ポイント高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の利用率』は70歳代以上（7.7%）が最も高く、次いで20歳代（6.5%）、30歳代（6.2%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の利用率』が最も高いのは太宰府小学校区（8.2%）となっている。

問 52. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（○は1つ）



		標本数	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	年2～3日	利用しない	無回答	週1回以上の利用率
全体		1,068	7	16	25	71	277	671	1	4.8
		100.0	0.7	1.5	2.3	6.6	25.9	62.8	0.1	4.5
性別	男性	487	0.8	1.2	1.6	7.2	26.5	62.4	0.2	3.6
	女性	560	0.5	1.8	3.0	6.3	26.3	62.1	-	5.3
	無回答	21	-	-	-	4.8	4.8	90.5	-	-
年代別	20歳代	76	1.3	1.3	3.9	6.6	34.2	52.6	-	6.5
	30歳代	128	1.6	2.3	2.3	3.1	23.4	67.2	-	6.2
	40歳代	191	0.5	-	1.0	4.7	20.9	72.3	0.5	1.5
	50歳代	208	1.0	1.4	0.5	6.3	26.0	64.9	-	2.9
	60歳代	200	-	0.5	2.5	7.5	29.0	60.5	-	3.0
	70歳代以上	261	0.4	3.1	4.2	9.2	26.1	57.1	-	7.7
	無回答	4	-	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	0.6	3.2	4.4	6.3	24.7	60.8	-	8.2
	太宰府東小学校区	100	-	-	2.0	3.0	19.0	76.0	-	2.0
	太宰府南小学校区	95	1.1	-	-	4.2	12.6	82.1	-	1.1
	水城小学校区	178	-	0.6	2.8	5.6	25.3	65.7	-	3.4
	水城西小学校区	124	0.8	0.8	0.8	6.5	25.0	66.1	-	2.4
	太宰府西小学校区	197	1.0	2.5	2.5	8.6	36.0	49.2	-	6.0
	国分小学校区	145	0.7	1.4	3.4	9.7	32.4	52.4	-	5.5
	わからない	67	1.5	3.0	-	7.5	16.4	70.1	1.5	4.5
	無回答	4	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-

37. 市内の鉄道の利便性に対する評価(問 54)

● 鉄道の利便性について『肯定派』は67.3%、『否定派』は21.1%となっている。

市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は67.3%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は21.1%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

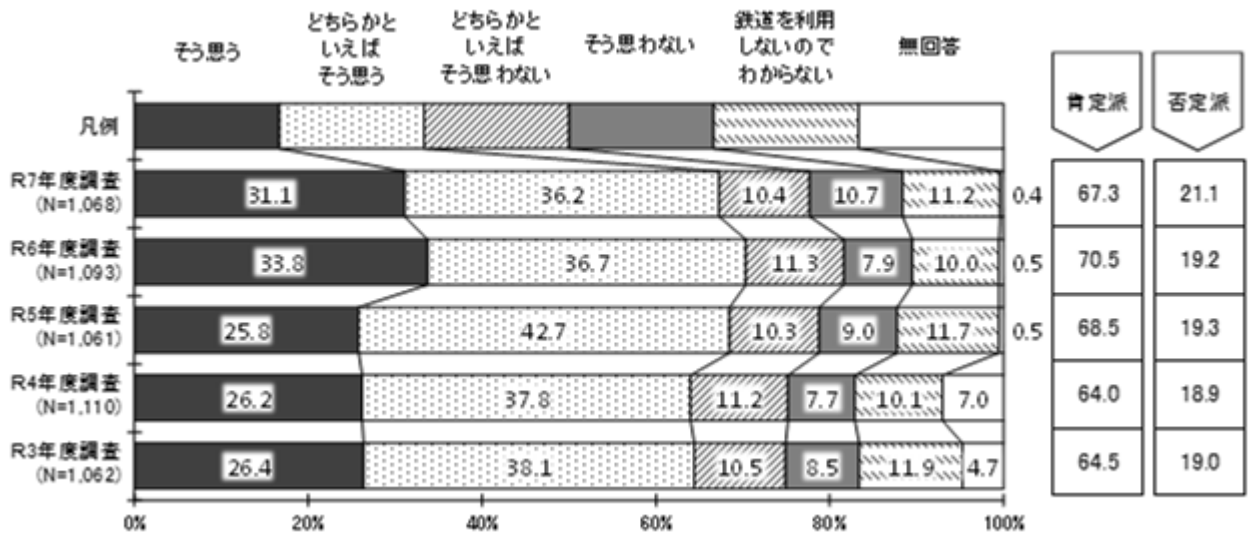
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『肯定派』は3.2ポイント減少し、『否定派』は1.9ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（67.9%）の方が男性（66.5%）より1.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは20歳代（77.6%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは水城小学校区（78.7%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（28.4%）となっている。

問 54. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 と う い	な え ど い ば ち そ う か 思 と わ い	そ う 思 わ な い	ら な 鉄 道 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯定派	否定派
全体		1,068	332	387	111	114	120	4	71.9	22.5
		100.0	31.1	36.2	10.4	10.7	11.2	0.4	67.3	21.1
性別	男性	487	28.1	38.4	10.5	11.3	11.5	0.2	66.5	21.8
	女性	560	33.8	34.1	10.4	10.2	11.1	0.5	67.9	20.6
	無回答	21	28.6	42.9	9.5	9.5	9.5	-	71.5	19.0
年代別	20歳代	76	51.3	26.3	14.5	5.3	2.6	-	77.6	19.8
	30歳代	128	35.2	32.8	8.6	9.4	14.1	-	68.0	18.0
	40歳代	191	28.8	37.2	8.4	12.0	13.1	0.5	66.0	20.4
	50歳代	208	26.9	43.3	12.0	13.5	4.3	-	70.2	25.5
	60歳代	200	33.0	38.0	11.5	10.0	7.5	-	71.0	21.5
	70歳代以上	261	26.8	33.7	8.8	10.3	19.5	0.8	60.5	19.1
	無回答	4	25.0	-	50.0	-	-	25.0	25.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	38.6	36.1	8.2	7.0	9.5	0.6	74.7	15.2
	太宰府東小学校区	100	28.0	46.0	11.0	7.0	8.0	-	74.0	18.0
	太宰府南小学校区	95	20.0	28.4	9.5	17.9	24.2	-	48.4	27.4
	水城小学校区	178	47.8	30.9	7.9	6.7	6.7	-	78.7	14.6
	水城西小学校区	124	38.7	36.3	8.1	10.5	5.6	0.8	75.0	18.6
	太宰府西小学校区	197	18.8	38.6	12.7	15.7	14.2	-	57.4	28.4
	国分小学校区	145	20.0	40.7	13.8	13.1	11.7	0.7	60.7	26.9
	わからない	67	35.8	32.8	10.4	6.0	13.4	1.5	68.6	16.4
	無回答	4	25.0	-	50.0	-	25.0	-	25.0	50.0

38. 市内の道路の円滑性に対する評価(問 55)

● 道路の円滑性について『肯定派』が52.6%で、『否定派』(41.5%)より高い。

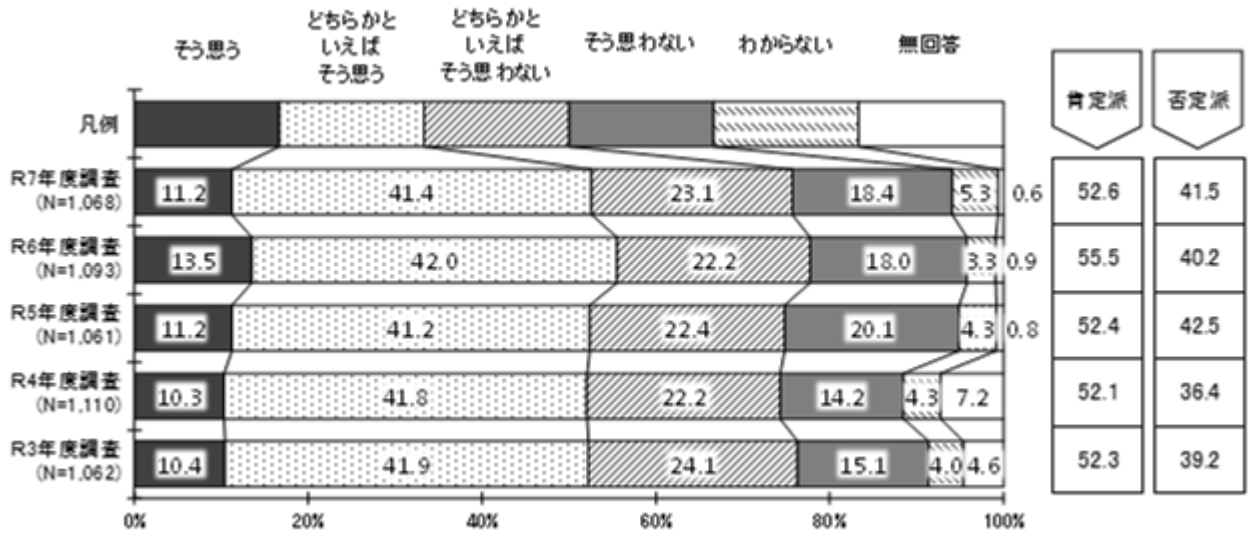
市内の道路の円滑性に対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は52.6%で、一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は41.5%で、『肯定派』の方が『否定派』より11.1ポイント高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(53.5%)の方が男性(51.5%)より2.0ポイント高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、『肯定派』が最も高いのは20歳代(71.1%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区を除く小学校区で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、太宰府小学校区の『否定派』は60.7%、太宰府東小学校区の『否定派』は53.0%となっている。

問 55. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,068	120	442	247	196	57	6	52.6	41.5
性別	男性	487	12.9	38.6	23.2	21.6	3.3	0.4	51.5	44.8
	女性	560	9.6	43.9	23.2	15.9	6.8	0.5	53.5	39.1
	無回答	21	14.3	38.1	19.0	9.5	14.3	4.8	52.4	28.5
年代別	20歳代	76	31.6	39.5	17.1	10.5	1.3	-	71.1	27.6
	30歳代	128	8.6	42.2	23.4	19.5	6.3	-	50.8	42.9
	40歳代	191	11.5	37.7	18.8	24.1	7.3	0.5	49.2	42.9
	50歳代	208	9.6	46.6	26.9	13.9	2.9	-	56.2	40.8
	60歳代	200	10.5	40.5	25.5	20.0	2.5	1.0	51.0	45.5
	70歳代以上	261	8.4	41.4	23.0	18.0	8.0	1.1	49.8	41.0
	無回答	4	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	7.6	27.8	27.8	32.9	2.5	1.3	35.4	60.7
	太宰府東小学校区	100	7.0	35.0	34.0	19.0	5.0	-	42.0	53.0
	太宰府南小学校区	95	6.3	44.2	20.0	21.1	7.4	1.1	50.5	41.1
	水城小学校区	178	19.7	41.6	17.4	14.0	6.7	0.6	61.3	31.4
	水城西小学校区	124	12.1	50.0	16.1	19.4	2.4	-	62.1	35.5
	太宰府西小学校区	197	15.2	48.2	20.8	9.6	6.1	-	63.4	30.4
	国分小学校区	145	6.9	43.4	27.6	15.9	5.5	0.7	50.3	43.5
	わからない	67	7.5	40.3	23.9	19.4	7.5	1.5	47.8	43.3
無回答	4	-	-	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	

39. 外出時の移動手段(問 56)

● 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(68.6%)が最も高い。

外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(68.6%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」(10.5%)、「自転車」(7.4%)、「鉄道」(6.8%)、「路線バス」(1.8%)、「コミュニティバス(まほろば号)」(1.7%)、「タクシー」(0.3%)の順となっている。

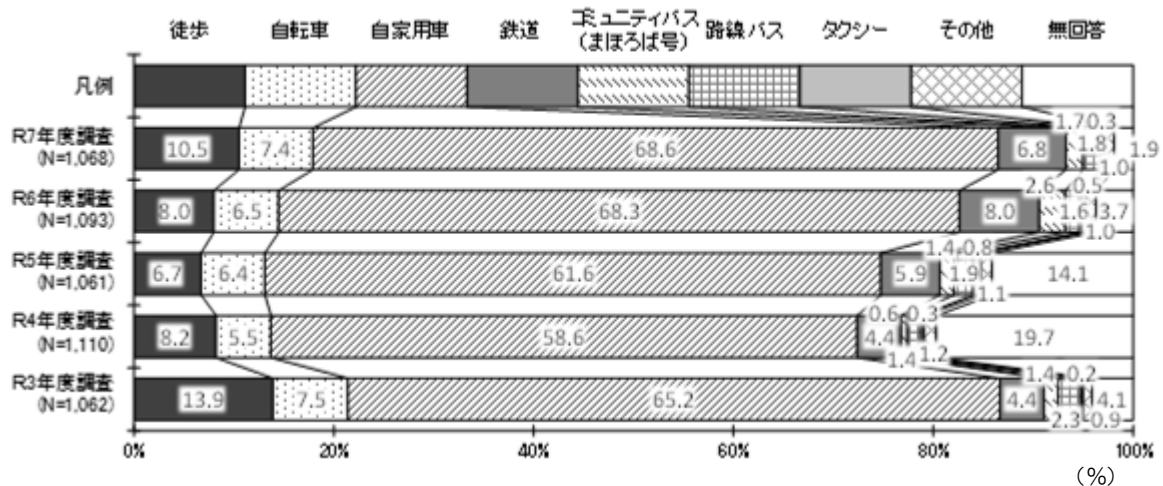
過去の調査結果と比較すると、令和6年度調査より「徒歩」(2.5ポイント増)、「自転車」(0.9ポイント増)などが増加し、「鉄道」が1.2ポイント減少している。

性別にみると、男女とも「自家用車」が最も高くなっているが、男性は73.5%、女性は64.5%と男女に差がみられる。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。特に50歳代が76.9%と最も高く、最も低いのは20歳代で34.2%となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは太宰府南小学校区(81.1%)となっている。

問 56. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス(まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		1,068	112	79	733	73	18	19	3	11	20
		100.0	10.5	7.4	68.6	6.8	1.7	1.8	0.3	1.0	1.9
性別	男性	487	9.0	6.0	73.5	6.4	1.0	0.4	0.2	1.2	2.3
	女性	560	11.4	8.8	64.5	7.5	2.3	2.9	0.4	0.7	1.6
	無回答	21	19.0	4.8	66.7	-	-	4.8	-	4.8	-
年代別	20歳代	76	10.5	23.7	34.2	23.7	1.3	2.6	-	2.6	1.3
	30歳代	128	11.7	3.1	70.3	9.4	0.8	2.3	-	0.8	1.6
	40歳代	191	7.3	5.2	75.9	6.8	0.5	0.5	-	1.0	2.6
	50歳代	208	7.2	4.3	76.9	5.8	1.9	1.4	0.5	1.0	1.0
	60歳代	200	10.5	6.5	71.0	6.0	-	1.5	-	1.0	3.5
	70歳代以上	261	14.9	9.6	64.0	2.3	3.8	2.7	0.8	0.8	1.1
	無回答	4	-	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	12.0	7.6	68.4	5.7	2.5	-	-	1.3	2.5
	太宰府東小学校区	100	10.0	3.0	71.0	6.0	1.0	4.0	-	2.0	3.0
	太宰府南小学校区	95	5.3	4.2	81.1	1.1	-	6.3	-	-	2.1
	水城小学校区	178	12.9	9.6	59.6	12.4	0.6	2.2	0.6	1.1	1.1
	水城西小学校区	124	9.7	8.9	68.5	10.5	0.8	-	-	0.8	0.8
	太宰府西小学校区	197	8.6	9.6	71.6	3.0	2.5	2.0	0.5	0.5	1.5
	国分小学校区	145	10.3	7.6	70.3	5.5	2.8	-	-	1.4	2.1
	わからない	67	16.4	3.0	58.2	11.9	3.0	1.5	1.5	1.5	3.0
無回答	4	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	

40. 日頃の買い物場所(問 57)

● 日頃買い物する場所は「太宰府市」(58.1%) が最も高い。

日頃、主に買い物する場所について、「太宰府市」(58.1%) が最も高くなっている。次いで、「筑紫野市」(25.4%)、「大野城市」(8.4%)、「福岡市」(3.1%) の順となっている。

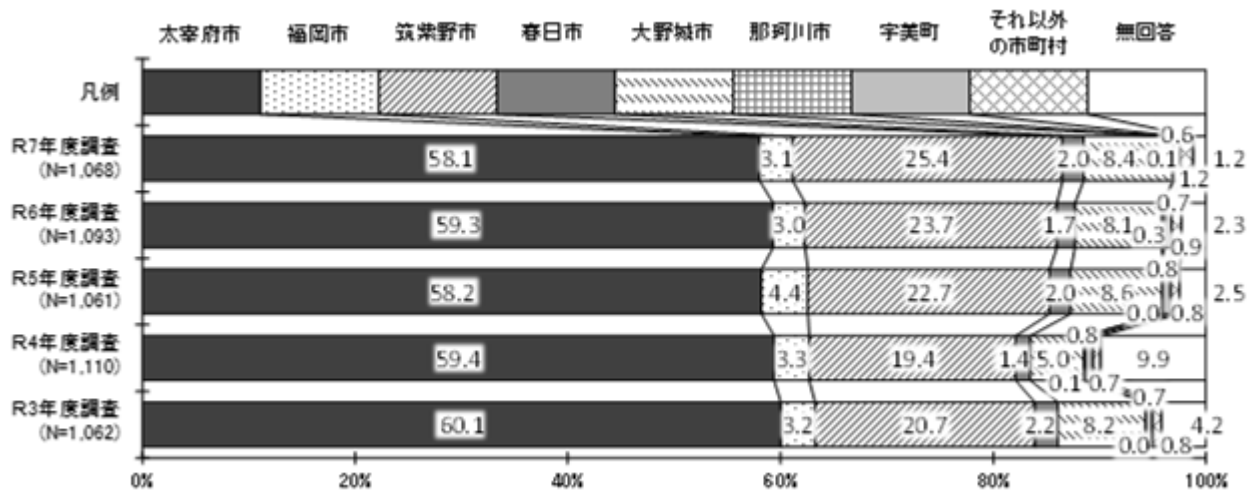
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から「太宰府市」が1.2ポイント減少している。一方、「筑紫野市」が1.7ポイント増加している。

性別にみると、「太宰府市」は、男性(58.3%)、女性(57.5%)と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっており、次いで、「筑紫野市」が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(73.7%) が最も高くなっている。

問 57. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	宇美町	のそ市 それ 町以 村外	無回 答
全体		1,068	620	33	271	21	90	1	6	13	13
性別	男性	487	58.3	2.5	24.8	1.8	9.4	-	0.6	1.2	1.2
	女性	560	57.5	3.6	25.9	2.1	7.7	0.2	0.5	1.3	1.3
	無回答	21	66.7	4.8	23.8	-	4.8	-	-	-	-
年代別	20歳代	76	55.3	10.5	18.4	-	10.5	-	-	3.9	1.3
	30歳代	128	49.2	6.3	30.5	2.3	8.6	-	-	0.8	2.3
	40歳代	191	50.8	2.6	26.2	4.2	12.0	-	0.5	1.6	2.1
	50歳代	208	56.7	3.4	30.3	1.9	6.3	-	0.5	0.5	0.5
	60歳代	200	58.0	2.5	25.5	1.5	9.0	-	1.5	1.5	0.5
	70歳代以上	261	70.1	-	19.9	1.1	6.5	0.4	0.4	0.4	1.1
	無回答	4	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	63.9	1.9	23.4	0.6	3.8	-	3.8	1.3	1.3
	太宰府東小学校区	100	50.0	2.0	43.0	-	2.0	-	-	2.0	1.0
	太宰府南小学校区	95	20.0	3.2	73.7	-	1.1	-	-	-	2.1
	水城小学校区	178	67.4	2.2	23.0	1.1	5.1	-	-	0.6	0.6
	水城西小学校区	124	70.2	2.4	16.9	1.6	8.1	-	-	-	0.8
	太宰府西小学校区	197	69.0	3.6	10.7	4.6	9.6	-	-	1.5	1.0
	国分小学校区	145	49.0	3.4	13.8	3.4	26.9	-	-	1.4	2.1
	わからない	67	50.7	9.0	23.9	3.0	6.0	1.5	-	4.5	1.5
	無回答	4	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-

41. 歴史・文化遺産に対する評価(問 58)

● 市の歴史・文化遺産を誇りに思っている人は 93.3%となっている。

歴史・文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 93.3%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 6.1%となっており、『肯定派』が 9割以上と高くなっている。

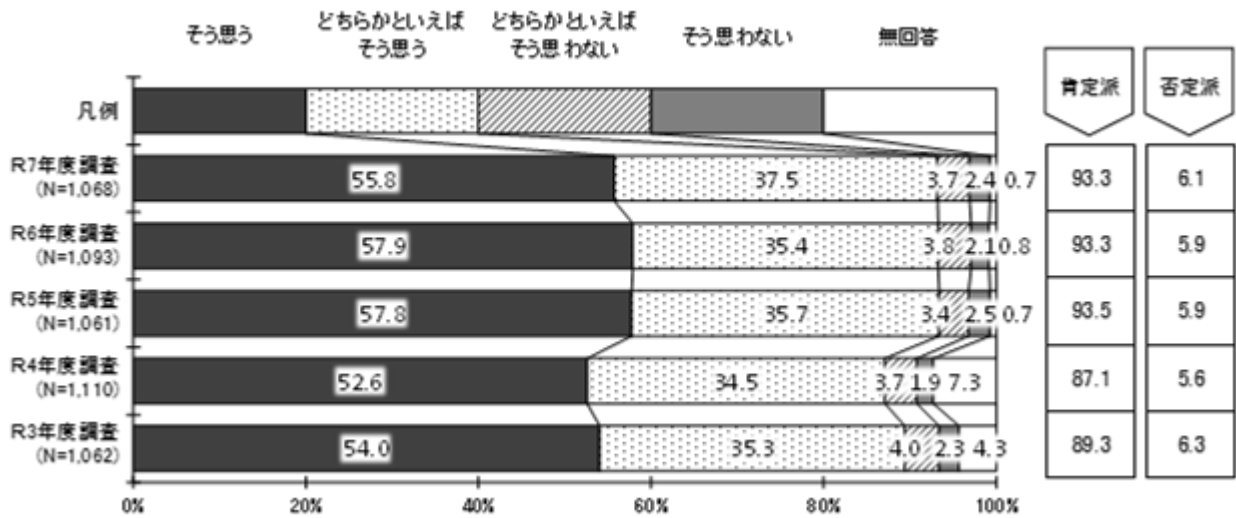
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 6 年度調査と同率となっている。

性別にみると、『肯定派』は、男性が 93.4%、女性が 93.2%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が 8割を超えており、特に 60 歳代、70 歳代以上で 95.0%と同率で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府西小学校区（95.0%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは水城西小学校区（8.8%）となっている。

問 58. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら さか うと	思いど わえち なば ら い さ か うと	い そ う 思 わ な	無 回 答	肯定派	否定派
全体		1,068	596	400	39	26	7	996	65
		100.0	55.8	37.5	3.7	2.4	0.7	93.3	6.1
性別	男性	487	57.1	36.3	3.3	2.5	0.8	93.4	5.8
	女性	560	54.6	38.6	3.9	2.5	0.4	93.2	6.4
	無回答	21	57.1	33.3	4.8	-	4.8	90.4	4.8
年代別	20歳代	76	56.6	36.8	5.3	-	1.3	93.4	5.3
	30歳代	128	52.3	37.5	4.7	5.5	-	89.8	10.2
	40歳代	191	56.0	34.0	4.7	4.2	1.0	90.0	8.9
	50歳代	208	57.7	36.5	2.9	2.9	-	94.2	5.8
	60歳代	200	55.0	40.0	2.5	1.5	1.0	95.0	4.0
	70歳代以上	261	56.3	38.7	3.4	0.8	0.8	95.0	4.2
	無回答	4	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	54.4	39.2	1.3	3.8	1.3	93.6	5.1
	太宰府東小学校区	100	57.0	37.0	4.0	2.0	-	94.0	6.0
	太宰府南小学校区	95	52.6	40.0	3.2	4.2	-	92.6	7.4
	水城西小学校区	178	64.0	30.9	2.8	1.1	1.1	94.9	3.9
	水城西小学校区	124	56.5	34.7	5.6	3.2	-	91.2	8.8
	太宰府西小学校区	197	57.9	37.1	4.1	1.0	-	95.0	5.1
	国分小学校区	145	50.3	42.1	4.1	2.1	1.4	92.4	6.2
	わからない	67	46.3	41.8	6.0	4.5	1.5	88.1	10.5
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-

42. 本市の日本遺産(候補地域)や市民遺産に対する認知度(問 59)

● 本市の日本遺産（候補地域）や市民遺産について知っている人は42.1%となっている。

本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度について、『知っている』（「両方知っている」と「日本遺産については知っている」と「市民遺産については知っている」の合計）は42.1%となっている。一方、『知らない』は56.8%となっている。

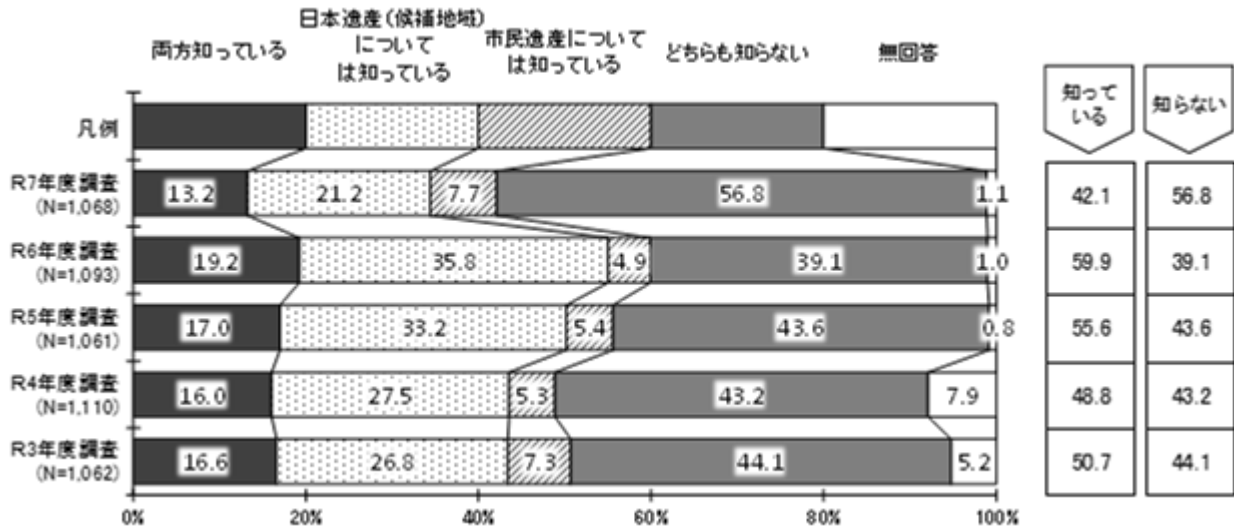
過去の調査結果と比べると、『知っている』は令和6年度調査から17.8ポイント減少している。

性別にみると、「両方知っている」は男性が13.3%、女性が13.2%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、20歳代（22.4%）次いで、30歳代（17.2%）となっている。

小学校区別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、太宰府東小学校区（17.0%）となっている。一方、最も低いのは太宰府西小学校区（9.6%）となっている。

問 59. あなたは本市の日本遺産（候補地域）や市民遺産についてご存知ですか。（○は1つ）



		標本数	両方知っている	日本遺産(候補地域)について知っている	市民遺産について知っている	どちらも知らない	無回答
全体		1,068	14.1	22.6	8.2	56.7	12.1
性別							
	男性	487	13.3	23.6	6.6	54.8	1.6
	女性	560	13.2	18.4	8.6	59.3	0.5
	無回答	21	9.5	38.1	9.5	38.1	4.8
年代別							
	20歳代	76	22.4	19.7	3.9	53.9	-
	30歳代	128	17.2	22.7	6.3	53.1	0.8
	40歳代	191	11.5	18.3	7.9	61.8	0.5
	50歳代	208	10.1	24.5	9.6	55.3	0.5
	60歳代	200	12.5	25.5	5.0	56.0	1.0
	70歳代以上	261	12.6	16.9	10.0	57.9	2.7
	無回答	4	25.0	25.0	-	50.0	-
小学校区別							
	太宰府小学校区	158	15.8	20.9	9.5	53.2	0.6
	太宰府東小学校区	100	17.0	18.0	10.0	54.0	1.0
	太宰府南小学校区	95	13.7	16.8	11.6	57.9	-
	水城小学校区	178	15.2	19.1	6.7	58.4	0.6
	水城西小学校区	124	12.9	23.4	6.5	56.5	0.8
	太宰府西小学校区	197	9.6	26.4	5.1	57.4	1.5
	国分小学校区	145	12.4	22.8	8.3	54.5	2.1
	わからない	67	7.5	14.9	6.0	70.1	1.5
	無回答	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0

43. 観光客の来訪に対する評価(問 60)

● 観光客の来訪について好ましいと思っている人は 74.0%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は 74.0%となっている。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う」と「どちらかといえば好ましくないと思う」の合計）は 24.8%となっている。

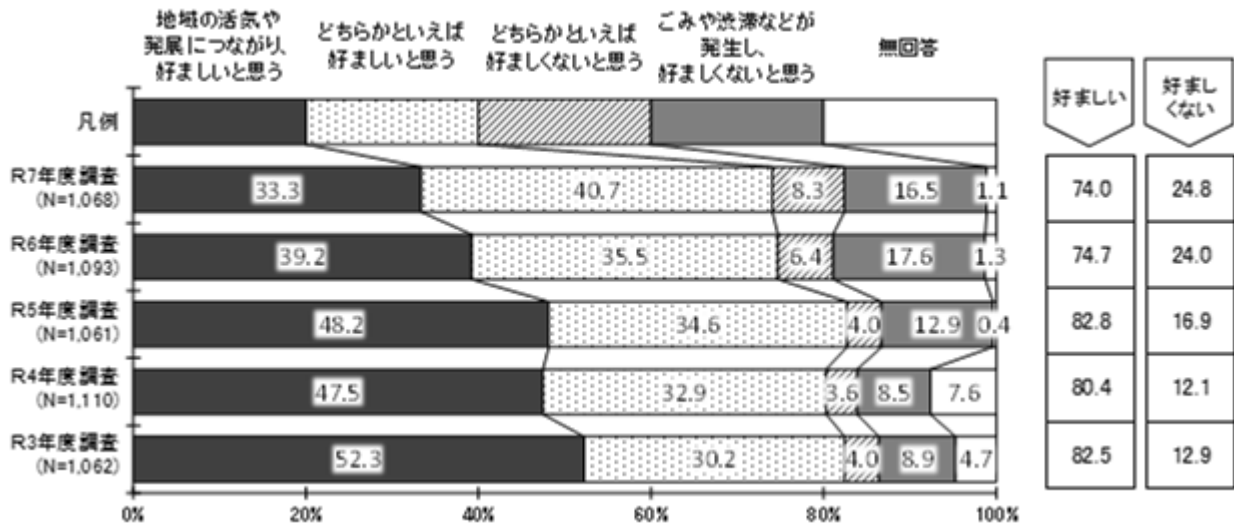
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より『好ましい』は 0.7 ポイント減少し、『好ましくない』は 0.8 ポイント増加している。

性別にみると、『好ましい』は、女性（75.7%）の方が男性（72.1%）より 3.6 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『好ましい』が最も高いのは、50 歳代（78.4%）で、次いで 60 歳代（77.0%）となっている。

小学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは太宰府南小学校区（83.2%）となっている。

問 60. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。（○は1つ）



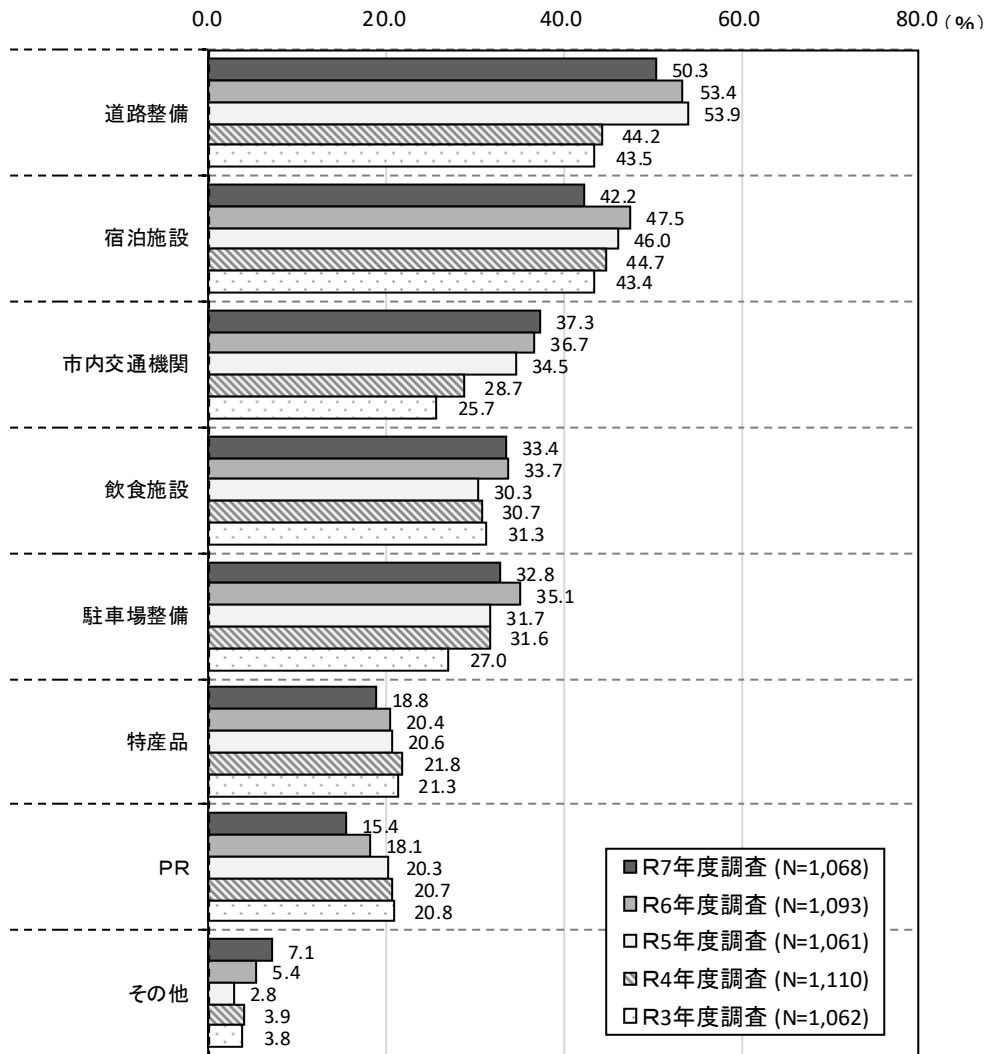
		標本数	ど と 思 う	ど ち ら か と い え ば 好 ま し い と 思 う	ど ち ら か と い え ば 好 ま し く な い と 思 う	ご み や 渋 滞 な ど が 発 生 し 、 好 ま し く な い と 思 う	無 回 答	（%）	
			と り 発 地 域 の 活 気 や 展 望 に つ な が り 好 ま し い と 思 う	と ど ち ら か と い え ば 好 ま し い と 思 う	と ど ち ら か と い え ば 好 ま し く な い と 思 う	ご み や 渋 滞 な ど が 発 生 し 、 好 ま し く な い と 思 う	無 回 答	好 ま し い	好 ま し く な い
全 体		1,068	356	435	89	176	12	791	265
		100.0	33.3	40.7	8.3	16.5	1.1	74.0	24.8
性 別	男 性	487	34.5	37.6	8.6	18.1	1.2	72.1	26.7
	女 性	560	32.7	43.0	8.0	15.4	0.9	75.7	23.4
	無回答	21	23.8	52.4	9.5	9.5	4.8	76.2	19.0
年 代 別	20歳代	76	42.1	32.9	6.6	18.4	-	75.0	25.0
	30歳代	128	41.4	35.2	6.3	16.4	0.8	76.6	22.7
	40歳代	191	39.3	34.6	5.2	20.4	0.5	73.9	25.6
	50歳代	208	31.3	47.1	8.2	13.0	0.5	78.4	21.2
	60歳代	200	30.0	47.0	7.0	14.5	1.5	77.0	21.5
	70歳代以上	261	27.2	40.2	13.4	16.9	2.3	67.4	30.3
	無回答	4	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	25.9	32.9	11.4	28.5	1.3	58.8	39.9
	太宰府東小学校区	100	40.0	34.0	9.0	16.0	1.0	74.0	25.0
	太宰府南小学校区	95	40.0	43.2	2.1	14.7	-	83.2	16.8
	水城小学校区	178	38.8	38.8	6.7	14.0	1.7	77.6	20.7
	水城西小学校区	124	32.3	43.5	4.8	18.5	0.8	75.8	23.3
	太宰府西小学校区	197	33.0	48.7	8.6	9.1	0.5	81.7	17.7
	国分小学校区	145	27.6	46.9	11.0	13.1	1.4	74.5	24.1
	わからない	67	34.3	28.4	13.4	22.4	1.5	62.7	35.8
	無回答	4	-	50.0	-	50.0	25.0	50.0	25.0

44. 本市の観光に必要なこと(問 61)

● 本市の観光に必要なことは、「道路整備」(50.3%) が最も高い。

本市の観光に必要なことについて、「道路整備」(50.3%) が最も高くなっている。次いで「宿泊施設」(42.2%)、「市内交通機関」(37.3%)、「飲食施設」(33.4%) の順となっている。過去の調査結果と比べると、「道路整備」は令和6年度調査より 3.1 ポイント減少している。一方、「市内交通機関」は5か年の調査で割合の増加が続いている。

問 61. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



性別にみると、「宿泊施設」、「駐車場整備」、「道路整備」の項目で男性の方が女性より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で「道路整備」が最も高くなっている。なお、20歳代では「市内交通機関」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で「道路整備」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区は「宿泊施設」が最も高くなっている。

			(%)							
		標本数	道路整備	宿泊施設	市内交通機関	飲食施設	駐車場整備	特産品	P R	その他
全体		1,068	537	451	398	357	350	201	165	76
		-	50.3	42.2	37.3	33.4	32.8	18.8	15.4	7.1
性別	男性	487	53.8	42.9	30.0	31.2	33.7	17.9	14.2	8.6
	女性	560	47.3	42.1	43.4	35.5	32.0	19.6	17.0	5.9
	無回答	21	47.6	28.6	42.9	28.6	33.3	19.0	4.8	4.8
年代別	20歳代	76	40.8	38.2	42.1	31.6	32.9	11.8	19.7	7.9
	30歳代	128	57.0	36.7	35.2	39.1	35.2	23.4	15.6	7.0
	40歳代	191	47.1	41.4	32.5	36.1	34.0	17.8	12.0	10.5
	50歳代	208	50.0	48.6	41.8	40.9	26.4	19.7	16.8	6.7
	60歳代	200	50.5	44.0	41.0	32.0	36.5	19.0	13.0	7.0
	70歳代以上	261	52.1	40.6	34.1	23.8	33.3	18.4	17.6	4.6
	無回答	4	50.0	25.0	25.0	75.0	-	25.0	-	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	65.2	32.9	33.5	34.8	34.8	9.5	8.9	9.5
	太宰府東小学校区	100	53.0	41.0	48.0	26.0	38.0	14.0	20.0	7.0
	太宰府南小学校区	95	38.9	44.2	43.2	38.9	30.5	21.1	17.9	7.4
	水城小学校区	178	53.4	39.3	30.9	40.4	28.1	20.2	12.4	7.9
	水城西小学校区	124	54.8	42.7	37.9	29.8	30.6	23.4	12.1	4.8
	太宰府西小学校区	197	37.6	51.8	41.6	28.4	37.1	20.8	21.8	6.1
	国分小学校区	145	49.7	42.1	34.5	32.4	30.3	19.3	15.2	7.6
	わからない	67	47.8	41.8	31.3	35.8	32.8	25.4	17.9	6.0
	無回答	4	75.0	50.0	25.0	75.0	25.0	25.0	-	-

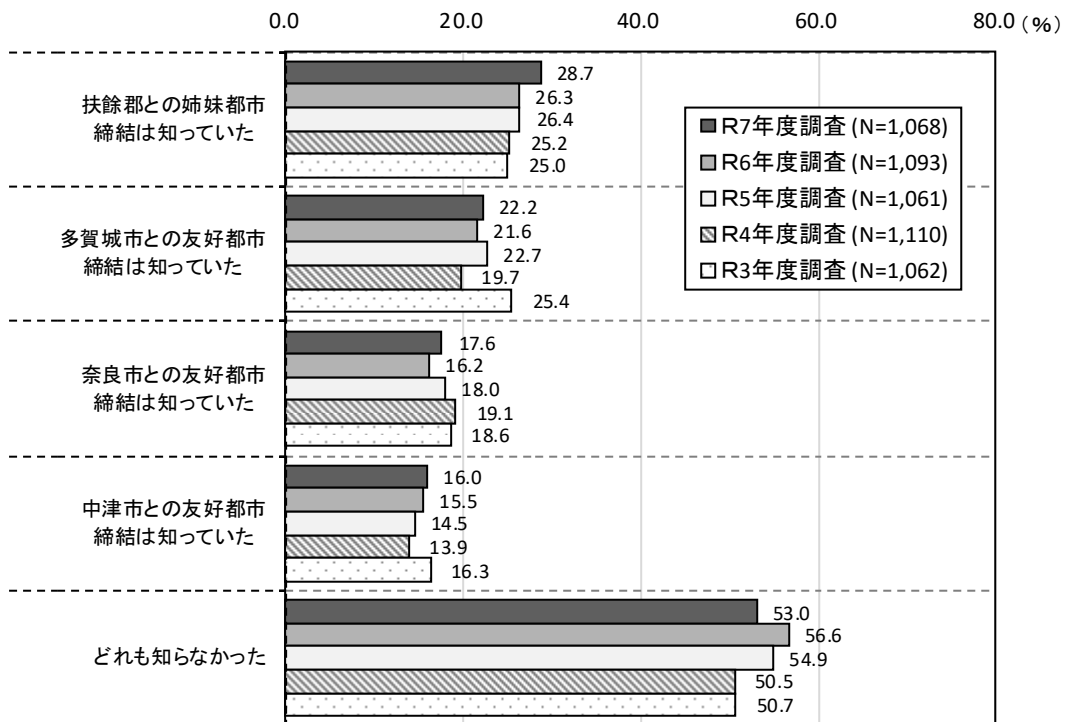
45. 姉妹都市、友好都市締結の認知度(問 62)

● 本市の姉妹都市、友好都市締結については5割以上が「どれも知らなかった」と回答している。

本市の姉妹都市、友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(28.7%)が最も高く、次いで「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(22.2%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(17.6%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(16.0%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は53.0%となっている。

過去の調査結果と比べると、いずれも令和6年度調査から増加しており、特に増加が大きいのは、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(2.4ポイント増)となっている。

問 62. あなたは本市が大韓民国^{フヨクン}扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)



性別にみると、いずれの都市との締結においても女性の方が認知度の割合が高くなっている。年代別にみると、「奈良市との友好都市締結は知っていた」と「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は60歳代が、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」と「中津市との友好都市締結は知っていた」は70歳代以上の認知度の割合がそれぞれ最も高くなっている。なお、「どれも知らなかった」は30歳代(68.0%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「奈良市との友好都市締結は知っていた」と「多賀城市との友好都市締結は知っていた」と「中津市との友好都市締結は知っていた」は太宰府東小学校区、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は太宰府西小学校区がそれぞれ最も高くなっている。

(%)

		標本数	知妹扶 つ都餘 て市郡 い締と た結の は姉	は友多 知好賀 つ都城 て市市 い締と た結の	知好奈 つ都良 て市市 い締と た結の は友	知好中 つ都津 て市市 い締と た結の は友	かど つれ たも 知ら な
全 体		1,068 -	307 28.7	237 22.2	188 17.6	171 16.0	566 53.0
性別	男 性	487	25.1	19.3	16.0	13.8	58.9
	女 性	560	31.6	25.0	18.8	17.9	48.2
	無回答	21	38.1	14.3	23.8	19.0	42.9
年 代 別	20歳代	76	21.1	22.4	19.7	15.8	53.9
	30歳代	128	20.3	7.8	9.4	10.9	68.0
	40歳代	191	25.1	20.9	17.3	14.1	60.2
	50歳代	208	26.9	24.0	17.8	13.9	51.9
	60歳代	200	31.5	27.5	22.5	19.0	45.5
	70歳代以上	261	37.5	24.5	17.6	19.2	46.4
	無回答	4	-	25.0	-	25.0	75.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	20.9	27.8	18.4	17.7	54.4
	太宰府東小学校区	100	30.0	33.0	28.0	24.0	48.0
	太宰府南小学校区	95	26.3	25.3	20.0	14.7	51.6
	水城小学校区	178	20.8	24.7	18.5	22.5	55.6
	水城西小学校区	124	32.3	17.7	16.9	14.5	53.2
	太宰府西小学校区	197	48.7	17.8	16.2	11.7	40.6
	国分小学校区	145	23.4	20.7	16.6	13.8	57.9
	わからない 無回答	67 4	17.9 -	6.0 25.0	3.0 -	4.5 25.0	77.6 50.0

46. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況(問 63)

- 自治会活動に参加しているのは32.2%となっている。
- 20歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況について、『参加派』（「積極的に参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は32.2%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は67.4%で、『不参加派』の方が『参加派』より35.2ポイント高くなっている。

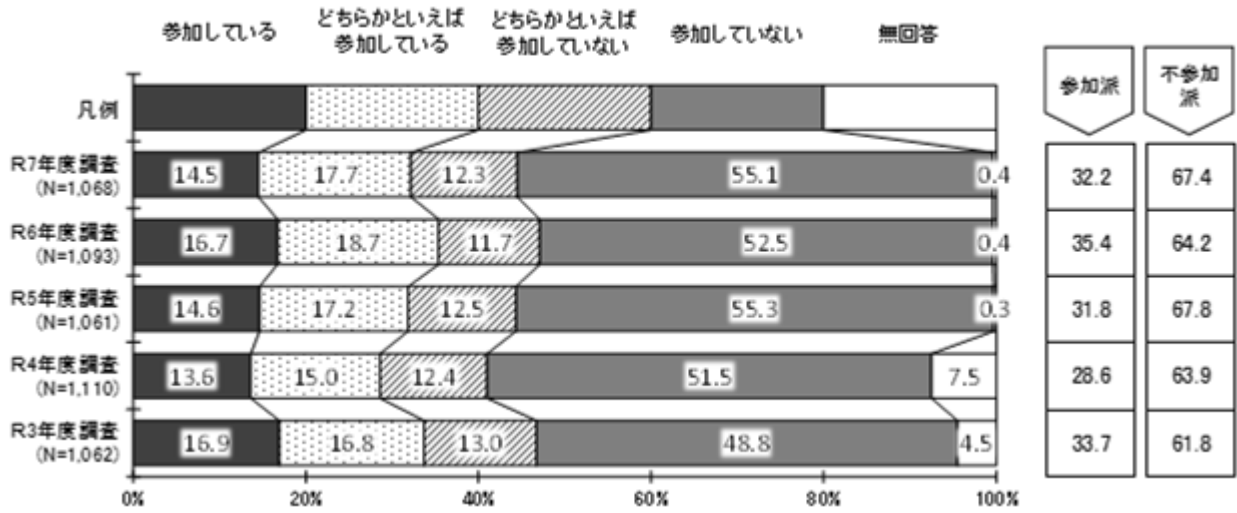
過去の調査結果と比べると、『参加派』は令和6年度調査より3.2ポイント減少している。

性別にみると、『参加派』は女性（35.5%）の方が男性（28.6%）より6.9ポイント高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は、70歳代以上（42.2%）が最も高くなっている。また、20歳代は『参加派』（9.2%）が極めて低くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』は、太宰府南小学校区（45.3%）が最も高くなっている。一方、『参加派』が最も低くなっているのは、水城小学校区（24.7%）となっている。

問 63. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	参加している	い えど るば ち ら か と い え ば 参 加 し て い る	い えど な ば ち ら か と い て い	い 参 加 し て い な	無 回 答	参加派	不参加派
全 体		1,068	155	189	131	589	4	344	720
		100.0	14.5	17.7	12.3	55.1	0.4	32.2	67.4
性別	男 性	487	13.8	14.8	11.7	59.1	0.6	28.6	70.8
	女 性	560	14.8	20.7	12.7	51.6	0.2	35.5	64.3
	無回答	21	23.8	4.8	14.3	57.1	-	28.6	71.4
年代別	20歳代	76	3.9	5.3	10.5	80.3	-	9.2	90.8
	30歳代	128	12.5	14.1	6.3	67.2	-	26.6	73.5
	40歳代	191	19.9	17.8	9.4	51.8	1.0	37.7	61.2
	50歳代	208	9.6	17.3	13.5	59.6	-	26.9	73.1
	60歳代	200	14.0	18.5	15.0	52.5	-	32.5	67.5
	70歳代以上	261	19.2	23.0	14.6	42.5	0.8	42.2	57.1
	無回答	4	-	-	25.0	75.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	14.6	19.0	11.4	54.4	0.6	33.6	65.8
	太宰府東小学校区	100	18.0	20.0	22.0	40.0	-	38.0	62.0
	太宰府南小学校区	95	22.1	23.2	12.6	42.1	-	45.3	54.7
	水城小学校区	178	11.2	13.5	11.2	64.0	-	24.7	75.2
	水城西小学校区	124	8.9	17.7	15.3	57.3	0.8	26.6	72.6
	太宰府西小学校区	197	17.3	20.3	13.2	49.2	-	37.6	62.4
	国分小学校区	145	18.6	19.3	7.6	53.8	0.7	37.9	61.4
	わからない	67	1.5	3.0	3.0	91.0	1.5	4.5	94.0
	無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	75.0

47. ボランティア活動への参加状況(問 64)

● ボランティア活動に参加しているのは 11.8%となっている。

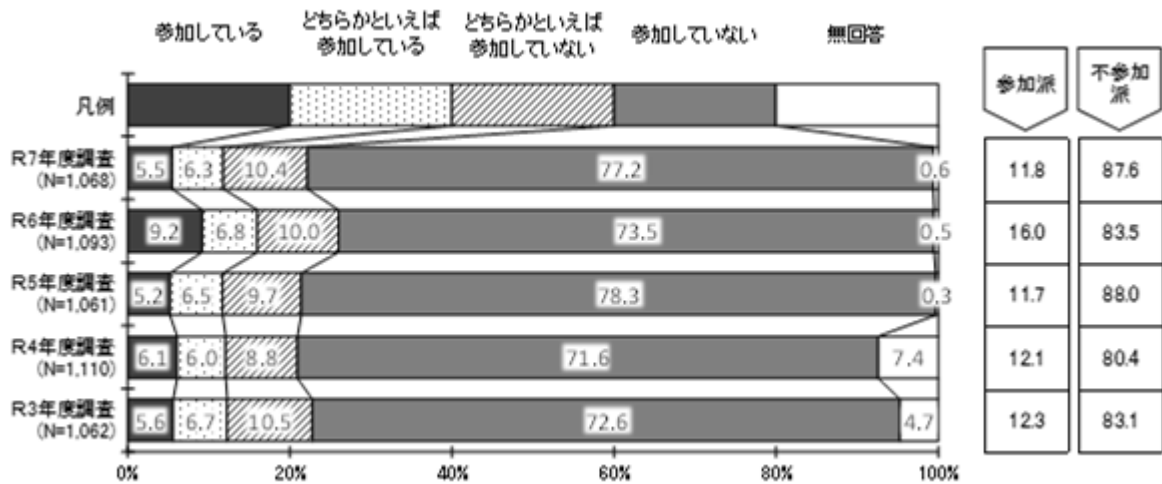
ボランティア活動への参加状況について、『参加派』（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 11.8%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 87.6%で、『不参加派』が 8 割以上を占め、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『不参加派』は令和 6 年度調査から 4.2 ポイント減少している。性別にみると、『参加派』は、男性（13.2%）の方が女性（10.5%）より 2.7 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（20.3%）で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府西小学校区（14.7%）、次いで太宰府小学校区（14.5%）、国分小学校区（12.4%）となっている。

問 64. あなたは自治会活動以外(問 63 以外)のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



(%)

		標本数	参加している	い えど るば ち ら か と い え ば 参 加 し て い る	い えど な ば ち ら か と い え ば 参 加 し て い ない	い 参 加 し て い ない	無 回 答	参 加 派	不 参 加 派
全 体		1,068	59	67	111	825	6	126	936
			5.5	6.3	10.4	77.2	0.6	11.8	87.6
性別	男 性	487	6.2	7.0	8.6	77.4	0.8	13.2	86.0
	女 性	560	4.8	5.7	11.8	77.3	0.4	10.5	89.1
	無回答	21	9.5	4.8	14.3	71.4	-	14.3	85.7
年 代 別	20歳代	76	1.3	6.6	5.3	85.5	1.3	7.9	90.8
	30歳代	128	1.6	5.5	6.3	85.9	0.8	7.1	92.2
	40歳代	191	3.7	3.7	10.5	81.7	0.5	7.4	92.2
	50歳代	208	3.4	6.3	9.6	80.8	-	9.7	90.4
	60歳代	200	5.5	6.0	12.5	75.5	0.5	11.5	88.0
	70歳代以上	261	11.9	8.4	12.6	66.3	0.8	20.3	78.9
	無回答	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	75.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	8.2	6.3	10.8	74.7	-	14.5	85.5
	太宰府東小学校区	100	5.0	7.0	10.0	78.0	-	12.0	88.0
	太宰府南小学校区	95	6.3	5.3	13.7	73.7	1.1	11.6	87.4
	水城小学校区	178	3.9	5.6	6.2	84.3	-	9.5	90.5
	水城西小学校区	124	1.6	5.6	12.1	80.6	-	7.2	92.7
	太宰府西小学校区	197	8.6	6.1	12.7	72.6	-	14.7	85.3
	国分小学校区	145	4.8	7.6	11.7	74.5	1.4	12.4	86.2
	わからない	67	3.0	6.0	3.0	85.1	3.0	9.0	88.1
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0

48. 市民と行政との情報共有(問 65)

● 市民と行政との情報共有ができていないかについて『否定派』が 54.5%で、『肯定派』(44.0%) より多い。

市民と行政との情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は44.0%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は54.5%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

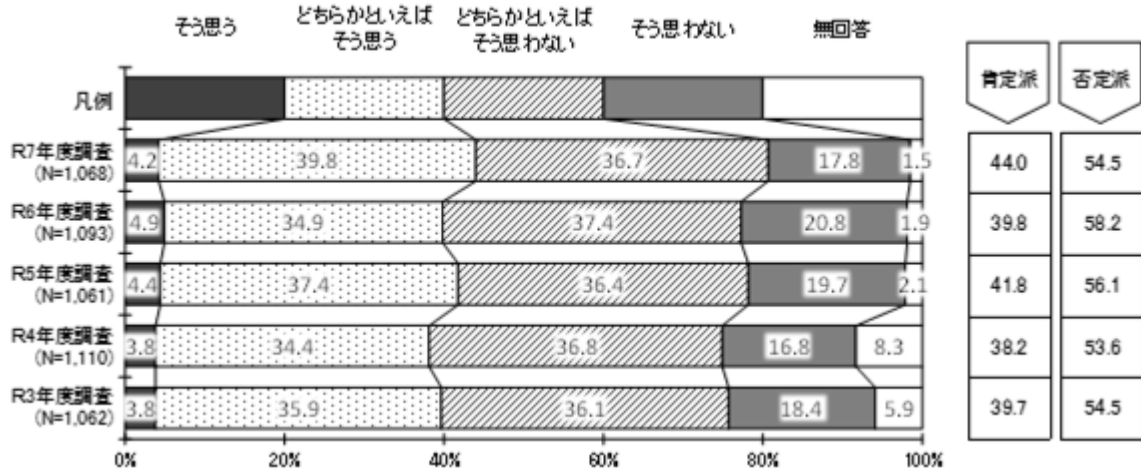
過去の調査結果と比べると、肯定派は令和6年度調査より4.2ポイント増加しており、5か年の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性が43.5%、女性が44.3%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、30歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、『否定派』が最も高いのは20歳代(56.6%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区を除くすべての校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、最も高いのは水城小学校区と国分小学校区(同率57.9%)となっている。一方、『肯定派』が最も高いのは太宰府東小学校区(51.0%)となっている。

問 65. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち ら そう か 思 と う い	な え ど ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	肯定 派	否定 派
全体		1,068	45	425	392	190	16	470	582
			4.2	39.8	36.7	17.8	1.5	44.0	54.5
性別	男性	487	4.9	38.6	35.5	18.9	2.1	43.5	54.4
	女性	560	3.6	40.7	37.7	17.1	0.9	44.3	54.8
	無回答	21	4.8	42.9	38.1	9.5	4.8	47.7	47.6
年代別	20歳代	76	5.3	36.8	40.8	15.8	1.3	42.1	56.6
	30歳代	128	5.5	47.7	25.8	20.3	0.8	53.2	46.1
	40歳代	191	4.2	40.3	31.9	22.5	1.0	44.5	54.4
	50歳代	208	5.3	37.5	41.8	14.4	1.0	42.8	56.2
	60歳代	200	2.5	34.0	45.0	16.5	2.0	36.5	61.5
	70歳代以上	261	3.8	42.9	34.1	17.2	1.9	46.7	51.3
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.8	39.2	35.4	19.6	1.9	43.0	55.0
	太宰府東小学校区	100	5.0	46.0	37.0	10.0	2.0	51.0	47.0
	太宰府南小学校区	95	7.4	43.2	29.5	18.9	1.1	50.6	48.4
	水城小学校区	178	5.6	35.4	41.6	16.3	1.1	41.0	57.9
	水城西小学校区	124	3.2	43.5	32.3	21.0	-	46.7	53.3
	太宰府西小学校区	197	3.0	44.2	37.1	13.7	2.0	47.2	50.8
	国分小学校区	145	4.1	36.6	38.6	19.3	1.4	40.7	57.9
	わからない	67	1.5	26.9	40.3	29.9	1.5	28.4	70.2
	無回答	4	-	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0

49. 本市が発信している情報を得ている媒体(問 66)

● 本市の情報を得ている媒体は「広報だざいふ」が80.9%となっている。

本市の情報を得ている媒体について、「広報だざいふ」(80.9%)が最も高く、次いで「LINE」(42.5%)、「ホームページ」(29.0%)の順となっている。一方、「情報を得ていない」は6.2%となっている。

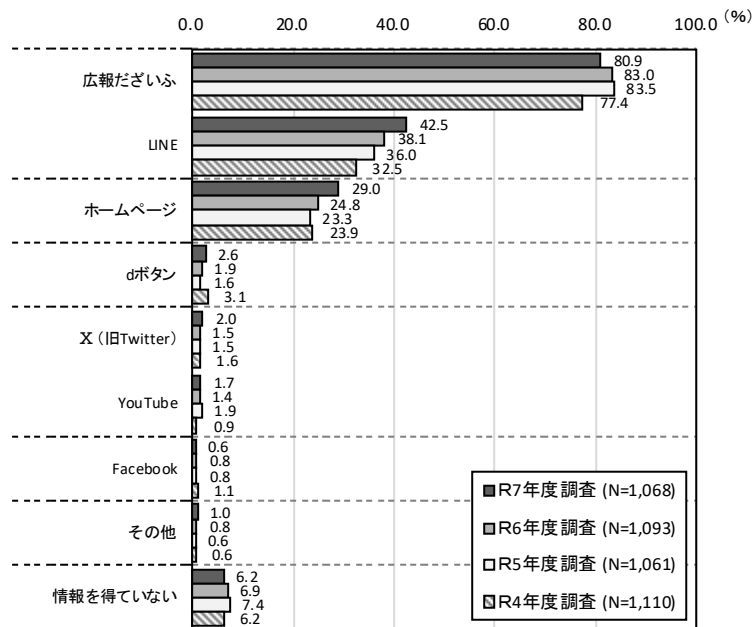
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査より「広報だざいふ」が2.1ポイント減少し、「LINE」や「ホームページ」は約4ポイント増加している。

性別にみると、上位3項目のうち、「広報だざいふ」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「広報だざいふ」が最も高くなっている。また、「広報だざいふ」では70歳代以上(92.7%)、「LINE」では50歳代(48.6%)、「ホームページ」では60歳代(41.0%)がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「広報だざいふ」が最も高くなっている。

問 66. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



	標本数	(%)								
		広報だざいふ	LINE	ホームページ	dボタン	X(旧Twitter)	YouTube	Facebook	その他	情報を得ていない
全体	1,068	86.4	45.4	31.0	2.8	2.1	1.8	0.6	1.1	6.6
性別										
男性	487	79.5	37.0	30.0	2.5	1.6	1.8	0.8	1.0	8.4
女性	560	82.0	48.0	27.7	2.5	2.3	1.6	0.4	1.1	4.5
無回答	21	85.7	23.8	42.9	9.5	-	-	-	-	-
年代別										
20歳代	76	59.2	39.5	18.4	2.6	3.9	1.3	-	2.6	15.8
30歳代	128	68.0	47.7	27.3	-	4.7	0.8	-	-	11.7
40歳代	191	78.0	47.6	31.4	-	3.7	2.1	-	1.6	6.8
50歳代	208	80.3	48.6	28.8	1.9	0.5	1.0	0.5	0.5	6.3
60歳代	200	85.0	44.0	41.0	4.5	2.0	2.5	1.5	0.5	1.0
70歳代以上	261	92.7	31.0	22.2	5.0	-	1.9	0.4	1.5	4.2
無回答	4	100.0	50.0	50.0	-	-	-	25.0	-	-
小学校区別										
太宰府小学校区	158	86.1	33.5	27.8	3.2	2.5	1.9	1.3	-	5.1
太宰府東小学校区	100	90.0	39.0	34.0	4.0	1.0	3.0	-	1.0	4.0
太宰府南小学校区	95	83.2	44.2	30.5	3.2	3.2	2.1	-	-	3.2
水城小学校区	178	80.3	51.1	31.5	2.8	1.7	1.1	-	0.6	5.1
水城西小学校区	124	78.2	45.2	29.0	4.0	0.8	0.8	0.8	-	4.0
太宰府西小学校区	197	85.3	41.6	29.4	1.5	2.5	1.0	1.0	2.5	7.6
国分小学校区	145	75.2	46.9	26.9	2.1	2.1	3.4	0.7	2.1	6.2
わからない	67	56.7	31.3	17.9	-	1.5	-	-	1.5	19.4
無回答	4	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-

50. 行政情報の接触状況(問 67)

① 「広報だざいふ」の閲読状況

●「広報だざいふ」の閲読率は81.6%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいます」と「たまに読んでいます」の合計）は81.6%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は16.6%となっている。

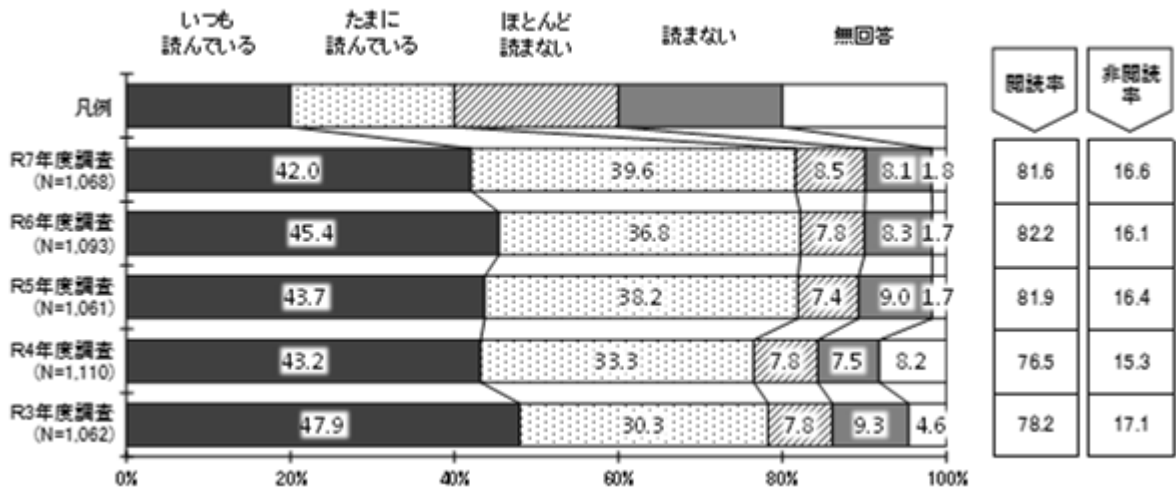
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『閲読率』は0.6ポイント減少し、『非閲読率』は0.5ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は、女性（84.1%）の方が男性（78.3%）より5.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて『閲読率』が高くなっており、70歳代以上では90.0%となっている。

小学校区別にみると、水城小学校区と水城西小学校区を除く小学校区で『閲読率』は8割を超えており、太宰府東小学校区（89.0%）が最も高くなっている。

問 67. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（〇はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいます	たまに読んでいます	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体		1,068	449	423	91	86	19	81.6	16.6
性別	男性	487	33.1	45.2	10.5	9.4	1.8	78.3	19.9
	女性	560	49.3	34.8	7.1	7.1	1.6	84.1	14.2
	無回答	21	57.1	38.1	-	-	4.8	95.2	-
年代別	20歳代	76	22.4	28.9	19.7	28.9	-	51.3	48.6
	30歳代	128	25.8	48.4	11.7	13.3	0.8	74.2	25.0
	40歳代	191	37.7	39.3	10.5	11.5	1.0	77.0	22.0
	50歳代	208	37.5	48.6	7.7	4.8	1.4	86.1	12.5
	60歳代	200	48.0	38.5	8.5	3.5	1.5	86.5	12.0
	70歳代以上	261	58.2	31.8	3.1	3.1	3.8	90.0	6.2
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	158	39.9	43.7	7.6	7.6	1.3	83.6	15.2
	太宰府東小学校区	100	52.0	37.0	5.0	6.0	-	89.0	11.0
	太宰府南小学校区	95	53.7	31.6	6.3	7.4	1.1	85.3	13.7
	水城小学校区	178	39.9	38.8	10.7	8.4	2.2	78.7	19.1
	水城西小学校区	124	35.5	42.7	9.7	9.7	2.4	78.2	19.4
	太宰府西小学校区	197	46.7	40.1	6.1	5.1	2.0	86.8	11.2
	国分小学校区	145	43.4	37.9	11.7	6.9	-	81.3	18.6
	わからない	67	17.9	41.8	11.9	20.9	7.5	59.7	32.8
	無回答	4	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-

② 「太宰府市ホームページ」の閲覧状況

●「太宰府市ホームページ」の閲覧率は45.7%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は45.7%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は47.6%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『閲覧率』は1.4ポイント減少し、『非閲覧率』は0.8ポイント増加している。

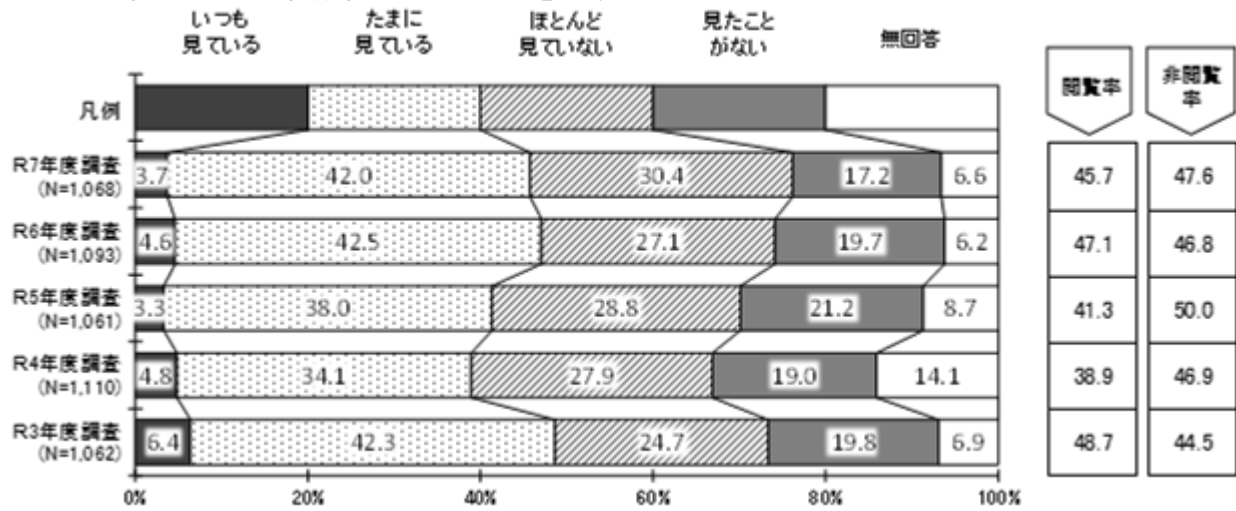
性別にみると、『閲覧率』は女性（47.7%）の方が男性（43.1%）より4.6ポイント高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』が最も高くなっているのは、60歳代以上（53.5%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（54.0%）となっている。

一方、『非閲覧率』が最も高いのは、太宰府小学校区（50.7%）となっている。

問 67. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（〇はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,068	40	449	325	184	70	45.7	47.6
性別	男性	487	4.1	39.0	33.7	17.7	5.5	43.1	51.4
	女性	560	3.4	44.3	28.2	17.0	7.1	47.7	45.2
	無回答	21	4.8	52.4	14.3	14.3	14.3	57.2	28.6
年代別	20歳代	76	-	34.2	42.1	22.4	1.3	34.2	64.5
	30歳代	128	1.6	36.7	44.5	15.6	1.6	38.3	60.1
	40歳代	191	3.1	42.4	37.2	13.6	3.7	45.5	50.8
	50歳代	208	1.4	48.6	33.2	12.0	4.8	50.0	45.2
	60歳代	200	6.5	47.0	25.0	16.0	5.5	53.5	41.0
	70歳代以上	261	6.1	37.2	17.6	24.1	14.9	43.3	41.7
	無回答	4	-	75.0	-	25.0	-	75.0	25.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	3.2	39.2	30.4	20.3	7.0	42.4	50.7
	太宰府東小学校区	100	4.0	50.0	22.0	12.0	12.0	54.0	34.0
	太宰府南小学校区	95	5.3	42.1	25.3	17.9	9.5	47.4	43.2
	水城小学校区	178	2.2	46.1	32.0	16.3	3.4	48.3	48.3
	水城西小学校区	124	4.8	40.3	37.1	12.9	4.8	45.1	50.0
	太宰府西小学校区	197	3.6	41.6	27.4	19.3	8.1	45.2	46.7
	国分小学校区	145	4.8	41.4	33.1	14.5	6.2	46.2	47.6
	わからない	67	3.0	29.9	38.8	26.9	1.5	32.9	65.7
	無回答	4	-	75.0	-	25.0	-	75.0	25.0

51. 市議会が発信している情報を得ている媒体(問 68)

● 市議会が発信している情報を得ている媒体は「太宰府市議会だより」が 65.4%となっている。

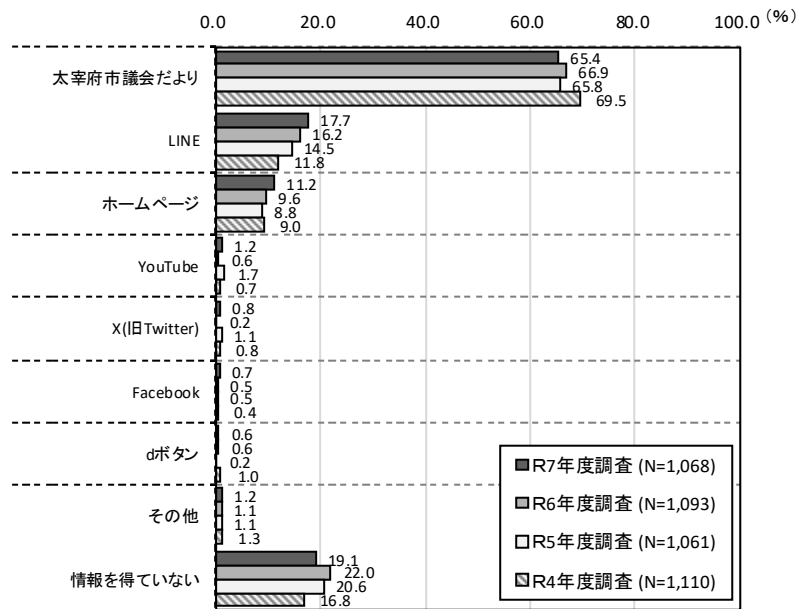
市議会が発信している情報を得ている媒体について、「太宰府市議会だより」(65.4%)が最も高く、次いで「LINE」(17.7%)、「ホームページ」(11.2%)の順となっている。一方、「情報を得ていない」は19.1%となっている。

性別にみると、上位3項目のうち、「太宰府市議会だより」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。また、「太宰府市議会だより」では70歳代以上(77.0%)、「LINE」で30歳代(22.7%)、「ホームページ」では60歳代(13.0%)がそれぞれ高くなっている。一方、「情報を得ていない」は20歳代(40.8%)が特に高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。

問 68. あなたはどのような媒体で市議会が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



		標本数	太宰府市議会だより	LINE	ホームページ	YouTube	その他	X(旧Twitter)	Facebook	その他	情報を得ていない
全体		1,068	65.4	17.7	11.2	1.2	1.2	0.8	0.7	0.6	19.1
性別	男性	487	61.6	16.4	13.8	1.4	1.6	0.8	1.2	1.0	22.8
	女性	560	68.4	19.1	9.1	1.1	0.9	0.9	0.2	0.2	16.4
	無回答	21	76.2	9.5	9.5	-	-	-	-	-	4.8
年代別	20歳代	76	38.2	18.4	6.6	1.3	1.3	1.3	-	1.3	40.8
	30歳代	128	52.3	22.7	12.5	0.8	-	2.3	-	-	27.3
	40歳代	191	59.2	19.4	11.0	1.0	1.0	1.6	1.6	-	22.0
	50歳代	208	66.8	20.2	10.1	1.4	1.4	0.5	-	0.5	16.8
	60歳代	200	73.5	17.0	13.0	2.5	1.5	0.5	1.5	0.5	12.0
	70歳代以上	261	77.0	12.3	11.5	0.4	1.5	-	0.4	1.1	13.8
無回答	4	75.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	
小学校区別	太宰府小学校区	158	66.5	13.9	8.9	1.9	1.3	-	-	0.6	19.6
	太宰府東小学校区	100	80.0	12.0	11.0	2.0	-	-	-	1.0	14.0
	太宰府南小学校区	95	69.5	22.1	11.6	-	-	2.1	-	-	9.5
	水城小学校区	178	66.9	20.2	7.9	0.6	1.7	0.6	-	0.6	19.7
	水城西小学校区	124	61.3	16.9	12.1	1.6	2.4	2.4	2.4	1.6	20.2
	太宰府西小学校区	197	69.0	17.8	13.2	0.5	2.0	0.5	1.0	0.5	17.8
	国分小学校区	145	59.3	21.4	15.2	2.1	0.7	0.7	1.4	-	19.3
わからない	67	40.3	14.9	7.5	1.5	-	1.5	-	-	40.3	
無回答	4	100.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	

52. 市議会情報の接触状況(問 69)

① 「太宰府市議会だより」の閲読状況

●「太宰府市議会だより」の閲読率は59.6%となっている。

「太宰府市議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいます」と「たまに読んでいます」の合計）は59.6%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は38.7%となっている。

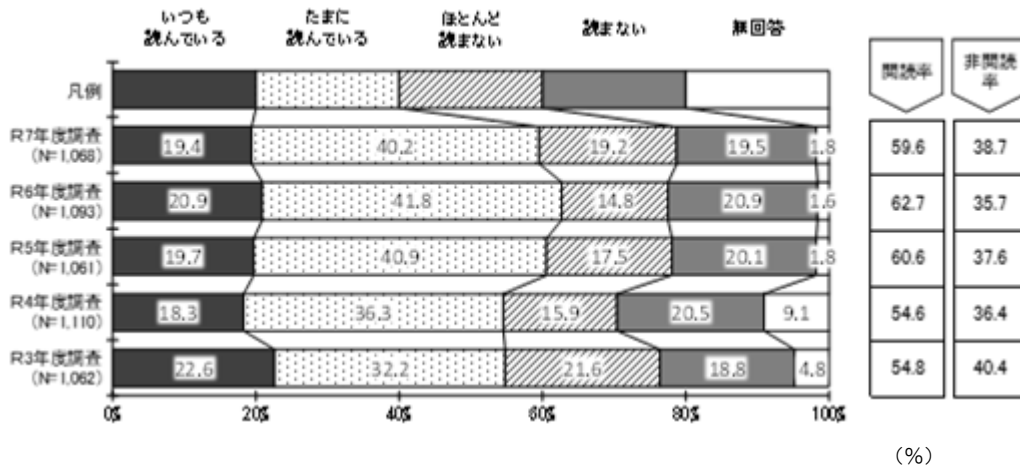
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は令和6年度調査から3.1ポイント減少している。

性別にみると、『閲読率』は女性（61.8%）の方が男性（56.6%）より5.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70歳代以上（72.0%）、次いで60歳代（68.5%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、20歳代（64.5%）で、次いで40歳代（47.7%）、30歳代（46.9%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（68.0%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、水城西小学校区（43.6%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	い で つ い も る 読	ん た で ま い に る 読	読 ほ と ま な い ど	読 ま な い	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全 体		1,068	207	429	205	208	19	636	413
		100.0	19.4	40.2	19.2	19.5	1.8	59.6	38.7
性別	男 性	487	17.0	39.6	20.5	20.7	2.1	56.6	41.2
	女 性	560	21.1	40.7	18.2	18.6	1.4	61.8	36.8
	無回答	21	28.6	38.1	14.3	14.3	4.8	66.7	28.6
年 代 別	20歳代	76	6.6	27.6	21.1	43.4	1.3	34.2	64.5
	30歳代	128	9.4	42.2	20.3	26.6	1.6	51.6	46.9
	40歳代	191	16.2	35.1	19.4	28.3	1.0	51.3	47.7
	50歳代	208	18.8	38.0	24.5	17.8	1.0	56.8	42.3
	60歳代	200	24.5	44.0	17.5	13.0	1.0	68.5	30.5
	70歳代以上	261	27.2	44.8	14.9	9.2	3.8	72.0	24.1
	無回答	4	-	75.0	25.0	-	-	75.0	25.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	158	21.5	42.4	15.8	19.0	1.3	63.9	34.8
	太宰府東小学校区	100	32.0	36.0	17.0	12.0	3.0	68.0	29.0
	太宰府南小学校区	95	25.3	37.9	21.1	15.8	-	63.2	36.9
	水城西小学校区	178	12.4	43.8	23.0	19.7	1.1	56.2	42.7
	水城西小学校区	124	13.7	41.1	23.4	20.2	1.6	54.8	43.6
	太宰府西小学校区	197	21.3	41.1	16.8	18.3	2.5	62.4	35.1
	国分小学校区	145	22.1	39.3	17.9	20.0	0.7	61.4	37.9
	わからない	67	6.0	31.3	17.9	38.8	6.0	37.3	56.7
	無回答	4	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0

② 「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況

● 「太宰府市議会ホームページ」の閲覧率は21.0%となっている。

「太宰府市議会ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は21.0%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は71.9%となっている。

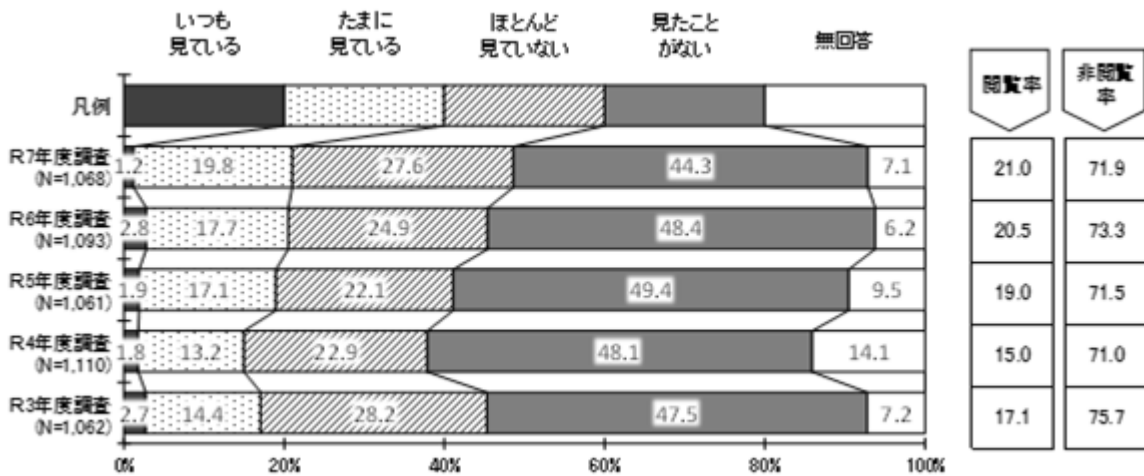
過去の調査結果と比べると、令和6年度調査から『閲覧率』は0.5ポイント増加し、『非閲覧率』は1.4ポイント減少している。

性別にみると、『閲覧率』は、男性（23.2%）の方が女性（18.8%）より4.4ポイント高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は60歳代（26.5%）が最も高くなっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは、20歳代（85.6%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（25.0%）、次いで、太宰府西小学校区（23.3%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは水城小学校区（76.9%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,068	13	211	295	473	76	224	768
性別	男性	487	1.4	21.8	29.0	42.7	5.1	23.2	71.7
	女性	560	0.9	17.9	26.6	46.1	8.6	18.8	72.7
	無回答	21	4.8	23.8	23.8	33.3	14.3	28.6	57.1
年代別	20歳代	76	-	13.2	30.3	55.3	1.3	13.2	85.6
	30歳代	128	0.8	14.1	32.8	51.6	0.8	14.9	84.4
	40歳代	191	0.5	15.7	26.2	55.5	2.1	16.2	81.7
	50歳代	208	1.0	21.2	28.8	44.2	4.8	22.2	73.0
	60歳代	200	0.5	26.0	32.0	35.0	6.5	26.5	67.0
	70歳代以上	261	3.1	21.8	19.9	37.2	18.0	24.9	57.1
	無回答	4	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	158	-	22.2	25.3	43.0	9.5	22.2	68.3
	太宰府東小学校区	100	3.0	22.0	28.0	37.0	10.0	25.0	65.0
	太宰府南小学校区	95	3.2	15.8	27.4	42.1	11.6	19.0	69.5
	水城小学校区	178	1.1	16.3	24.7	52.2	5.6	17.4	76.9
	水城西小学校区	124	0.8	18.5	30.6	45.2	4.8	19.3	75.8
	太宰府西小学校区	197	1.0	22.3	29.4	39.1	8.1	23.3	68.5
	国分小学校区	145	1.4	21.4	29.7	43.4	4.1	22.8	73.1
	わからない	67	-	17.9	20.9	58.2	3.0	17.9	79.1
	無回答	4	-	-	100.0	-	-	-	100.0

附属資料

附属資料<使用した調査票>

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力をお願い

市民の皆様には日頃より市政運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市では「課題解決先進都市だざいふ」を目標に掲げ、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きし、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、これからのまちづくりにとって非常に重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和8年2月 太宰府市長 高原 清

【実施概要】

1 調査対象：満18歳以上の市民の皆様から **2,000人**を無作為抽出

2 回答方法：以下のいずれかの方法でご回答ください。

①調査票にご記入いただき、**2月24日(火)までに同封の返信用封筒により返送してください。(切手不要)**

②パソコンやスマートフォンからwebページにアクセスいただき、**2月24日(火)までに回答してください。**

<https://>

※回答を途中で中断する場合は、保存されませんので、最後まで回答いただくか、改めて初めから回答をお願いいたします。



3 アンケートテーマ

- ①あなた自身についておたずねします
- ②まちの住みややすさについておたずねします
- ③本市の行政運営についておたずねします
- ④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします

【その他】

1 調査には**無記名**でお答えください。

2 あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、家族の方がお答えいただいても結構です。

3 ご記入は**鉛筆**または**ボールペン**でお願いします。

4 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

5 アンケート結果は数字で統計処理を行い、市ホームページや広報だざいふで公表する予定です。回答結果をそのまま公表することはありませんので、**個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。**

【お問合せ先】

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係 電話 921-2121 (内線548)

※WebアンケートのURL・QRコードは、アンケートが終了している為、削除しています。

《①あなた自身についておたずねします》

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(〇は1つ)

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。(〇は1つ)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯(親と子)
4. 3世代世帯(親と子と孫)
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他()

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業(農林水産業以外) | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他() |
| 5. 家事専業 | |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 太宰府小学校区 | 5. 水城西小学校区 |
| 2. 太宰府東小学校区 | 6. 太宰府西小学校区 |
| 3. 太宰府南小学校区 | 7. 国分小学校区 |
| 4. 水城小学校区 | 8. わからない |

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 3年未満 | 5. 15年以上～20年未満 |
| 2. 3年以上～5年未満 | 6. 20年以上～25年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 7. 25年以上 |
| 4. 10年以上～15年未満 | |

問7. あなたが太宰府市に転入、居住を決めた理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 生まれてからずっと太宰府市 | 9. 病院や医療施設が充実している |
| 2. 生まれ故郷、かつて住んでいた | 10. 都市部へのアクセスが良いため |
| 3. 歴史的な景観、自然が豊かである | 11. 市内に就学・就職・転勤したため |
| 4. 子育て支援が充実している | 12. 観光地であるため |
| 5. 教育環境が良いため | 13. 親や子どもと同居する、家が近い |
| 6. 交通の利便が良いため | 14. 友人・知人がいるため |
| 7. 公共施設が充実しているため | 15. 住宅(家賃や購入)の条件等に合致したため |
| 8. 商業施設が充実しているため | 16. その他() |

《②まちの住みやすさについておたずねします》

問8. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問9. 【問8で「1. 住みやすい」、「2. どちらかといえば住みやすい」と答えた方におたずねします。】

住みやすいと思う主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物便利 | 18. その他() |

問 10. 【問 8 で「3. どちらかといえば住みにくい」、「4. 住みにくい」と答えた方におたずねします。】

住みにくいと思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 保険料や公共料金が安い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

《③本市の行政運営についておたずねします》

問 11. あなたは市政に関心はありますか。(○は1つ)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない
4. ない

問 12. あなたは市政を信頼していますか。(○は1つ)

1. 信頼している
2. どちらかといえば信頼している
3. どちらかといえば信頼していない
4. 信頼していない

問 13. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 14. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。

(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 15. あなたは第3期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（続まちづくりビジョン）を知っていますか。（○は1つ）

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた（見た）ことがある
4. 知らない

問 16. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる次の1～33の施策についておたずねします。

(A) あなたはこの施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたはこの施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
基本目標1 だざいふの底力総発揮構想（成長戦略）										
施策01 戦略的まちづくりの推進 (DX(デジタル技術活用)の推進、令和の都だざいふ応援大使の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 一体的情報発信の推進 (シティプロモーションの推進、新たな情報発信手段の検討・構築など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策03 地域経済の活性化 (企業・商業施設等誘致の実現、起業・創業支援の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策04 新産業振興 (令和の都だざいふ「梅」プロジェクトの推進、「日本一の猛暑のまち」の観光施策展開など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策05 多様な主体との連携強化 (商工会との連携、地域関係団体との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策06 地域資源の活用 (空家等活用の仕組みづくり、有害鳥獣被害防止など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策07 ニューだざいふ型市街地の活性化 (西鉄五条駅周辺の整備促進等事業の推進、駅周辺の事業計画に基づく道路改良、駅前広場の改修など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標2 だざいふ型全世代居場所と出番構想 (移住定住戦略)										
施策08 新しい公共の観点による市民参加、地域コミュニティの活性化 (市民の意見等を市政運営に反映、自治会DXの推進、放課後子ども教室の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策09 子どもをまんなかとした子育て・教育環境の充実 (子育てしやすい環境整備と子育て支援事業の拡充、保育サービスの充実、学校教育環境の整備・充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策10 世界に羽ばたく人材育成 (子ども学生美術展の実施、世界に羽ばたく人材育成表彰の実施など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策11 高齢者の活躍促進 (高齢者の就労促進、敬老事業、長寿クラブ活動支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策12 福祉サービスの拡充 (障がい福祉サービスの充実、新しい認知症観の普及推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策13 市民の健康づくり (がん検診の受診率向上、健康を支える環境の整備、介護予防の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策14 市民の雇用促進 (就労支援の促進、就職氷河期世代対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策15 居場所づくりの推進 (不登校対策、ひきこもり対策など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策16 スポーツ・文化・芸術の推進 (スポーツ施設の老朽化対策、文化芸術に触れる機会の提供など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策17 全世代交流の促進 (いきいき情報センターの充実、市民の森の整備、校区自治協議会事業の活性化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策18 人権・多様性尊重のまちづくり (人権尊重のまちづくりの推進、男女共同参画プランの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標3 令和の都大だざいふ構想（圏域拡大戦略）										
施策19 市民と交流人口・関係人口の相互発展による経済税収効果の向上 (周遊ルート・体験型コンテンツの造成・整備、滞在型観光コンテンツの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策20 観光産業の更なる振興 (インバウンド（外国人観光客）誘致、ユニバーサルツーリズム（全ての人が安心して楽しめる旅行）の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策21 オーバーツーリズム対策 (観光客・参拝客渋滞対策の推進、だざいふ観光のマナーや観光客を受け入れる際の心構えを示した「だざいふ版ツーリストシップ」の普及啓発など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策22 ふるさと納税の拡充 (ふるさと納税返礼品の充実、企業版ふるさと納税の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策23 令和の都の文化芸術振興 (令和国際文化会議の開催、歴史、文化、芸術の観光交流への活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策24 史跡の保存・先進的多用途活用 (大宰府関連史跡の整備・再整備の推進、史跡を活用した観光振興など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策25 国・県・国内外自治体との連携の推進 (国・県・関係機関との連携推進、姉妹都市・友好都市等との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策26 交通環境の再構築 (持続可能な地域公共交通の提供確保、道路ネットワークの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標4 持続可能なだざいふ構想 (行財政改革戦略)										
施策27 危機管理の徹底強化による安心・安全のまちづくり (防犯力の向上、道路冠水対策の推進、ため池の整備・改修など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策28 災害、気候変動への適応 (官民との連携強化、クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)の設置促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策29 人材育成・登用・働き方改革 (積極的な職員採用、働き方改革など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策30 公共施設の多面的活用 (公共施設の再編、運営の見直し、いきいき情報センターの活用促進、とびうめアリーナの活用促進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策31 歳出入一体の行財政改革 (ネーミングライツ(公共施設等への愛称の命名権)制度の推進、公有財産の有効活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策32 環境負荷軽減の促進 (ごみの削減、ゼロカーボンシティ(市内の温室効果ガスの排出量削減)の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策33 窓口機能の充実・強化等市民生活の向上 (DXの推進、マイナンバーカード利用による手続き推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 17. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた(見た)ことがある
4. 知らない

《④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします》

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 18. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 19. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない

問 20. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 高齢者福祉サービスの内容を知らない

問 21. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

問 22. あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 23. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 24. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 25. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（〇は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 26. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（〇は1つ）

1. 健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 27. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。（〇は1つ）

1. ある
2. ない

問 33. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. 尊重されていない

問 34. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)

1. 同感する
2. ある程度同感する
3. あまり同感しない
4. 同感しない

問 35. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)

1. 相談した
2. どこ(誰)にも相談しなかった
3. DVを受けたことはない

問 36. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 37. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に3回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

- 問 38. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）
1. ほぼ毎日行っている
 2. 週に1回程度行っている
 3. 月に数回程度行っている
 4. 年に数回程度行っている
 5. ほとんど行っていない
- 問 39. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）
1. 守られている
 2. ある程度守られている
 3. あまり守られていない
 4. 守られていない
- 問 40. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）
1. いつも参加している
 2. たまに参加している
 3. 参加していない
- 問 41. あなたは市内の自然は豊かと感じますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. そう思わない
- 問 42. あなたは市内に、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所があり、満足していますか。（○は1つ）
1. 満足している
 2. ある程度満足している
 3. あまり満足していない
 4. 満足していない
 5. 場所がわからない
- 問 43. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）
1. 取り組んでいる
 2. ときどき取り組んでいる
 3. あまり取り組んでいない
 4. 取り組んでいない

- 問 44. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装を
こころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）
1. 行っている
 2. ある程度行っている
 3. あまり行っていない
 4. ほとんど行っていない
- 問 45. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。
（○は1つ）
1. 年に2回以上参加した
 2. 年に1回程度は参加した
 3. 参加したことはない
- 問 46. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない
- 問 47. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思えますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない
- 問 48. あなたがお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境が
よいところだと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない
- 問 49. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

問 50. あなたはインターネット等を使用したサービス（住民票発行、納税、食料品・日用品購入、預金口座残高確認・振込など）は、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 51. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

問 52. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。

あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（○は1つ）

1. 週5日以上
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月2～3日
5. 年2～3日
6. 利用しない

問 53. まほろば号は運行費用を運賃収入（年間約5千万円）と本市の財政負担（年間約1億6千万円）で運行しており、一律運賃100円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。（○は1つ）

1. 現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い。
2. 運賃を値下げし、財政負担を増やす方が良い。
3. 運賃を値上げし、財政負担を減らす方が良い。
4. 運賃を値上げし、利便性を高める方が良い。
5. まほろば号を利用しないのでわからない。

問 54. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 55. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 56. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

問 57. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

問 58. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 59. あなたは本市の日本遺産(候補地域)や市民遺産についてご存知ですか。(○は1つ)

1. 両方知っている
2. 日本遺産(候補地域)については知っている
3. 市民遺産については知っている
4. どちらも知らない

問 60. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 61. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備 | 7. PR |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品 | 6. 市内交通機関 | 8. その他() |

問 62. あなたは本市が大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. 中津市との友好都市締結は知っていた
5. どれも知らなかった

問 63. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(〇は1つ)

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 64. あなたは自治会活動以外(問 63 以外)のボランティア活動に参加していますか。(〇は1つ)

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 65. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

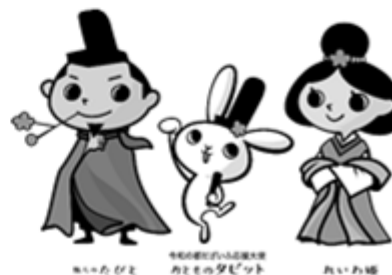
問 66. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 広報だざいふ | 6. YouTube |
| 2. ホームページ | 7. dポタン |
| 3. X(旧 Twitter) | 8. その他() |
| 4. Facebook | 9. 情報を得ていない |
| 5. LINE | |

問 70. 最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください。《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をお願いいたします。

ご記入が済みましたら、
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
2月24日（火）までに投函してください。



太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601